

# 特記仕様書

工事名称	円一町駐車場解体等工事
工事場所	三原市円一町二丁目
工事内容	円一町駐車場の解体工事を行う。  [工事概要] ・建築工事一式 仮設・建物の解体・外構撤去 外 ・電気設備工事一式 動力設備・電灯コンセント設備・弱電設備・自動火災報知設備の撤去 外 ・機械設備工事一式 衛生器具設備・給水設備・排水設備・消火設備・ガス設備・空気調和設備・換気設備の撤去 外
準則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修) に基づき施工する。
別途発注工事	無し
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて受注金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更(増額)が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工期	本工事は請負契約締結の後、令和9年2月25日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。(工事の完成通知予定日は令和9年2月12日。)
留意事項	・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。 ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。 ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工期とすること。

- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、必ず生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出し、出席者に内容を共有すること。
- ・現場事務所には、HDMI規格により出力できるモニター（50インチ以上）を設置すること。
- ・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続10台以上）が可能な環境とすること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・振動測定については、振動規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工食用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。


- ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者に報告すること。
- ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
- ・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道使用料金等は受注者の負担とする。
- ・工事範囲内には水道がない為、洗浄及び散水用等の水を準備すること。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・機械的固定方法を行う施工箇所については、事前に引き抜き試験にて引き抜き強度を測定し、耐風圧性能の検証を行うこと。
- ・図面に水勾配がある箇所については、施工図に勾配のパーセントを記載すると共に、完成図にも勾配のパーセントを計測して記載すること。計測する箇所については監督員と協議すること。
- ・本敷地は、土壤汚染対策法に基づく「形質変更時要届出区域（自然由来特例）」の指定を受けている。
- ・土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（最新版）に沿って作業をすること。
- ・土地の形質を変更する際、汚染の拡散を防ぐため、広島県へ「土地の形質の変更の届出」が必要となる。
- ・土壤汚染対策法に基づく指定区域外への汚染拡散を防ぐための対策を行い、施工すること。
- ・本工事には、土砂（汚染土）の搬出を見込んでいない（一部汚染廃棄物を除く）。掘削した汚染土については、汚染の拡散を防ぐ対策をした上で場内に保管し、埋戻土として再利用すること。既存砂利地業についても再利用すること。（杭施工に伴う汚泥を除く）
- ・土砂（汚染土）に接している既存コンクリートや既存アスファルト等の処分は、洗浄して処分すること。
- ・土壤汚染対策法に基づく指定区域であることを作業員に十分周知をして適切に作業を行うこと。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。

- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。（10検体）
- ・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・石綿含有建材の除去専門業者については、建設技術審査証明協議会による「建設技術審査証明事業」の提出、又は本工事に相応した技術を有することが分かる施工実績証明等が確認できること。
- ・石綿含有建材の除去作業者については、一般健康診断・石綿健康診断・じん肺健康診断の3種類を定期的に受診していることが確認できること。
- ・石綿を含有する建築物の解体等を行う際には届出を行うこと。レベル1・2については「工事計画届」「特定粉じん排出等作業届書」「事前届出の実施」「建築物解体等作業届」等遅滞なく提出すること。
- ・PCB含有シーリング材の撤去については、「PCB含有ポリサルファイド系シーリング材撤去工事標準施工要領書」に沿って撤去すること。
- ・家電リサイクル法又はフロン排出抑制法に関する機器等の処分については、当該法律に基づき適正に行うこと。
- ・既存基礎、既存杭及びその他地中構造物の残置物は、測量によって位置及び高さ等(それぞれ基準を設定)を記録して、完成図書として提出すること。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途発注工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・品質証明員（技術士、1級施工管理技士もしくは1級建築士の資格を有するもので、当該工事に従事していない者）を定める場合は、「総合施工計画書」に品質証明計画と品質証明員の氏名・資格を記載し、資格証明書の写しを添付すること。
- ・品質証明員を定める場合は、品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に行うこと。また、社内検査を実施し、報告書等を適宜提出すること。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・熱中症対策として、従業員及び作業員が必要に応じて水分を補給できるよう作業所に給水設備を設置すること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R(2部)にて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・請負代金額300万円以上の工事について、建設業退職金共済事業部の「建設業退職金共済制度事務処理手引き（令和7年10月改訂版）」に基づき、「掛金収納書提出用台紙」及び「建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表」を提出すること。
- ・完成写真（竣工写真）の撮影を外注する場合は、撮影データを三原市が利用することについての承諾書を提出すること。（押印した原本）
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

# 円一町駐車場解体等工事

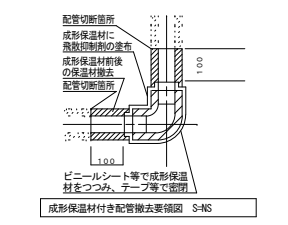
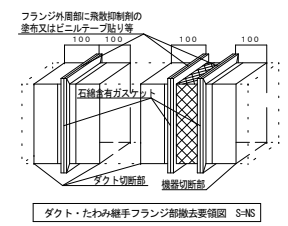
番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
A-00	表紙・図面リスト	S-01	杭伏図	E-01	配置図	M-01	配置図
A-01	解体工事特記仕様書(1)	S-02	基礎・地中梁伏図 基礎リスト	E-02	照明姿図・分電盤系統図(参考)	M-02	給排水衛生設備 1階平面詳細図
A-02	解体工事特記仕様書(2)	S-03	基礎・地中梁リスト	E-03	電灯コンセント・動力・弱電設備 1階平面図(撤去図)	M-03	給排水衛生設備 1階平面図
A-03	解体工事特記仕様書(3)	S-04	2, 3, 4階梁伏図	E-04	電灯コンセント・弱電設備 2~4階平面図(撤去図)	M-04	給排水衛生設備 2~4階平面図
A-04	附近見取図・配置図	S-05	R階梁伏図	E-05	電灯・弱電設備 R階平面図(撤去図)	M-05	給排水衛生設備 R階平面図
A-05	仕上表	S-06	軸組図(1)	E-06	自動火災報知設備 系統図(参考)	M-06	給排水衛生設備 下水平面図1
A-06	1階平面図	S-07	軸組図(2)	E-07	自動火災報知設備 1階平面図(撤去図)	M-07	給排水衛生設備 下水平面詳細図
A-07	2~4階平面図	S-08	軸組図(3)	E-08	自動火災報知設備 2・3・4階平面図(撤去図)	M-08	給排水衛生設備 下水平面詳細図
A-08	R階平面図	S-09	軸組図(4)	E-09	自動火災報知設備 R階平面図(撤去図)	M-09	泡消火設備 1階平面図
A-09	立面図(1)	S-10	軸組図(5)			M-10	泡消火設備 2~R階平面図
A-10	立面図(2)・断面図(1)	S-11	軸組図(6)			M-11	泡消火設備 機器図
A-11	断面図(2)	S-12	軸組図(7)			M-12	泡消火設備 機械室詳細図
A-12	矩形図	S-13	軸組図(8)			M-13	空調和設備 1階平面図
A-13	建具表	S-14	軸組図(9)				
A-14	1階待合室 平面詳細図・展開図	S-15	梁リスト				
A-15	A階段詳細図	S-16	柱伏図・柱リスト・ブレースリスト				
A-16	B階段詳細図	S-17	スラブ伏図				
A-17	C階段詳細図	S-18	スラブリスト・配筋図				
A-18	庇詳細図	S-19	鉄骨詳細図				
A-19	部分詳細図						
A-20	仮設計画図						

<p>I 工事概要等</p> <p>1 工事名称： 円一町駐車場解体等工事</p> <p>2 工事場所： 三原市円一町二丁目</p> <p>3 構造規模： 鉄骨造 地上4層5段 建築面積1,884.52㎡ 延床面積7,566.14㎡</p> <p>4 工事種目： 駐車場解体工事（内訳は別図による）</p> <p>5 別途工事：（ ）なし</p> <p>6 公衆災害防止措置</p> <p>(1) 工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危害、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。</p> <p>(2) 上記について、「建設工事公衆災害防止要綱（平成5年1月12日付 建設事務次官通達）」に基づき実施すること。</p> <p>(3) 掘削作業前には、必ず既存の設備図面や施設の改修履歴等を確認し、配線・配管の有無を確認すること。また、掘削作業時は、必要に応じて、設備業者に立会を依頼すること。</p> <p>7 現状復旧</p> <p>工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、受注者の責任において現状復旧を行うこと。</p> <p>8 その他</p> <p>(1) この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として三原市内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。</p> <p>(2) 解体仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。</p> <p>(3) 本工事は、工事中下記に示す調査を行うため、建築課より連絡があれば対応すること。</p> <p>・ 公共事業労務費調査……工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等）</p> <p>II 解体工事仕様</p> <p>1 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書 最新版」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。</p> <p>解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下、「改修標準仕様書」という。）による。</p> <p>2 特記仕様</p> <p>(1) 項目は ①印のついたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は ②印のついたものを適用する。</p> <p>③印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。</p> <p>④印と ⑤印のついた場合は共に適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の [ ] 内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。</p> <p>(4) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。</p> <p>(5) 特記事項に記載の &lt; &gt; 内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。</p>	<p>⑦ 工事工程表</p> <p>⑧ 施工計画書</p> <p>⑨ 施工条件</p> <p>⑩ 安全確保</p>	<p>・その他建設廃棄物の再資源化</p> <p>※無し ・有り（・蛍光灯、HDランプ ・硬質塩化ビニル管、継手）</p> <p>・指定建設資材廃棄物（木材が廃棄物となったもの）の縮減 ※無し ・有り</p> <p>・再資源化された建設廃棄物の現場での利用</p> <p>※無し ・有り（ ）</p> <p>・産業廃棄物広域認定制度の適用 ※無し ・有り（ ）</p> <p>・処理に注意を要する建設廃棄物</p> <p>※無し ・有り（・CCA処理木材 ・ひ素、ｶﾞﾄﾞﾐﾝ含有石膏ボード）</p> <p>(1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破碎等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分）</p> <p>(2) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記(4)に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。</p> <p>(3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物理立税が課税されるので、適正に処理すること。</p> <p>なお、本工事中では、広島県産業廃棄物理立税相当額を見込んでいる。</p> <p>検査期間としての13日間を含んだ工程とし、 [1.2.1]</p> <p>工事全体を把握して作成し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>[1.2.2]</p> <p>建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、建設副産物適正処理実施要領に基づき事前調査のうえ、事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法並びに建設廃棄物の処理等について具体的に定めた施工計画書を作成し、あらかじめ監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>（仮設計画、安全・環境対策、工程計画、解体計画、発生材の処分計画） [1.3.5]</p> <p>(1) 作業時間は、原則午前8時半から午後5時までとし、通学時間帯を考慮すること。なお、時間変更する必要がある場合は、監督職員の承諾を受けること</p> <p>(2) 日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。</p> <p>(3) その他図示による</p> <p>[1.3.6～1.3.8]</p> <p>(1) 受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事現場内外及び下請け業者の管理を十分に行い、周囲の建物、通行者等に損傷を与えないように注意して、工事施工をすること。なお、万一損傷が生じた場合は、受注者の責任において処理すること。</p> <p>(2) 工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散（散水）、道路の汚染等の防止に努めること。低騒音型・低振動型建設機械の使用（近接住民の生活環境の保全の必要性がある場合）</p> <p>(3) 歩行者等の通行に支障を生じないよう誘導員を配置し適切な処置を講じること。特に道路幅の狭い箇所及び児童の通学路と重複する箇所には、誘導員を配置する等の措置を講じること。</p> <p>(4) ダンプトラック等による過積載の防止を図ること。</p> <p>(5) 作業現場には、労働安全衛生法に基づく作業主任者等を置き、作業の安全管理に努めること。</p> <p>①つり足場（ゴンドラのつり足場を除く）、張出し足場又は高さ5m以上の構造の足場の組立て、解体を行う場合、コンクリート造又は鉄骨造の工作物（その高さが5m以上のもの）の解体作業を行う場合は、労働安全衛生法第14条に基づく技能講習を終了したものとする。</p> <p>②木造建築物の解体作業を行う場合は、平成3年1月21日付け基発第39号「安全衛生教育の推進について」及び平成元年9月5日付け基発第485号「木造建築物の解体工事の作業指揮者に対する安全教育について」に基づく安全教育を終了した者とする。 [1.2.3]</p> <p>下記のことを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の撮影は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領」によるものとする。</p> <p>(1) 工程写真</p> <p>工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真を期間別工事工程報告書に添付するものとする。</p> <p>(2) 工事中写真</p> <p>全般的な解体工事の状況、建設副産物処理及び事前措置、解体手順の各段階における施工が完了した写真、水中又は地下に埋設される部分、分別解体を行っていることが確認できる状況写真、その他工事終了後では確認できない事項、その他監督職員が指示する箇所は、適切に写真等を整備するものとする。</p> <p>なお、基礎や地下構造物等の撤去については、撤去物の全般に亘り、その位置・深さが明確に分かり撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。</p> <p>(3) 完成写真</p> <p>着工前及び完成時の状況を同一方向から撮影したものを提出すること。</p> <p>（撮影箇所） 監督職員が指示する箇所</p> <p>（規格・提出部数）※電子ファイル（PDF形式）により、22電子納品に含めて提出</p> <p>(4) その他の写真</p> <p>隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前、施工後の写真を監督職員の指示により提出すること。</p> <p>(5) 保管</p> <p>工事写真のデータ等は工事完成後、受注者において3年間保管すること。</p>	<p>12 電気保安技術者等</p> <p>⑬ 近隣との折衝</p> <p>⑭ 施工の検査</p> <p>⑮ 工程報告</p> <p>⑯ 埋設物等の報告</p> <p>⑰ 地下埋設物調査</p> <p>⑱ 契約不適合調査</p> <p>⑲ 家電リサイクル法対象機器の処分</p> <p>⑳ 完成時の提出図書</p> <p>21 試掘</p> <p>㉑ 電子納品</p> <p>㉒ 工事中情報共有システム</p>	<p>[1.3.3～1.3.4]</p> <p>工食用電力設備の保安責任者として関係法令等に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する</p> <p>・電気保安技術者 ※配置する</p> <p>[1.3.6]</p> <p>工事施工に当たっての近隣との折衝は次による。また、経過について記録し、遅滞なく監督職員に報告する。</p> <p>(1) 地域住民等と工事の施工上必要な折衝をおこなうものとし、あらかじめその概要を報告する。</p> <p>[1.6.4]</p> <p>監督職員による随時の立入り検査を行う。</p> <p>検査に必要な資機材、労務等を提供すること。</p> <p>別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月1回1部提出すること。</p> <p>工事の施工に当たり、図面にない地下構造物、埋設配管等を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告すること。</p> <p>○行わない</p> <p>・行う 図示する範囲内において、整地前に敷地境界から2mの距離を置き、幅1m、深さ1.5mで、3m間隔で掘削調査を行う。</p> <p>完成後、発注者から契約不適合調査（建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内）の連絡があった場合には、調査に協力すること。</p> <p>特定家庭用機器再商品化法（平成10年6月5日法律第97号）に指定する機械機器を処分する場合は同法に基づき処理を行うこと。また、工事完了後に管理票の写しを提出すること。</p> <p>○完成図： 部（A2版： 部、 版： 部、CD-R： 部） &lt;1.8.1～3&gt;</p> <p>・完成図書：1部</p> <p>完成図は残置及び設置工作物等、工事完了時に敷地内に存する物（埋設物も含む）の種類、位置及び供給管の切断箇所等の今後当該敷地を管理していく上で必要な事項を明記した配置図を作成し、提出すること。</p> <p>地中に解体撤去すべき工作物等がないことを確認するため、次の時期及び方法により試掘を行う。</p> <p>試掘時期</p> <p>※完成検査時 ・（ ）</p> <p>試掘方法</p> <p>※機械掘削 ・人力掘削</p> <p>なお、試掘は建築物1棟ごとに1箇所以上、外構（排水施設、舗装等）で1箇所以上行い、試掘する箇所については、検査員の指示による。</p> <p>②電子納品</p> <p>※電子納品対象工事とする</p> <p>電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終結果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「営繕工事電子納品要領（以下、要領という）」に基づいて作成されたものを指す。</p> <p>成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。</p> <p>また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。</p> <p>（本業種が付帯の場合は、元請業種へ技術資料等を提供する。）</p> <p>(1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。</p> <p>(2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。</p> <p>広島県工事中情報共有システム</p> <p>(http://shotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html)</p> <p>(3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。</p> <p>(4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。</p>
--	---	---	---	---

1 一般共通事項	項目	特記事項	① 工事の記録	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	① 適用基準等	※建設工事公衆災害防止対策要綱 ※建設副産物適正処理実施要領（広島県土木局制定） ※建築工事安全施工技術指針 ※再生資源利用促進実施要領（広島県土木局制定） 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版 国土交通省大臣官房官庁営繕部					
	② 設計図書の優先順位	(1) 設計図書に関する質問回答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 共通仕様書 [1.1.3]					
	③ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係機関への必要な手続等を遅滞なく行うこと。また、これらの手続等を行うに当たっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告すること。なお、手続き等に要する費用は受注者の負担とする。					
	4 別契約の関連工事	工程計画及び工事用車両の出入り等について当該工事関係者と [1.1.7] 十分調整し、工事の円滑な施工に努めること。					
	⑤ 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注、変更、完成、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、主任監督員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を主任監督員に提出しなければならない。また、途中変更時の登録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。（本業種が付帯の場合は、元請業種で登録等を行う。）					
	⑥ 発生材の処理等	[1.3.10] [4.1.3～4.5.1] ・引渡しを要するもの（・PCBを含む機器類、PCB含有ソリッド材、） ・次の建設廃棄物は上記によるものを除き再資源化する。 (1) 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物及び建設発生土 （・建設発生土 ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材） (2) 金属類 (3) 小型二次電池					
 <p>株式会社 近代設計コンサルタント</p> <p>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治</p>	照 査	設 計 担 当	工事名 円一町駐車場解体等工事 図面名 解体工事特記仕様書（1）	SCALE — A / 01			

2 仮設工事	①	騒音・粉じん等の対策	[ 2. 2. 1 ] 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ※ 防音シート ・ 養生シート等 防音パネル、防音シート、養生シート等を取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲	4 建設廃棄物の処理	①	再資源化等	建設廃棄物の種類及び中間処理施設又は再資源化施設 ※ 現場説明書の施工条件明示による	[ 4. 4. 1 ]	③	石綿含有建材の除去	測定方法 ・ 自動測定器による測定	測定名称	測定方法	[ 6. 3. 2、6. 3. 3 ] ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 解体共通仕様書6.3.2(1)による  除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ※ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。  ・ 石綿含有保温材等の除去 [ 6. 4. 1、6. 4. 4 ] 除去範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 解体共通仕様書6.3.2による  除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  ・ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去 [ 6. 5. 4 ] 除去範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有せっこうボード ※ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  ○ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去 除去範囲 ※ 図示 養生方法 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ○ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  ○ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 下記以外は、解体共通仕様書6.1、6.2.1～6.2.4及び6.2.6による。 除去工法 ※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度） ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上） ・ 超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用） ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度） ・ 剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上） ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法  除去対象範囲 ※ 図示 作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う 試験施工 ※ 行わない ・ 行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ○ 埋立処分（管理型最終処分場） ○ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※ 解体共通仕様書6.3.3による 確認及び後片付け ※ 解体共通仕様書6.3.4による		
	②	足場等	[ 2. 2. 2 ] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 騒音・振動計を設置すること（設置箇所は図示による）		①	最終処分する建設廃棄物の種類及び最終処分場 ・ 処理に注意を要する建設廃棄物の処理 ※ 現場説明書の施工条件明示による										
	③	監督職員事務所等	[ 2. 3. 1 ] ※ 設けない ・ 既存建物内の一部を使用する（場所） ・ 設ける 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による。		5	1	特別管理産業廃棄物の処理等				8章 電気設備、9章 機械設備による。それ以外は下記による。 [ 5. 4. 1 ] ・ PCBを含む機器類の処理 分析調査 ・ 行う 採取場所（ ） 除去範囲 ※ 図示 ・ PCB含有シーリング材の処理 分析調査 ・ 行う（分析方法、採取箇所数は、現場説明書の施工条件明示による） 除去範囲 ※ 図示 ・ 廃油の処理 処分方法 ・ 焼却処分 ・ 中間処理施設で再生処理 除去範囲 ※ 図示 ・ 廃酸・廃アルカリの処理 除去範囲 ・ 臭化リチウム（直炊吸引冷水機） ・ 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液 処分方法 ・ 中和処理 ・ 焼却処分 ・ 中間処理施設で再生処理 ・ ダイオキシン類の処理 サンプリング調査 ・ 行う （分析方法、採取箇所数は、現場説明書の施工条件明示による） 除去範囲 ※ 図示 解体方法 処分方法					
	4	山留めの撤去	[ 2. 4. 3 ] 鋼矢板等の抜き跡の処理		6 石綿含有建材の除去等	①	調査				調査 [ 1. 4. 1 ] ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料（アスベスト分析結果報告書）  ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロシドライト、トレモライト 分析方法	材料名	分析方法（定性） JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2		分析方法（定量） JIS A 1481-3、JIS A 1481-4又はJIS A 1481-5	
	⑤	工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ☒ 利用できない			2	石綿粉じん濃度測定				・ 測定時期、場所及び測定点 [ 6. 1. 3 ] 適用	測定名称	測定時期		測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
	⑥	工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ☒ 利用できない			測定 1	処理作業前				処理作業室内	・ 計 点				
	⑦	仮囲い等の安全施設	別紙設計図による			測定 2	処理作業中				調査対象室外部の付近	・ 計 点				
	⑧	工事現場の表示	工事現場の公衆の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する ※工事名等の表示板（900mm×600mm） 仕様等の詳細は管轄課HPの「現場掲示板について」を参照のこと。 ※配置する ・ 本業種が付帯の場合は、元請業種で配置する ・ 別途工事で配置する（工事名：） ※大型車両進入時（ ）人/日 ○常時配置（1）人/日 ・（ ）作業期間（ ）人/日			※ 測定 3	処理作業中				処理作業室内	・ 計 点				
	⑨	交通誘導員	※配置する ・ 本業種が付帯の場合は、元請業種で配置する ・ 別途工事で配置する（工事名：） ※大型車両進入時（ ）人/日 ○常時配置（1）人/日 ・（ ）作業期間（ ）人/日			※ 測定 4	処理作業中				セキュリティゾーン入口	・ 計 点				
	10	快適トイレ設置工事	現場説明書による。			※ 測定 5	処理作業中				集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・ 計 点				
			※ 測定 6	処理作業後		処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	・ 計 点									
			※ 測定 7	処理作業後 （シート養生中）		処理作業室内	・ 計 点									
			測定 8	処理作業後		処理作業室内	・ 計 点									
			測定 9	（シート撤去後 1週間以降）	調査対象室外部の付近	・ 計 点										
3 解体施工	①	事前措置	9章 機械設備による。それ以外は下記による。 [ 3. 2. 1 ] 浄化槽、排水槽等の汚水、汚物等の事前回収、洗浄、消毒等の措置 ・ 行う ※ 行わない オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油の事前回収、洗浄等の措置 ・ 行う（廃油の処理は5章による） ※ 行わない													
	②	基礎等	解体範囲 ※ 捨てコンクリートまで解体（地業は存置） [ 3. 9. 1 ] ○ 図示による													
	③	杭の解体	[ 3. 9. 2 ] 杭の解体 ・ 行う（解体方法 ・ 引抜き工法 ・ 破砕による解体） 引き抜き跡の処理 ※ 解体後の埋戻し及び盛り土による材料で充填 ・ 杭の処理 ※ 現場説明書の施工条件明示による。 ○ 行わない													
	④	さく、照明設備等の附属物	附属物の解体 ○ 行う ・ 行わない [ 3. 10. 1 ]													
	⑤	構内舗装、樹木等	舗装の路盤の解体 ・ 行う ○ 行わない [ 3. 11. 1 ] 樹木の伐採伐根及び移植 ○ 行う（伐採のみ） ・ 行わない													
	⑥	地下埋設物及び埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の撤去 ・ 行う ○ 行わない [ 3. 12. 1 ]													
	⑦	埋戻し、盛土及び地均し	解体後の埋戻し及び盛土 [ 3. 13. 1 ] ・ 行う 整地高さ ・ 現状GL ・ 図示 埋戻し及び盛土の材料 ・ 山砂の類 ・ 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂 ・ 現場発生の中質土 ○ 行わない													
 <b>株式会社 近代設計コンサルタント</b> <small>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治</small>					年月日	整理番号	工事名	図面番号								
					照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	A								
							解体工事特記仕様書（2）	02								
							SCALE									
							-									

7 特殊な建設副産物の処理	1 調査	調査 分析による特殊な建設副産物の調査 ・ 行う 採取場所 ( )	[7. 1. 3]	2 空気調和設備	① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷水水 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 4) 冷媒 ○ 断熱材被覆鋼管 5) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管(SUS304) 6) 空調用排水 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管	10 その他	1 建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積	<3. 2. 5>
	2 特殊な建設副産物の処理等	9章 機械設備による。それ以外は、下記による。 フロン類を使用している設備機器 ・ 冷凍機の冷媒 ・ パッケージ形空気調和機の冷媒 ○ ルームエアコンディショナーの冷媒 「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象になっているものは、同法に従ってリサイクル(フロン類の回収を含む)を行い、監督職員に次の資料を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し  フロン類以外の特殊な建設副産物を使用している設備機器等 ○ 泡消火設備(PFOS泡薬剤)	[7. 3. 1]		3 給水設備	① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による				
8 電気設備	1 発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ( ・ 金属類 ・ 盤類 ・ 電線、ケーブル ・ ) 2) 特別管理産業廃棄物 ○ 無 ・ 有 ( ・ PCB使用機器 ・ 石綿含有設備資機材) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析結果( ・ 無 ・ 有) 撤去する変圧器等は製造年、品番等を確認し微量PCB分析の要否を判定する。 撤去する変圧器等の微量PCB分析を行う。 分析費(※ 別途 ・ 本工事) PCB使用機器搬出処理費(※ 別途 ・ 本工事) PCB使用機器収納容器 ※ 別途 ・ 本工事(用途 ) 石綿含有設備資機材は関係法令に従い適切に処理する。 撤去する石綿含有設備資機材は機器の製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 撤去する石綿含有設備資機材の分析を行う。 分析費(※ 別途 ・ 本工事) 石綿含有資機材の搬出処理費(※ 別途 ・ 本工事) 3) 再生資源化を図るもの ・ 無 ○ 有(○ 蛍光管 ・ 小形二次電池) 撤出処理費(※ 別途 ・ 本工事) 4) 上記1)～3)に該当しない発生材 ○ 無 ・ 有 撤出処理費(※ 別途 ・ 本工事)		4 排水設備	① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内汚水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) (第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 2) 屋内雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) (第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 3) 通気管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP) 4) 屋外排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VU) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(車道部)	1 建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積	<3. 2. 5>	
	1 発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ( ・ 金属類 ・ 機器類 ・ ) 2) 特別管理廃棄物処理 ・ 無 ・ 有 ( ・ 廃油 ○ 石綿含有資機材 ・ ) 特別管理廃棄物は関係法令等に従い適切に処理する。 ・ 廃油の処理は図示による。なお、撤去に際しては、火気の使用を禁止する。 廃油搬出処理費(※ 別途 ・ 本工事) ○ 石綿含有資機材 (○ 配管フランジ接合部及びバルブガasket ・ ダクトパッキン ・ 煙道用パッキン ・ たわみ継ぎ手 ・ 配管保温材 ・ ) 上記以外に撤去する機器は製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 石綿含有資機材の処理は図示による。 石綿含有資機材の搬出処理費(※ 別途 ○ 本工事) 3) 特殊な建設副産物の処理 ○ フロン系冷媒処理 フロン系冷媒は関係法令等に従い適切に処理する。対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ○ 本工事) ・ 臭化リチウムの処理 臭化リチウム水溶液は関係法令等に従い適切に処理する。 対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ・ 本工事)		5 消火設備	① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ○ 圧力配管用炭素鋼管(Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ・				1 建設発生土の処理
1 発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ( ・ 金属類 ・ 機器類 ・ ) 2) 特別管理廃棄物処理 ・ 無 ・ 有 ( ・ 廃油 ○ 石綿含有資機材 ・ ) 特別管理廃棄物は関係法令等に従い適切に処理する。 ・ 廃油の処理は図示による。なお、撤去に際しては、火気の使用を禁止する。 廃油搬出処理費(※ 別途 ・ 本工事) ○ 石綿含有資機材 (○ 配管フランジ接合部及びバルブガasket ・ ダクトパッキン ・ 煙道用パッキン ・ たわみ継ぎ手 ・ 配管保温材 ・ ) 上記以外に撤去する機器は製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 石綿含有資機材の処理は図示による。 石綿含有資機材の搬出処理費(※ 別途 ○ 本工事) 3) 特殊な建設副産物の処理 ○ フロン系冷媒処理 フロン系冷媒は関係法令等に従い適切に処理する。対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ○ 本工事) ・ 臭化リチウムの処理 臭化リチウム水溶液は関係法令等に従い適切に処理する。 対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ・ 本工事)		6 ガス設備	① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 液化石油ガス 一般配管用 ○ 配管用炭素鋼管(白管) 地中埋設用 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要	1 建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積	<3. 2. 5>		
1 発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ( ・ 金属類 ・ 機器類 ・ ) 2) 特別管理廃棄物処理 ・ 無 ・ 有 ( ・ 廃油 ○ 石綿含有資機材 ・ ) 特別管理廃棄物は関係法令等に従い適切に処理する。 ・ 廃油の処理は図示による。なお、撤去に際しては、火気の使用を禁止する。 廃油搬出処理費(※ 別途 ・ 本工事) ○ 石綿含有資機材 (○ 配管フランジ接合部及びバルブガasket ・ ダクトパッキン ・ 煙道用パッキン ・ たわみ継ぎ手 ・ 配管保温材 ・ ) 上記以外に撤去する機器は製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 石綿含有資機材の処理は図示による。 石綿含有資機材の搬出処理費(※ 別途 ○ 本工事) 3) 特殊な建設副産物の処理 ○ フロン系冷媒処理 フロン系冷媒は関係法令等に従い適切に処理する。対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ○ 本工事) ・ 臭化リチウムの処理 臭化リチウム水溶液は関係法令等に従い適切に処理する。 対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ・ 本工事)		冷媒の回収方法について	冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は(※ 本工事 ・ 別途工事)とする。 (1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ○ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書(都道府県知事登録)の写し ○ 事前確認書の写し ○ 回収依頼書の写し ○ 引取証明書 ○ 破壊証明書の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ○ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し	1 建設発生土の処理				※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積	<3. 2. 5>
1 発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ( ・ 金属類 ・ 機器類 ・ ) 2) 特別管理廃棄物処理 ・ 無 ・ 有 ( ・ 廃油 ○ 石綿含有資機材 ・ ) 特別管理廃棄物は関係法令等に従い適切に処理する。 ・ 廃油の処理は図示による。なお、撤去に際しては、火気の使用を禁止する。 廃油搬出処理費(※ 別途 ・ 本工事) ○ 石綿含有資機材 (○ 配管フランジ接合部及びバルブガasket ・ ダクトパッキン ・ 煙道用パッキン ・ たわみ継ぎ手 ・ 配管保温材 ・ ) 上記以外に撤去する機器は製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 石綿含有資機材の処理は図示による。 石綿含有資機材の搬出処理費(※ 別途 ○ 本工事) 3) 特殊な建設副産物の処理 ○ フロン系冷媒処理 フロン系冷媒は関係法令等に従い適切に処理する。対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ○ 本工事) ・ 臭化リチウムの処理 臭化リチウム水溶液は関係法令等に従い適切に処理する。 対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ・ 本工事)		石綿含有設備資材の処理について	I. 石綿含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にかからない箇所で行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すと同時に、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニルシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 II. 石綿含有する設備資材の処理方法(※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構内搬出適切処理とする。 (3) 構内搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。		1 建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積	<3. 2. 5>		
1 発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ( ・ 金属類 ・ 機器類 ・ ) 2) 特別管理廃棄物処理 ・ 無 ・ 有 ( ・ 廃油 ○ 石綿含有資機材 ・ ) 特別管理廃棄物は関係法令等に従い適切に処理する。 ・ 廃油の処理は図示による。なお、撤去に際しては、火気の使用を禁止する。 廃油搬出処理費(※ 別途 ・ 本工事) ○ 石綿含有資機材 (○ 配管フランジ接合部及びバルブガasket ・ ダクトパッキン ・ 煙道用パッキン ・ たわみ継ぎ手 ・ 配管保温材 ・ ) 上記以外に撤去する機器は製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 石綿含有資機材の処理は図示による。 石綿含有資機材の搬出処理費(※ 別途 ○ 本工事) 3) 特殊な建設副産物の処理 ○ フロン系冷媒処理 フロン系冷媒は関係法令等に従い適切に処理する。対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ○ 本工事) ・ 臭化リチウムの処理 臭化リチウム水溶液は関係法令等に従い適切に処理する。 対象機器は図示による。 回収処分費(※ 別途 ・ 本工事)		年月日	整理番号	工事名				図面番号	
株式会社 近代設計コンサルタント				年月日	整理番号	工事名	図面番号			
広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小 瀬 宏 治				照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	A			
						図面名	SCALE			
						解体工事特記仕様書(3)	-			
							03			

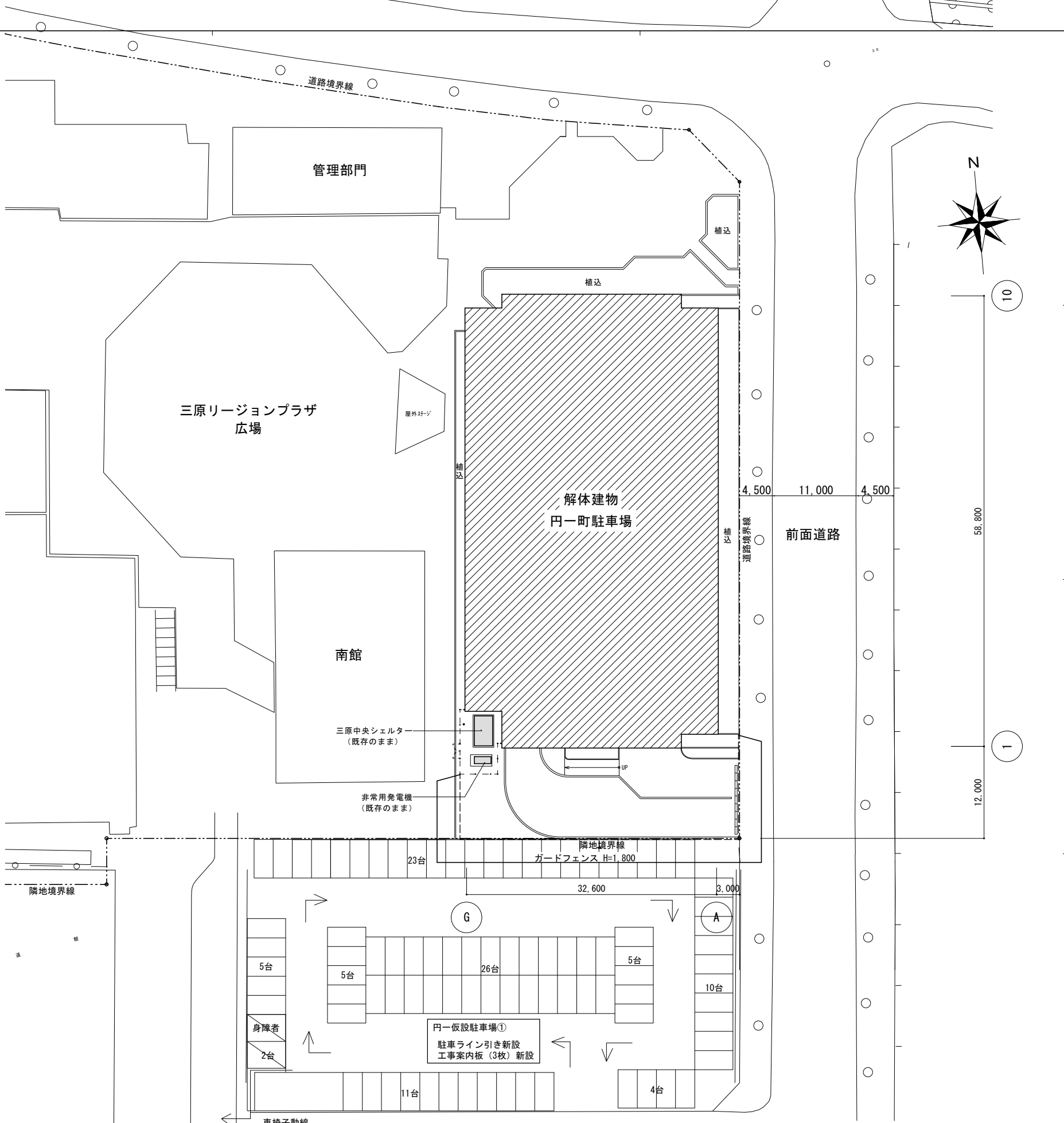




工事場所  
三原市円一町二丁目  
円一町駐車場

備考

- ・土壌汚染の関係上、1F土間より上部を撤去し、地下躯体、杭、埋設配管等は撤去しない。(詳細は図面による。)
- ・南面にある三原中央シェルター(通信施設)は残る為、振動、粉塵、養生に気を付けて解体すること。
- ・ALC版の吹付タイルの下地調整材はアスベスト含有であるが、吹付タイルは落とさず、アスベスト含有物として一体で処分すること。(切断する部分の吹付は、湿潤工法、飛散防止措置にて吹付を撤去してからの切断とする。)
- ・鉄骨は鉄骨カッターで切断、吊り降ろし搬出。振動が起こる為、地面に落とさない様に撤去すること。
- ・コンクリート部分は小まめに切断しながら、振動が起こる為、地面に落とさない様に撤去すること。
- ・南側の仮駐車場の、駐車ライン引き(線巾150 トラフィックペイント 921m)、工事案内板(3枚)を設置すること。
- ・解体工事後に敷地南側にガードフェンス(買取)を設置すること。



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日

整理番号

工事名

円一町駐車場解体等工事

照査

設計担当

図面名

附近見取図・配置図

SCALE

1/400 (A3: 70%縮小)

図面番号

A

04

外部仕上表					
場所	仕上	場所	仕上	場所	仕上
屋根	駐車場：コンクリート直押え 塔 屋：シート防水 笠 木：スチールt3.2曲げ加工 SOP 車止めブロック、鋼製手摺、ガードパイプ 排水溝（グレーチング蓋） コーナードレンΦ100（鋳物製）	C階段	床：しま鋼板t3.2 SOP ササラ：鉄骨 SOP アルミルーバー パンチングパネルt？	植込	北側：コンクリート立上り、タイル張り 樹木 東側：レンガ積み 樹木 西側：コンクリート縁石 樹木
外壁	ALC版t100 【吹付タイル：L3相当】	庇	屋根：折板葺き ケラバ包み 塩ビ製角樋 鉄骨下地 SOP		
腰壁	コンクリート打放し 吹付タイル（アスベスト含有なし）	縦樋	硬質塩ビパイプΦ100 VP仕上（摺金物共）		
根廻り	コンクリート打放し				

内部仕上表														
階	室名	床			巾木		壁		天井			備考		
		床高	仕上	下地	巾木高	仕上	仕上	下地	天井高	仕上	下地		廻縁	
1	管理室	±0	ビニル床シートt2.0	モルタル塗t30	60	『ビニル巾木：L3相当』	ビニルクロス	モルタル塗t20	2.400	化粧石膏ボードt9	軽天下地組	塩ビ		
	湯沸	±0	【ビニル床タイルt2.0：L3】	モルタル塗t30	60	『ビニル巾木：L3相当』	EP塗 一部『75角陶器質タイル張り：L3』	モルタル塗t25 『モルタル下地：L3』	2.300	『フレキシブルボードt4.0：L3』	VP塗	軽天下地組	塩ビ 流台	
	便所	±0	25角モザイクタイル張り	モルタル下地	-	-	75角陶器質タイル張り	モルタル下地	2.300	『ケイカル板t6.0：L3』	VP塗	軽天下地組	塩ビ トイレブース	
	待合室	±0	磁器質タイル張り	モルタル下地	60	『ビニル巾木：L3相当』	EP塗	モルタル塗t25	2.400	化粧石膏ボードt9		軽天下地組	塩ビ	
	機械室	±0	コンクリート直押え	-	-	-	コンクリートブロックt100化粧積	-	-	-	デッキスラブあらわし	-	-	機械基礎
共通 (1~4)	駐車場（車路、車室）	±0	コンクリート直押え	-	-	-	壁：ALC版t100 吹付タイル （アスベスト含有なし） 柱：ラスモルタルt40 リン吹付 （アスベスト含有なし） 梁：耐火被覆t30（ロックウール） （アスベスト含有なし）	-	-	-	デッキスラブあらわし	-	-	車止めブロック、排水溝（グレーチング蓋） 腰壁笠木：スチールt3.2曲げ加工 SOP 機械基礎
	階段A、B	±0	踊り場、段部：しま鋼板t3.2 1階のみコンクリート直押え	- -	- -	- -	壁：ALC版t100 吹付タイル （アスベスト含有なし） 柱：ラスモルタルt40 リン吹付 （アスベスト含有なし） 梁：ラスモルタルt40 吹付タイル （アスベスト含有なし）	-	-	-	デッキスラブあらわし（最上階）	-	-	鋼製手摺

伐採樹木 凡例 ※伐根はしない

a	クスノキ	H12,000	葉張り3,000	幹周600
b	クスノキ	H10,000	葉張り3,000	幹周400
c	クスノキ	H2,000	葉張り1,000	幹周200
d	クスノキ	H10,000	葉張り3,000	幹周400
e	クスノキ	H15,000	葉張り7,000	幹周1,800
f	クスノキ	H3,500	葉張り2,000	幹周200
g	マサキ	H2,000	葉張り1,300	幹周-
h	キンモクセイ	H3,000	葉張り2,000	幹周-
i	クスノキ	H5,000	葉張り4,000	幹周450
j	クスノキ	H4,000	葉張り2,000	幹周200
k	ナンテン	H2,500	葉張り2,000	幹周-

サツキツツジ 密植 H600×W800 ※Lは図示

移設物 凡例

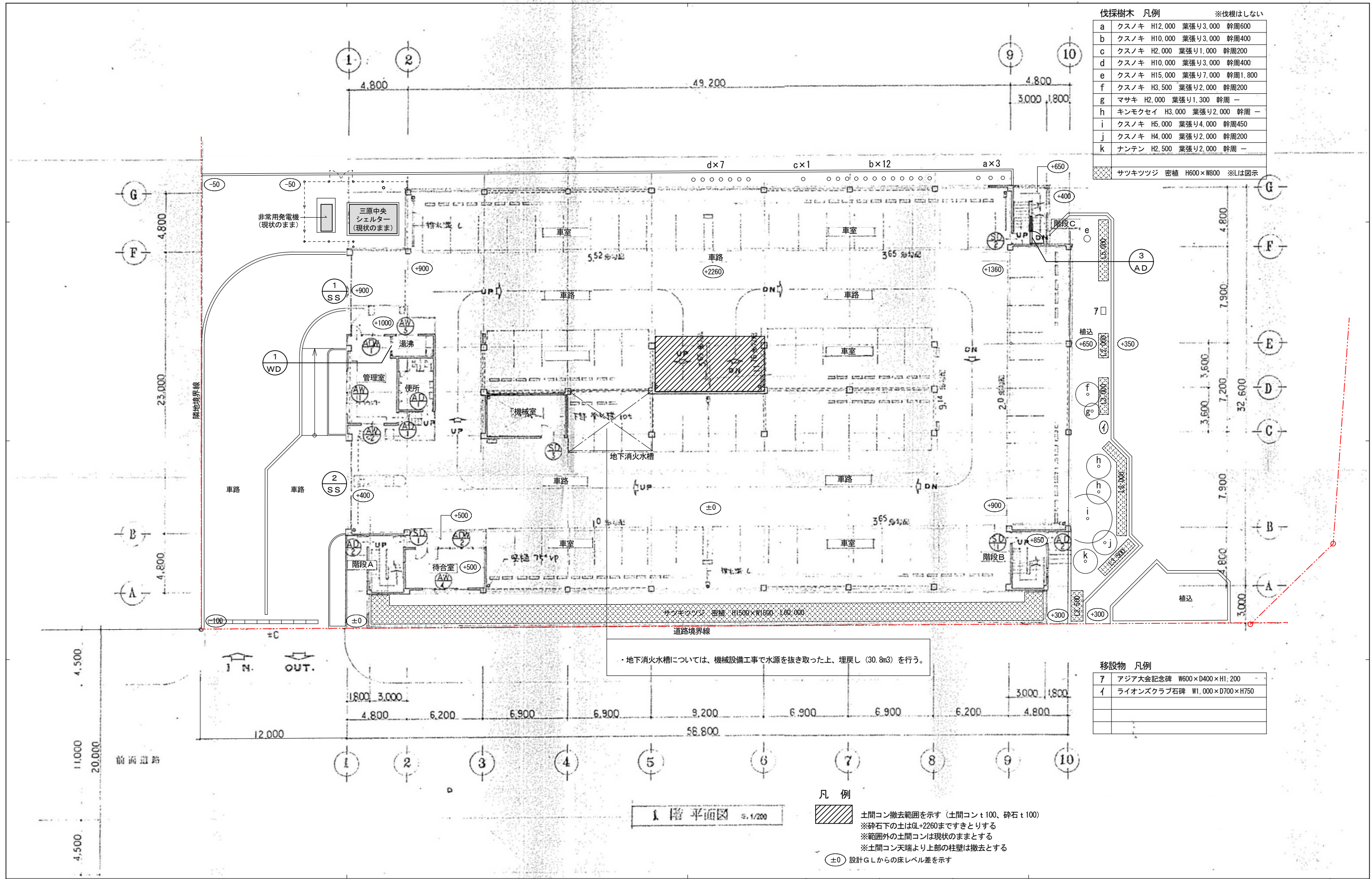
7	アジア大会記念碑	W600×D400×H1,200
1	ライオンズクラブ石碑	W1,000×D700×H750

凡例

土間コン撤去範囲を示す (土間コン t100、砕石 t100)  
 ※砕石下の土はGL+2260までできとりする  
 ※範囲外の土間コンは現状のままとする  
 ※土間コン天端より上部の柱壁は撤去とする  
 (±0) 設計GLからの床レベル差を示す

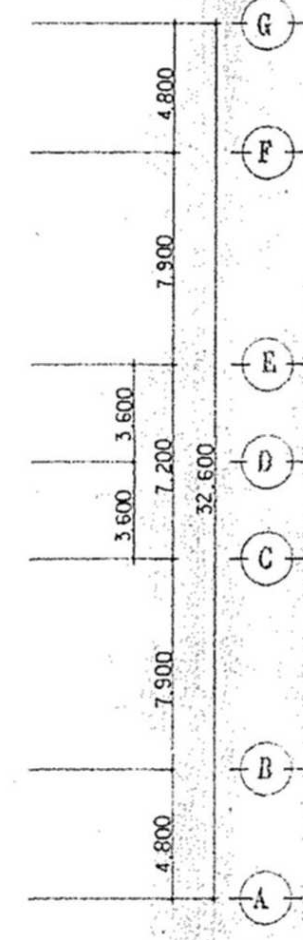
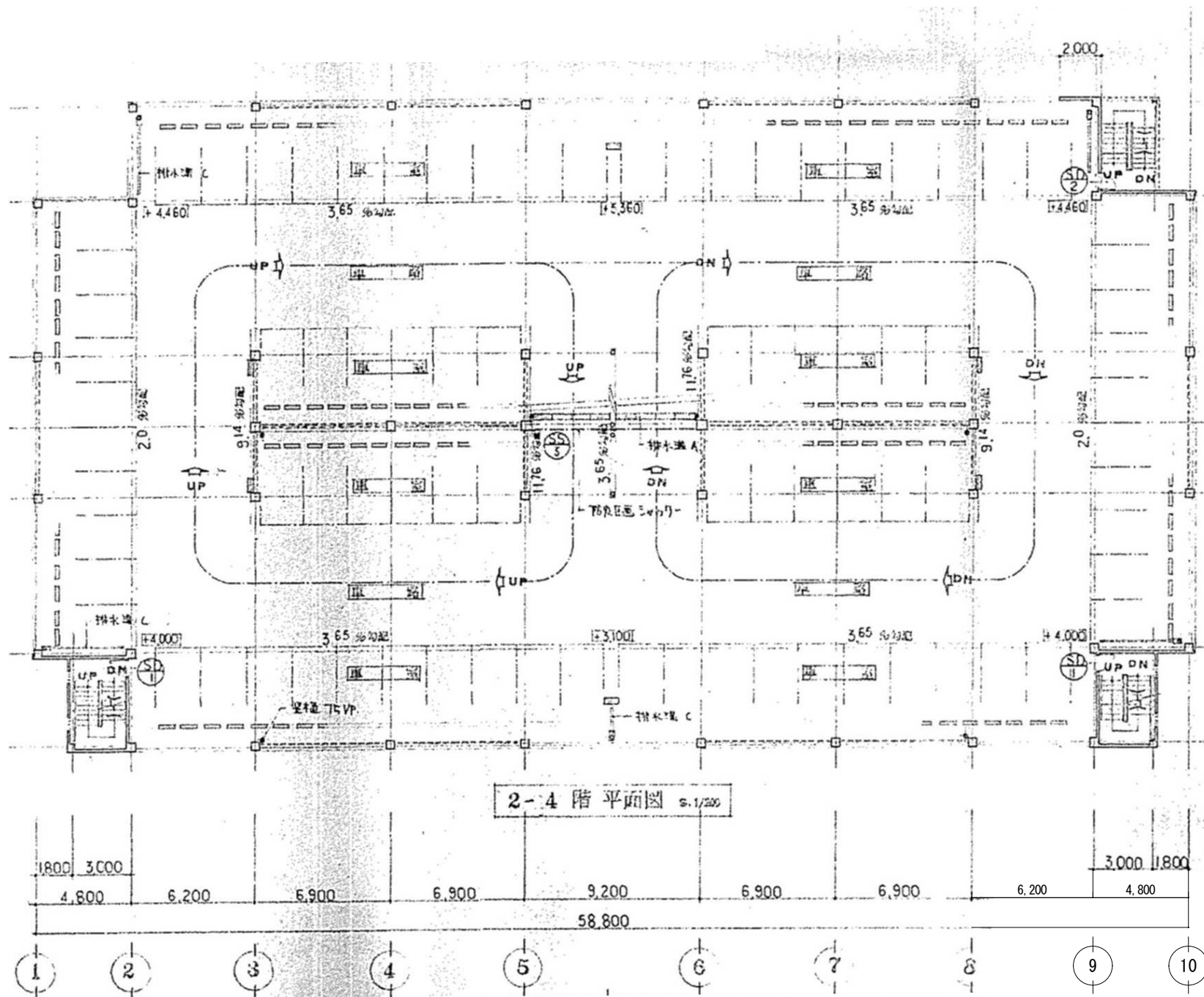
1階平面図 S.1/200

地下消火水槽については、機械設備工事で水源を抜き取った上、埋戻し (30.8m<sup>3</sup>) を行う。



株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555 (代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号	図面番号
		円一町駐車場解体等工事	1階平面図	A
照査	設計担当	SCALE	1/200 (A3: 70%縮小)	06



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日

照 査

整理番号

設 計 担 当

工事名

図面名

円一町駐車場解体等工事

2 ~ 4 階平面図

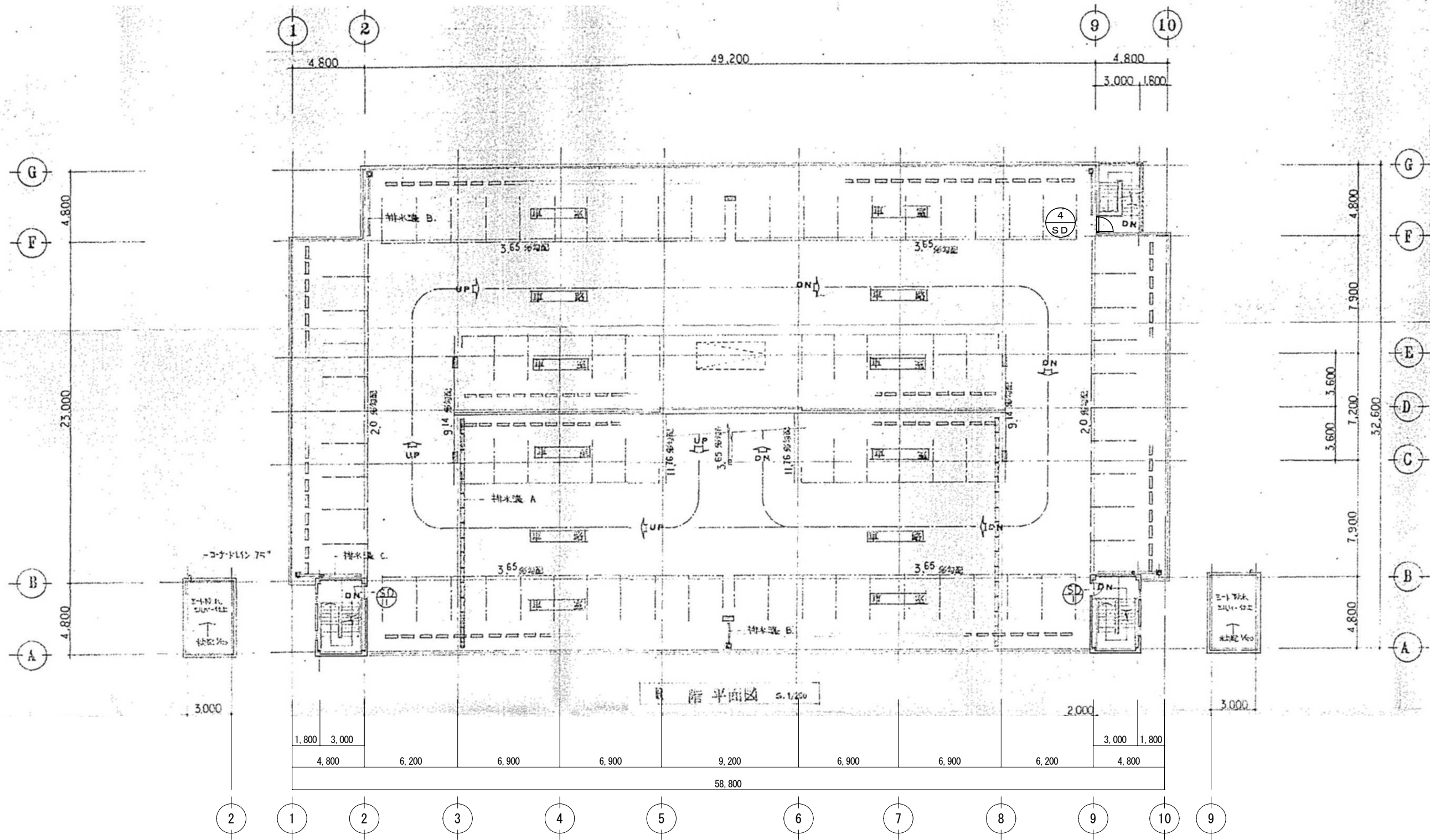
SCALE


1/200 (A3 : 70%縮小)

図面番号

A

07




**株式会社 近代設計コンサルタント**  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555 (代)

年月日

整理番号

工事名  
 円一町駐車場解体等工事

図面番号

照査

設計担当

図面名

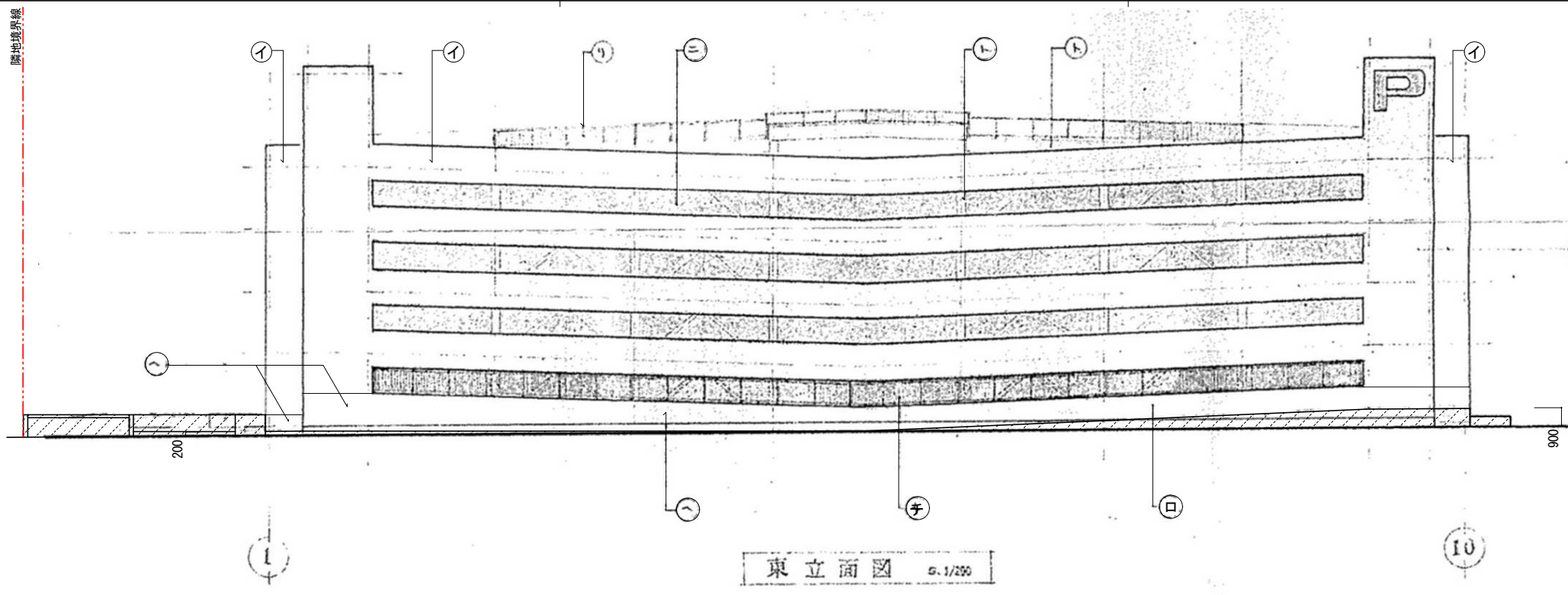
R階平面図

SCALE

1/200 (A3 : 70%縮小)

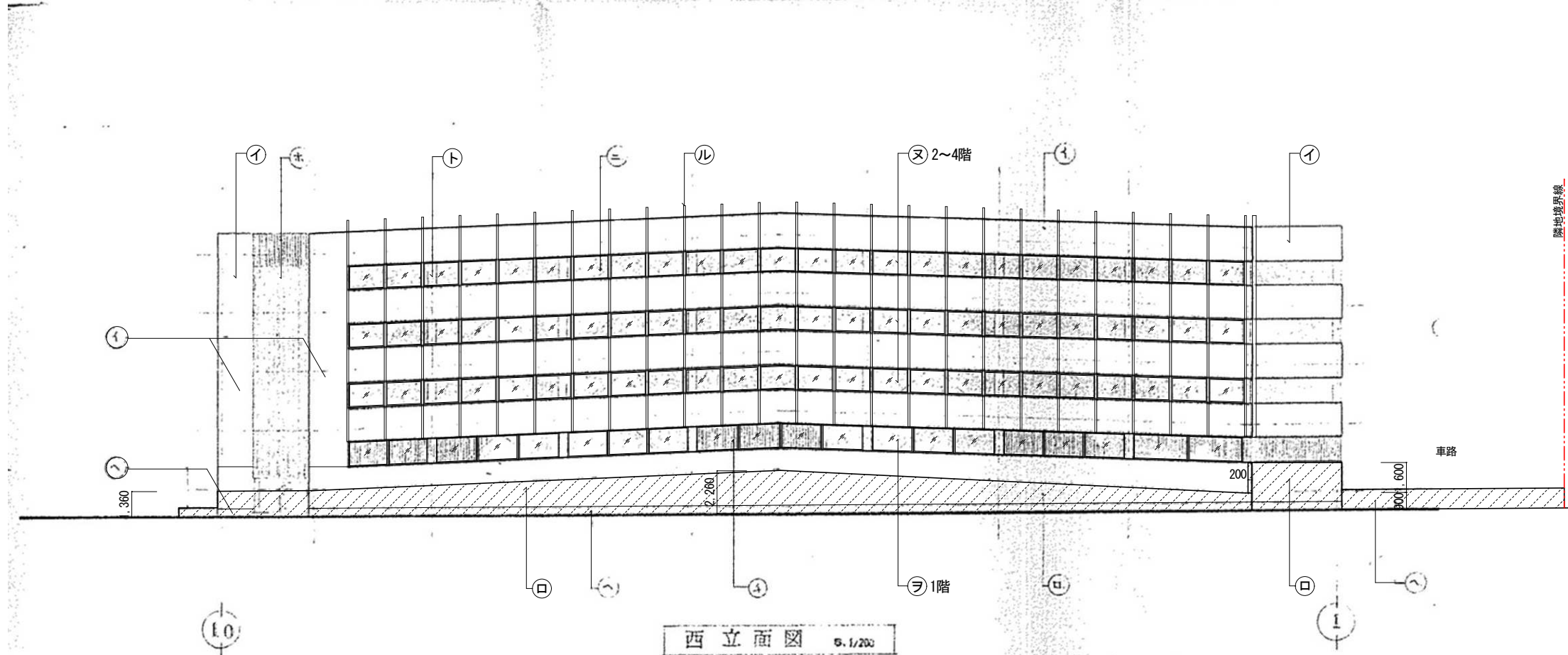
A

08



東立面図 5.1/200

外部仕上 凡例	
イ	ALC版 t100 【吹付タイル：L3相当】
ロ	コンクリート打放し 吹付タイル（アスベスト含有なし）
ハ	ガラスブロック
ニ	ブレース：鉄骨 SOP
ホ	アルミ製ルーバー
ヘ	コンクリート打放し
ト	柱・梁：ラスモルタル t40 リシン吹付（アスベスト含有なし）
チ	アルミ製格子 鉄骨下地 SOP
リ	スチール製手摺 SOP
ヌ	FIX窓：線入ガラス t6.8 スチール枠 SOP
ル	ルーバー鉄骨下地 SOP
ヲ	網入ガラス t6.8 スチール枠 SOP



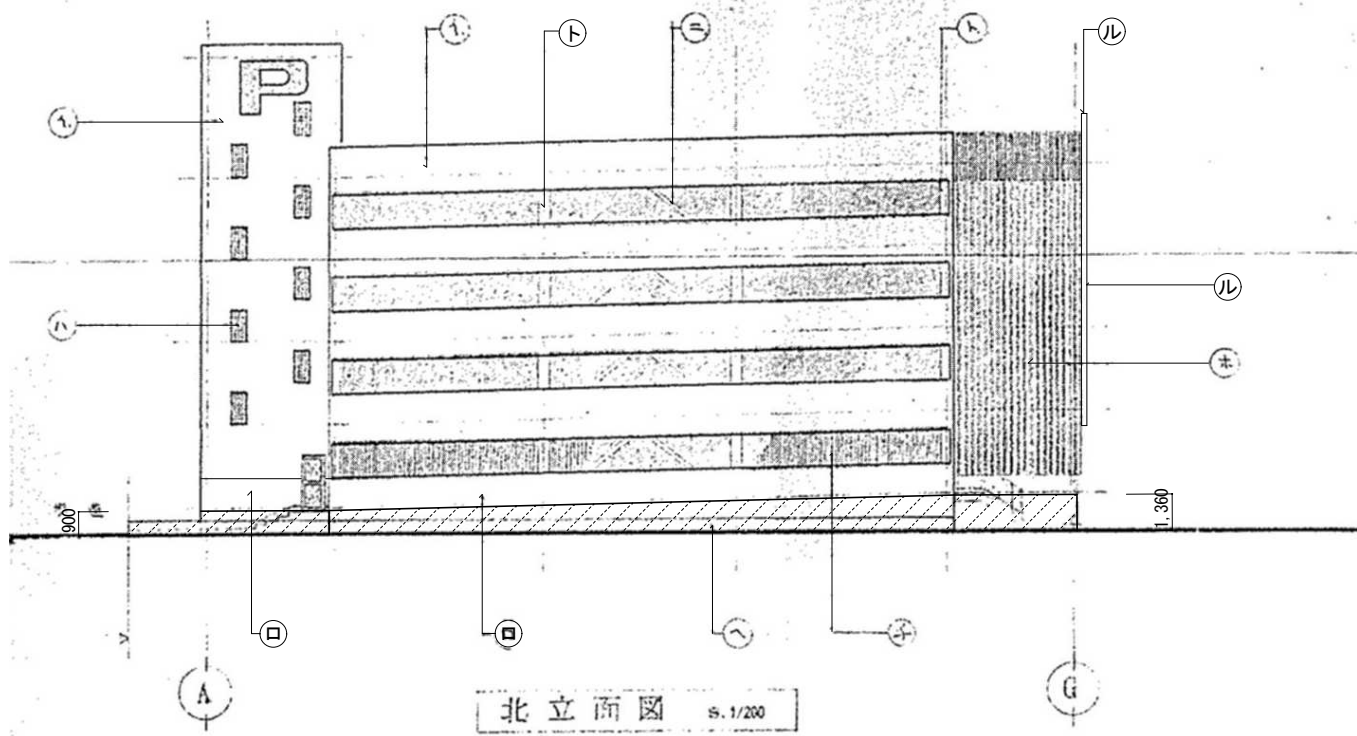
西立面図 5.1/200

凡例  
 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）

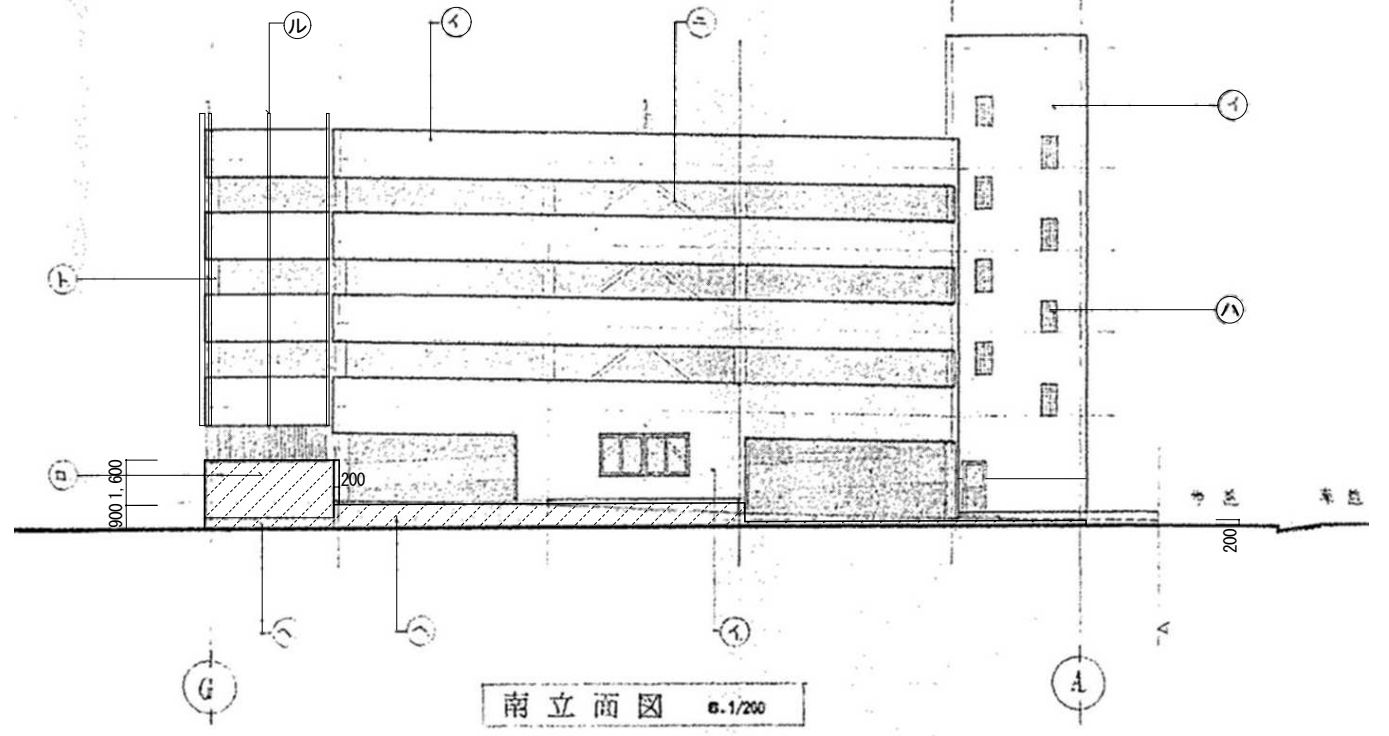
【〇〇〇〇】：アスベスト含有建材を示す  
 『〇〇〇〇』：アスベスト含有なし建材を示す  
 LO：アスベスト含有建材レベル1、2、3を示す  
 ※外壁：コンクリート打放し、内壁：ALC版 t100 吹付タイル、  
 柱：ラスモルタル t40 吹付タイル、梁：耐火被覆 t30は  
 アスベスト分析調査によって、含有なしの結果となっている。

株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555 (代) 小瀬 宏 治

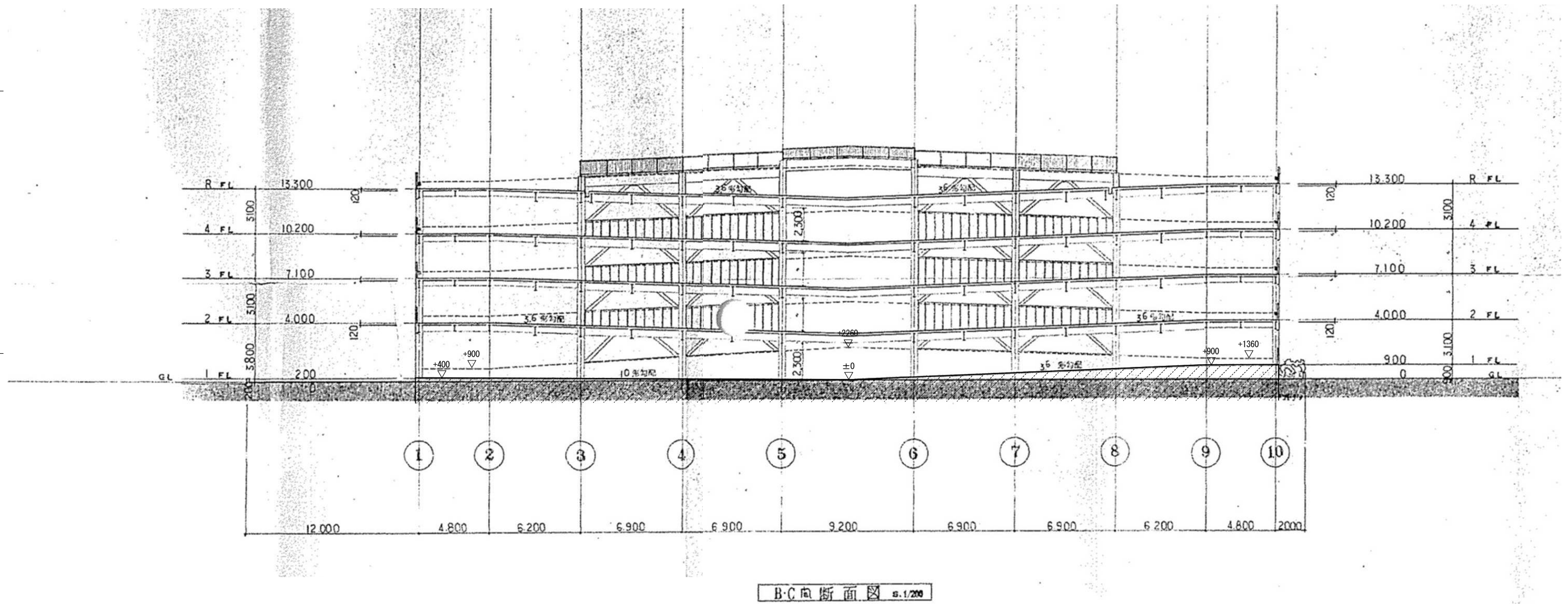
年月日	整理番号	工事名	図面番号 A / 09
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
立面図 (1)			SCALE 1/200 (A3 : 70%縮小)



北立面図 5.1/200




南立面図 6.1/200



B-C断面図 5.1/200

凡例

 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)

株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)

年月日

整理番号

工事名

円一町駐車場解体等工事

照査

設計担当

図面名

立面図(2)・断面図(1)

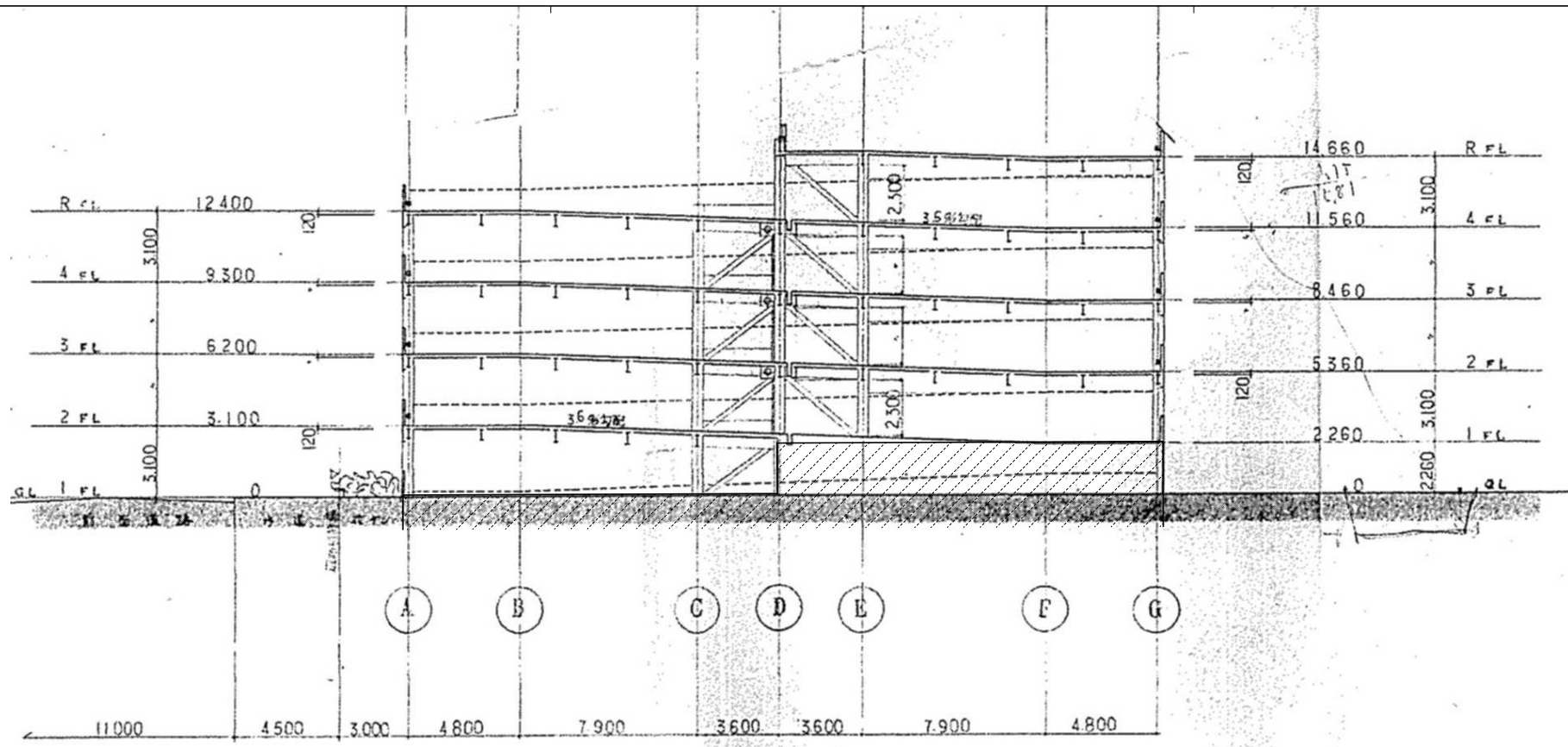
SCALE

1/200 (A3: 70%縮小)

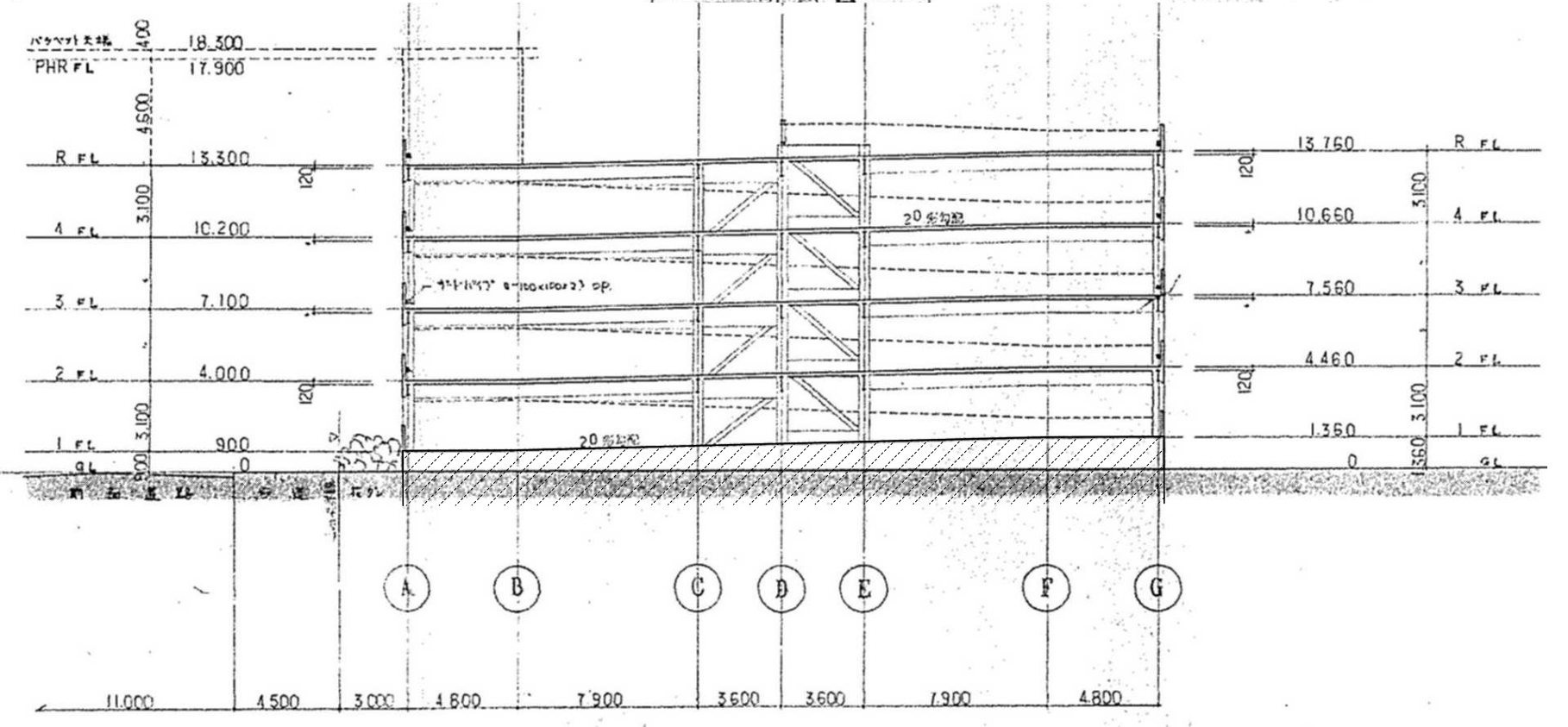
図面番号

A

10



5・6 断面図 縮尺 1/200

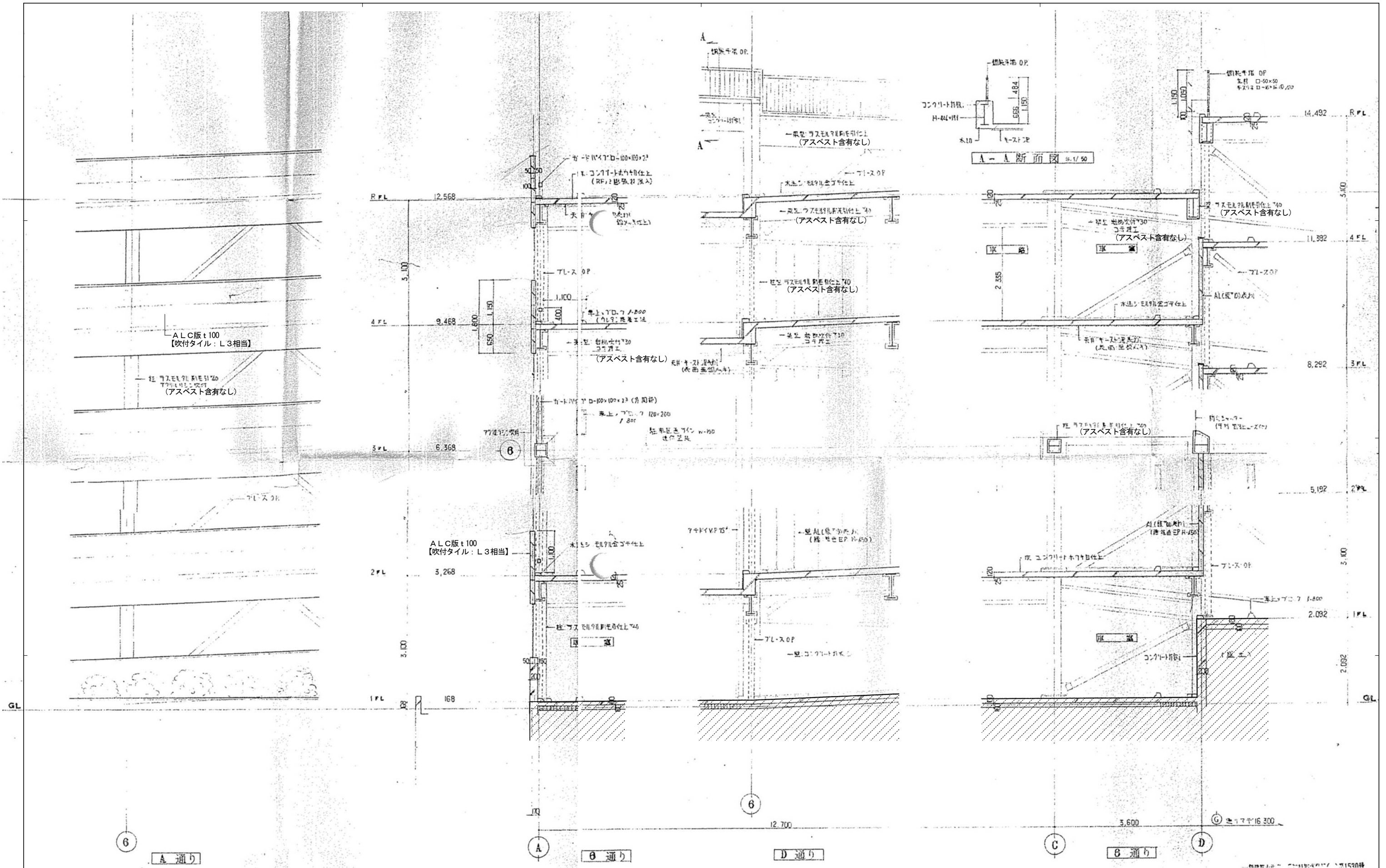


8・9 断面図 縮尺 1/200

凡例  
 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）

株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号 A / 11
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
		断面図(2)	SCALE 1/200 (A3: 70%縮小)



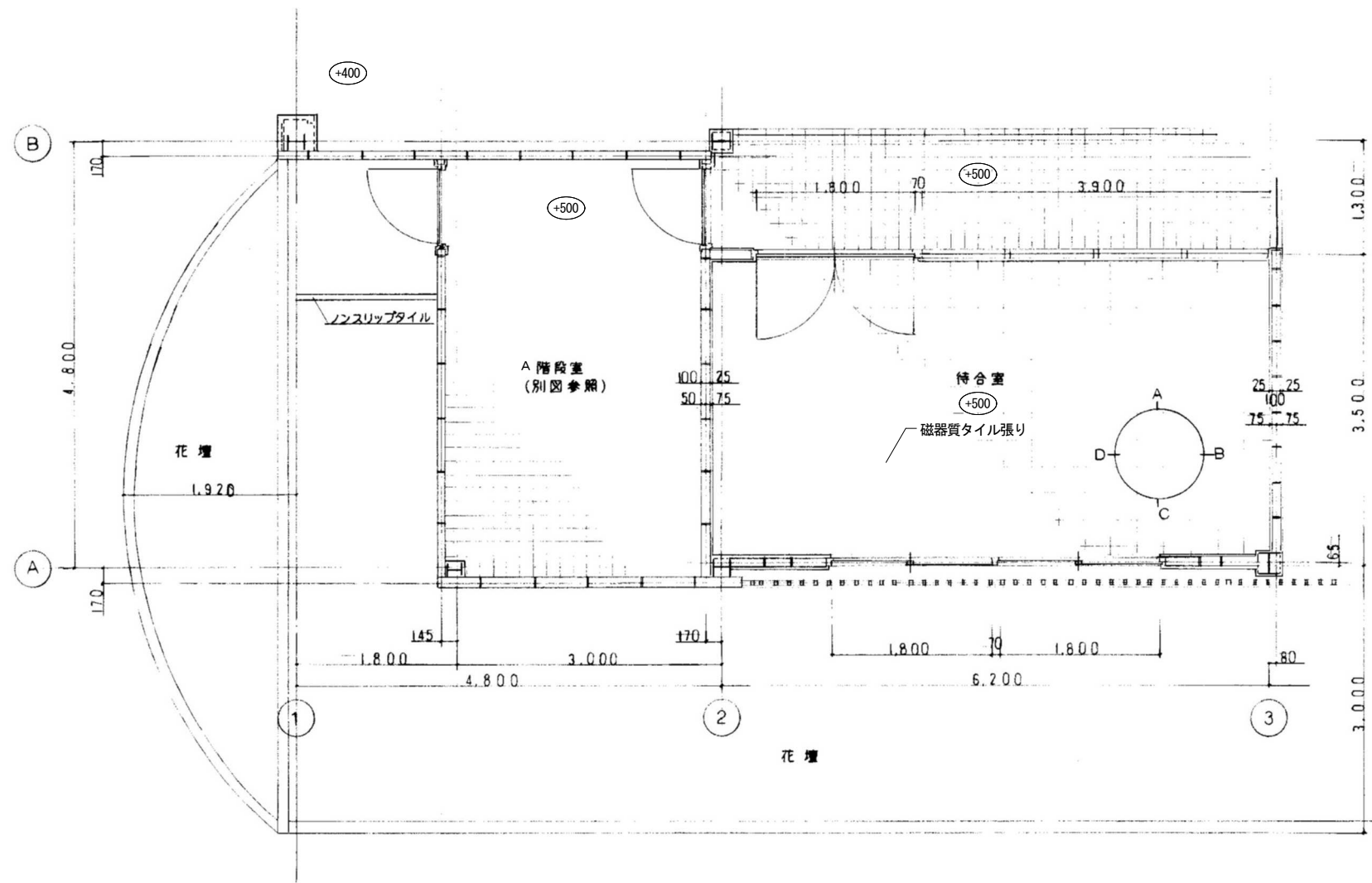
**凡例**  
 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）

【〇〇〇〇】：アスベスト含有建材を示す  
 『〇〇〇〇』：アスベスト含有なし建材を示す  
 LO：アスベスト含有建材レベル1、2、3を示す  
 ※外壁：コンクリート打放し、内壁：ALC版t100吹付タイル、柱：ラスモルタルt40吹付タイル、梁：耐火被覆t30はアスベスト分析調査によって、含有なしの結果となっている。

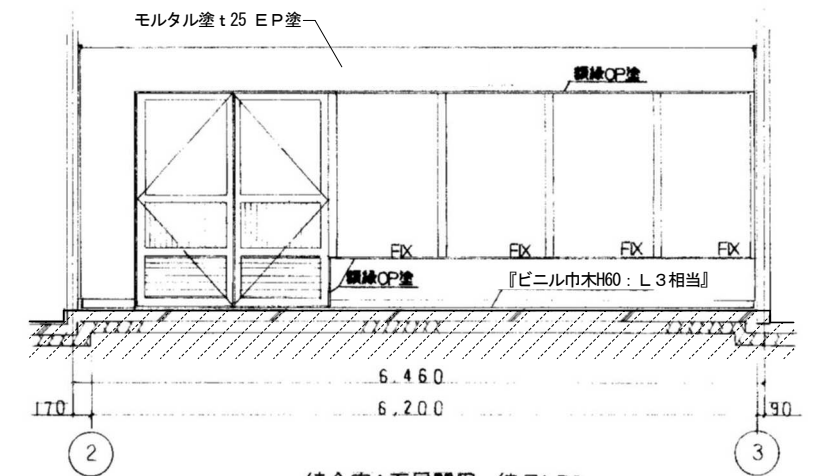
**株式会社 近代設計コンサルタント**  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	A
図面名			SCALE
矩計図			1/60 (A3:70%縮小)
			12

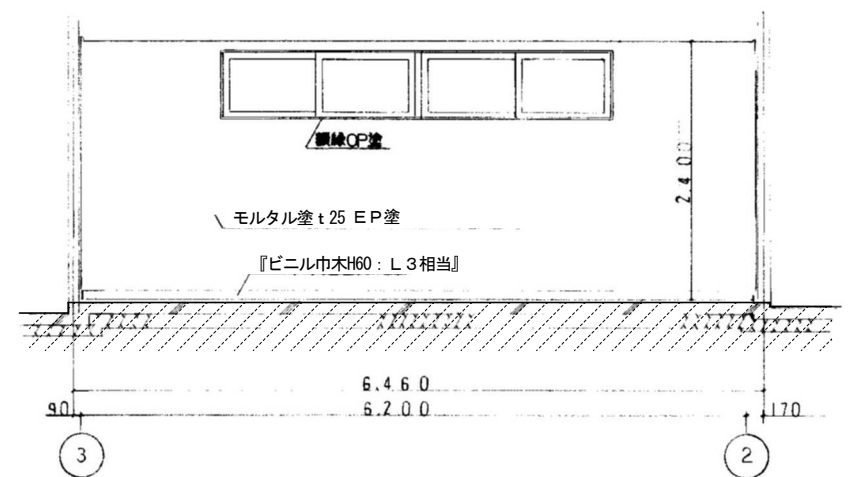
符号	個所	1 SS	1	2 SS	1	3 SS	3	1 SD	10	2 SD	4	3 SD	1
形状	シャッターボックス750×700：鋼板 t 0.8加工 		シャッターボックス750×700：鋼板 t 0.8加工 		シャッターボックス400×550：鋼板 t 0.8加工 								
型式	鋼製電動シャッター		鋼製電動シャッター		鋼製防火シャッター		鋼製片開きフラッシュドア		鋼製片開きフラッシュドア		鋼製両開きフラッシュドア		
仕上	SOP		SOP		SOP		SOP		SOP		SOP		
見込	-		-		-		100		100		100		
金物	ガイドレール・まぐさ・座金・方立		ガイドレール・まぐさ・座金・方立		ガイドレール・まぐさ・座金・方立		丁番、握り玉、空錠、DC		丁番、握り玉、空錠、DC		丁番、握り玉、シリンドー錠、フランス落し、DC		
硝子	スラット t 1.6		スラット t 1.6		スラット t 1.6		-		-		-		
場所	1階車路入口		1階車路出口		2～4階車路スロープ		階段A、B		階段B		1階機械室		
備考													
符号	個所	4 SD	1	1 AD	2	2 AD	2	3 AD	1	1 ADW	1	2 ADW	1
形状			線入型ガラス t 6.8 アルミパネル t 2 		線入型ガラス t 6.8 アルミパネル t 2 		□-40×70×2.0 1.300 		線入透明ガラス t 6.8 1.550 		線入透明ガラス t 6.8 1.550 		
型式	鋼製片開きフラッシュドア		アルミ製片開き框ドア		アルミ製片開き框ドア		アルミ製片開き框ドア		アルミ製片開き框ドア、引違窓		アルミ製両開き框ドア、FI X窓		
仕上	SOP		シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		
見込	100		70		70		100		70		70		
金物	丁番、握り玉、空錠		丁番、握り玉、シリンドー錠、DC		丁番、握り玉、シリンドー錠、DC		丁番、握り玉、空錠、DC		丁番、握り玉、シリンドー錠、DC、引違窓標準金物一式		丁番、握り玉、シリンドー錠、フランス落し、DC		
硝子	-		線入型ガラス t 6.8		線入型ガラス t 6.8		アルミパネル t 2.0		線入透明ガラス t 6.8		線入透明ガラス t 6.8		
場所	階段B		1階管理室、便所		階段A、B		階段C		1階待合室		1階待合室		
備考													
符号	個所	1 AW	1	2 AW	1	3 AW	1	4 AW	1			1 WD	1
形状													
型式	アルミ製引違窓		アルミ製引違窓		アルミ製引違窓		アルミ製引違窓				木製両開きフラッシュドア		
仕上	シルバー		シルバー		シルバー		シルバー				ポリ合板		
見込	70		70		70		70				-		
金物	引違窓標準金物一式		引違窓標準金物一式		引違窓標準金物一式		引違窓標準金物一式				丁番、握り玉、空錠、フランス落し、ガラリ		
硝子	線入透明ガラス t 6.8		線入透明ガラス t 6.8		線入型ガラス t 6.8		線入透明ガラス t 6.8				-		
場所	1階管理室		1階管理室		1階湯沸室		1階待合室				1階管理室		
備考													
 株式会社 近代設計コンサルタント 一級建築士 登録第277978号 小瀬 宏 治 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 TEL (082) 243-5555 (代)								年月日	整理番号	工事名		図面番号	
								照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事			A
								図面名	建具表		SCALE	1/100 (A3 : 70%縮小)	13



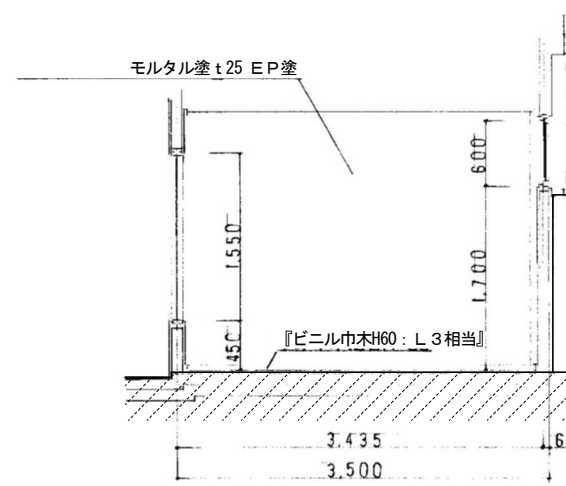
待合室平面詳細図 縮尺1:50



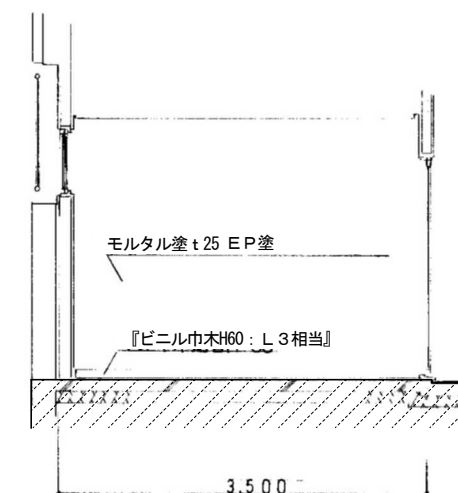
待合室A面展開図 縮尺1:50



待合室C面展開図 縮尺1:50



待合室B面展開図 縮尺1:50



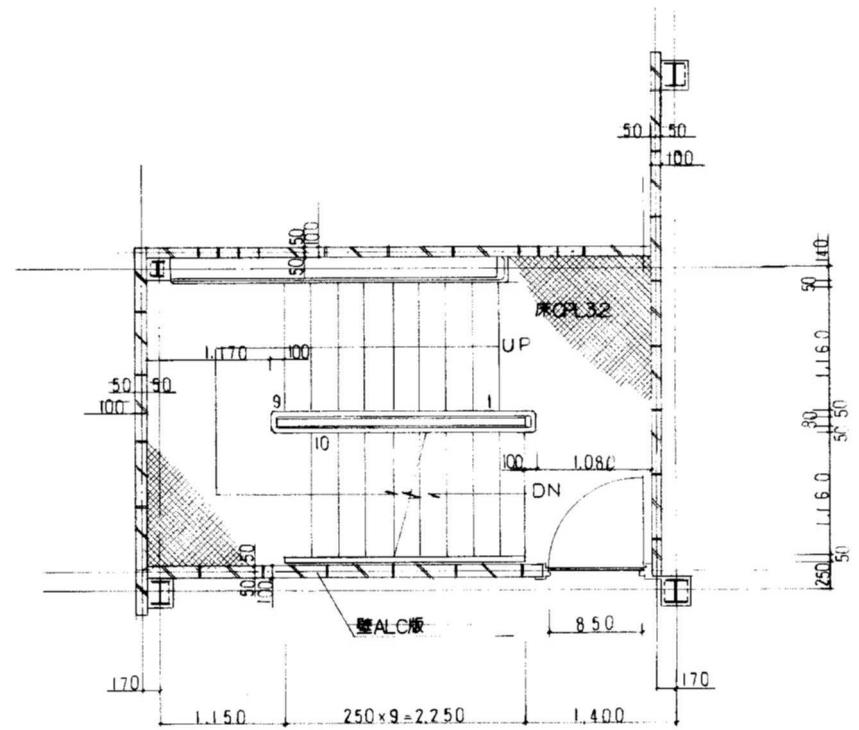
待合室D面展開図 縮尺1:50

**凡例**  
 撤去範囲外を示す (1階土間コンテ端より下部)  
 設計G.Lからの床レベル差を示す

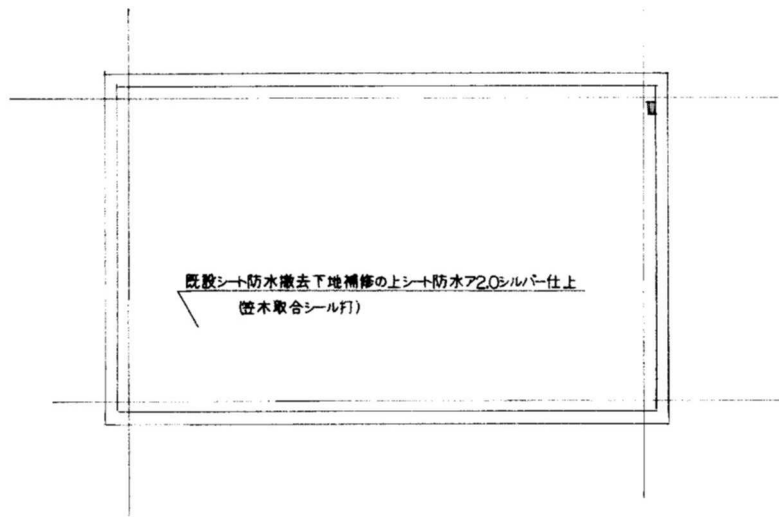
【0000】 : アスベスト含有建材を示す  
 『0000』 : アスベスト含有みなし建材を示す  
 LO : アスベスト含有建材レベル1、2、3を示す

**株式会社 近代設計コンサルタント**  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555 (代)

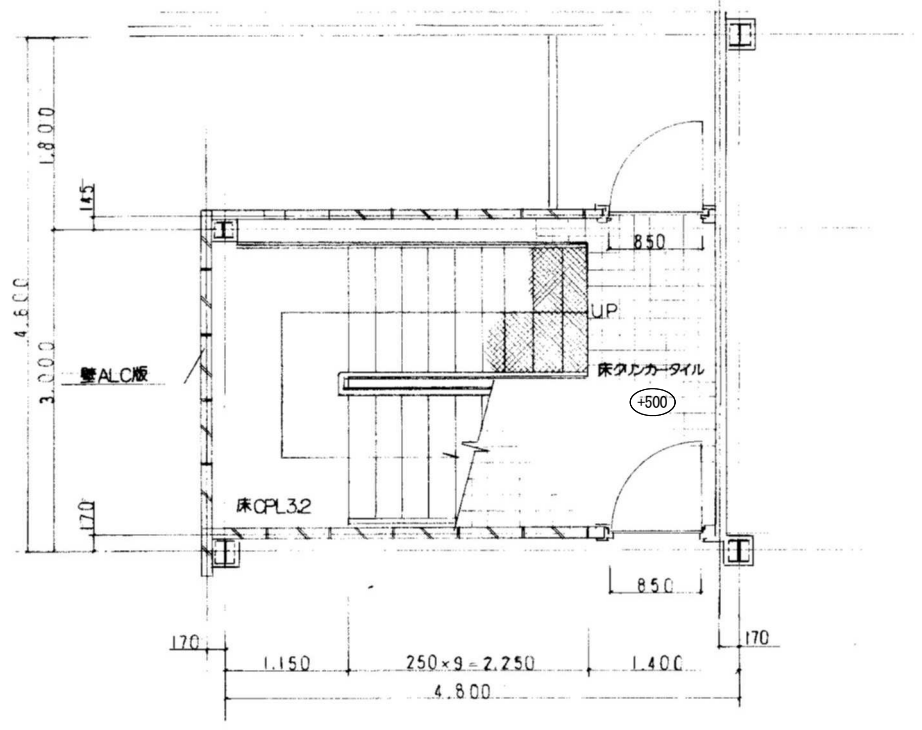
年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
1階待合室 平面詳細図・展開図			SCALE
			1/50 (A3 : 70%縮小)
			A / 14



2~4階平面図 縮尺1:50

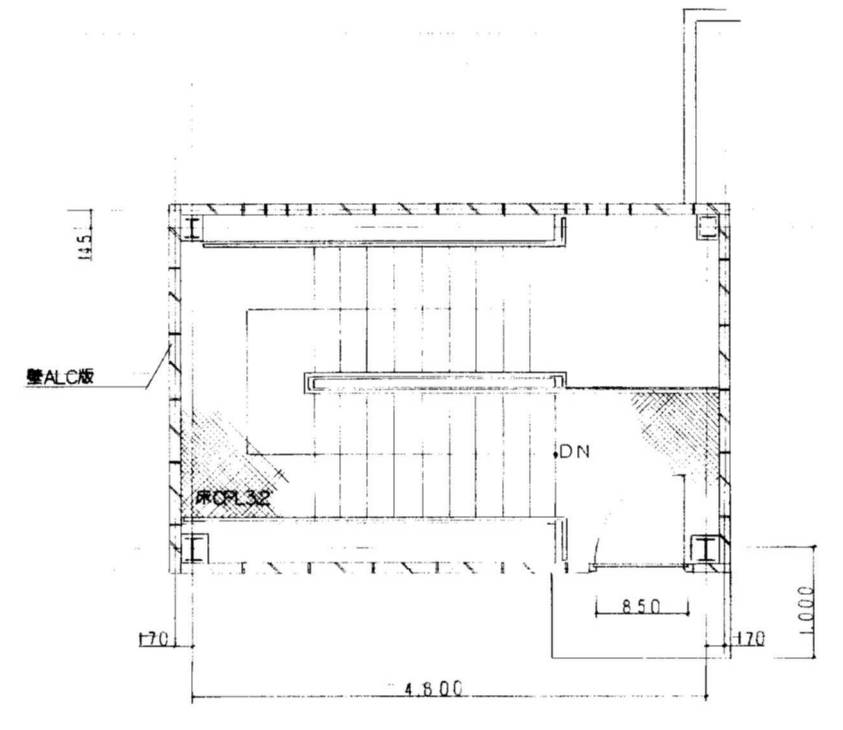


屋根伏図 縮尺1:50

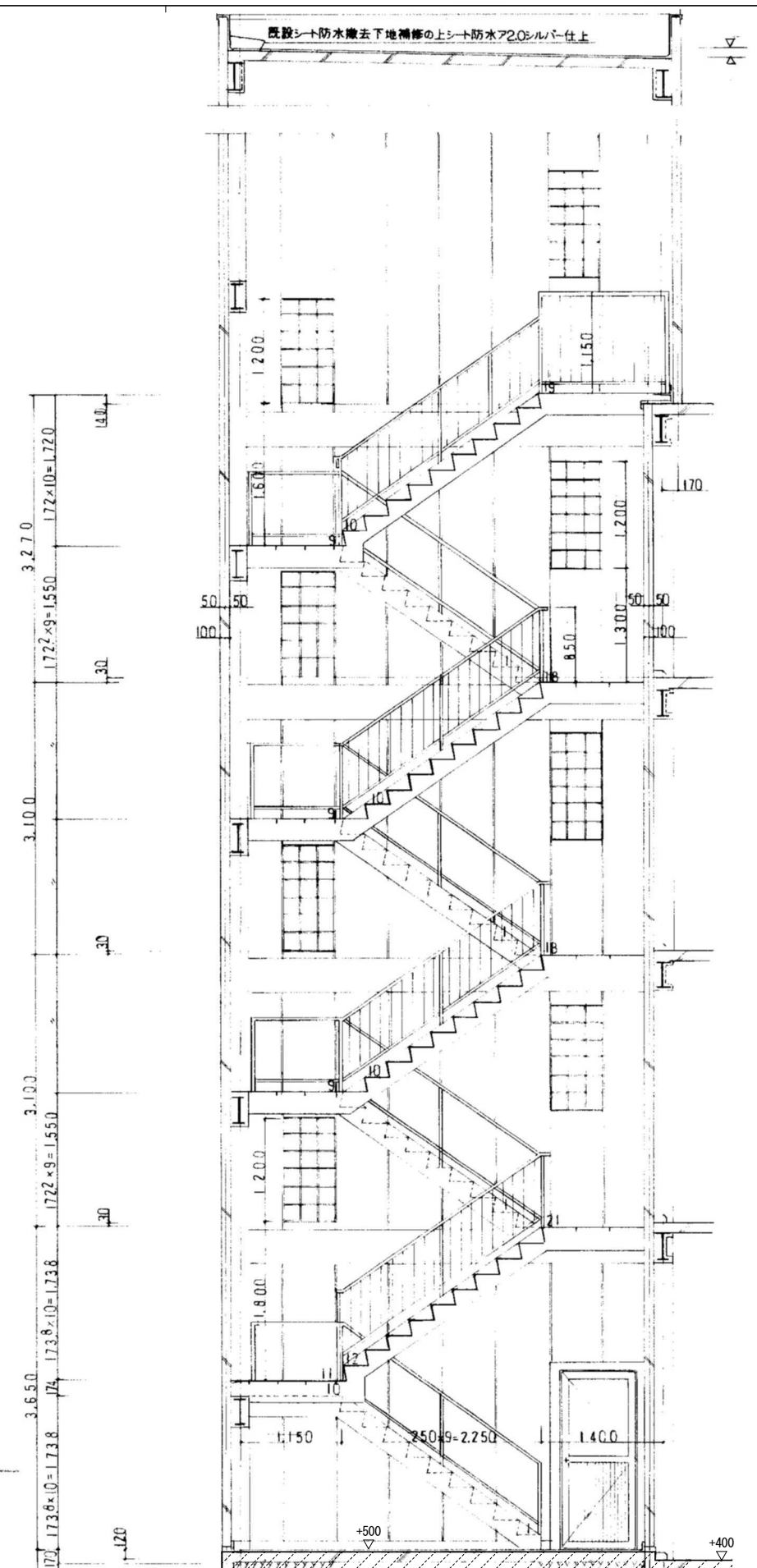


1階平面図 縮尺1:50

海鉄部ケレン錆止OP2回塗 出入口戸ケレン錆止OP2回塗



R階平面図 縮尺1:50

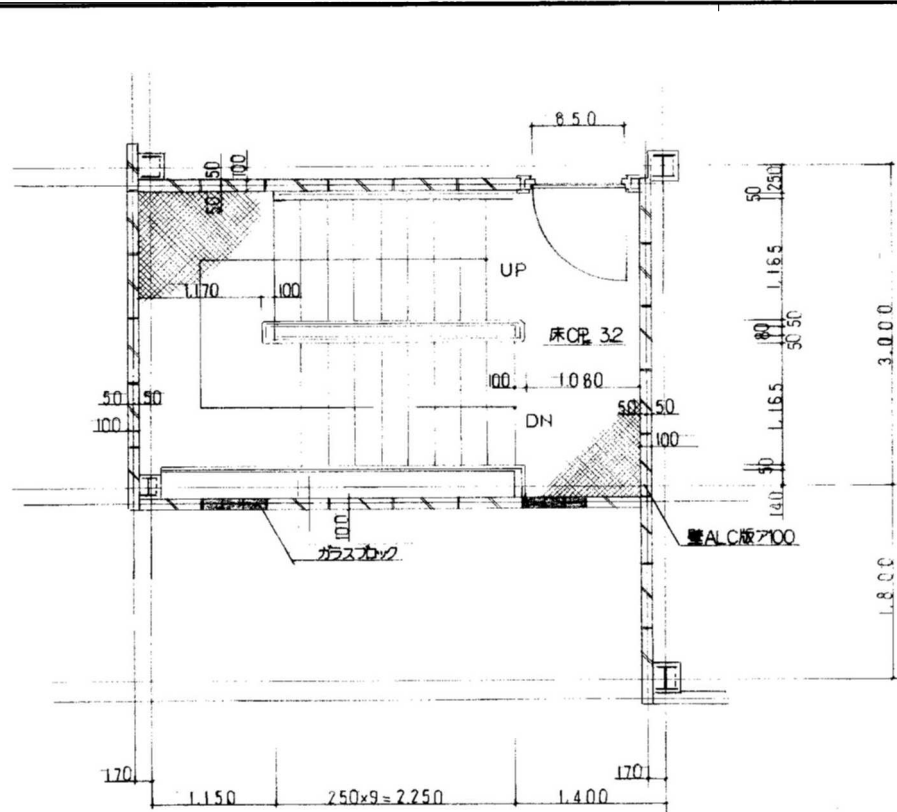


断面図 縮尺1:50

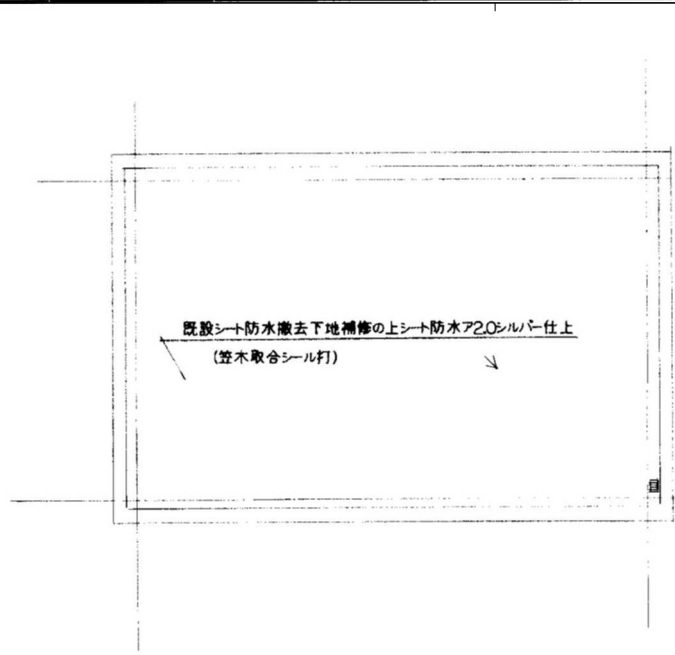
- 凡例
- 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)
  - 設計G.Lからの床レベル差を示す

株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555 (代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	A
		A階段詳細図	15
SCALE			1/50 (A3: 70%縮小)

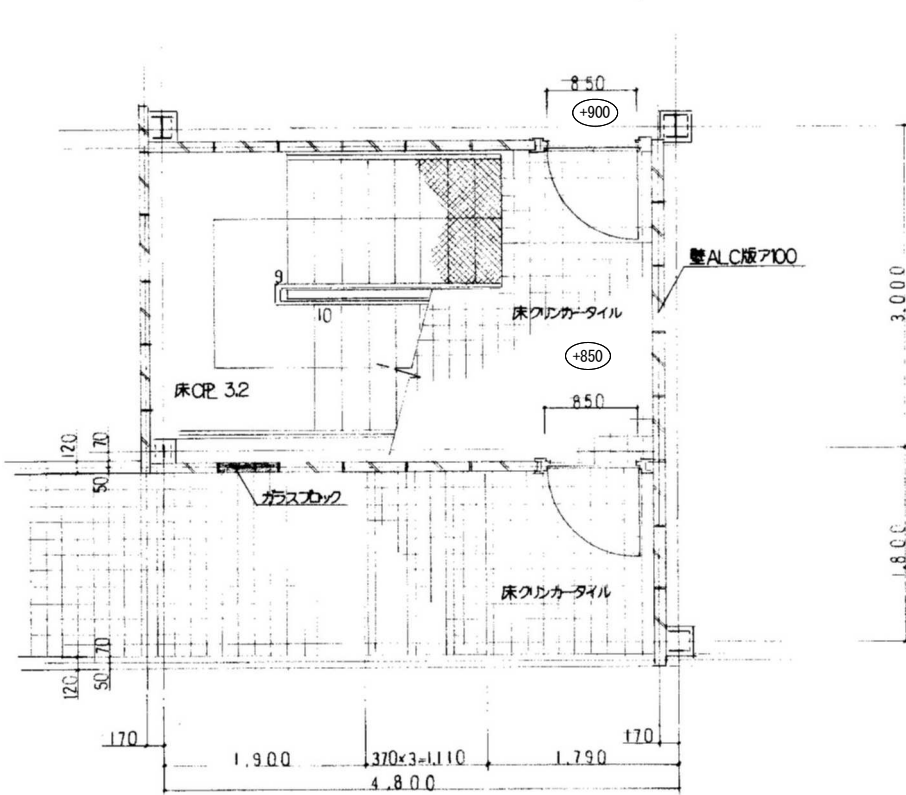


2~4階平面図 縮尺1:50

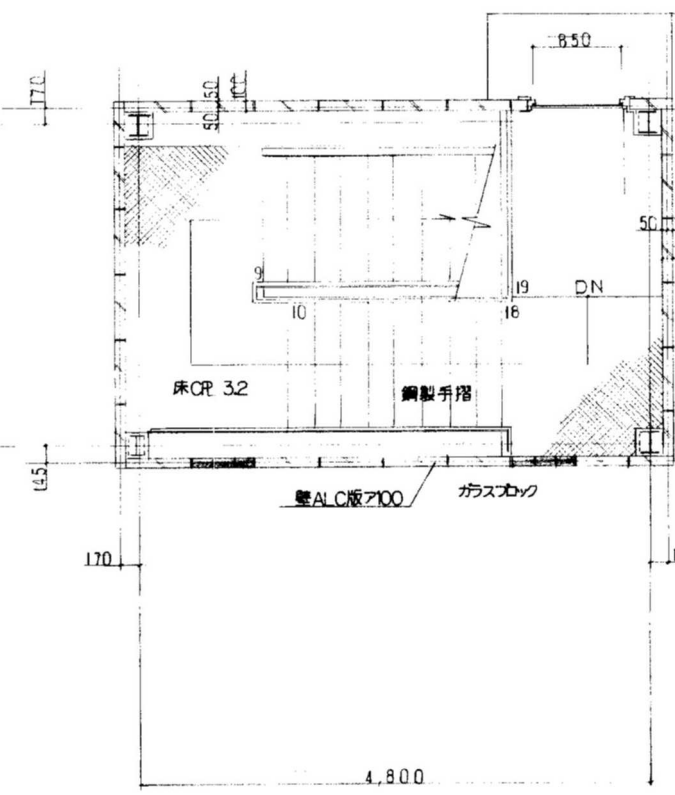


屋根伏図 縮尺1:50

※鉄部ケレン、錆止、OP2回塗 出入口戸ケレン、錆止、OP2回塗

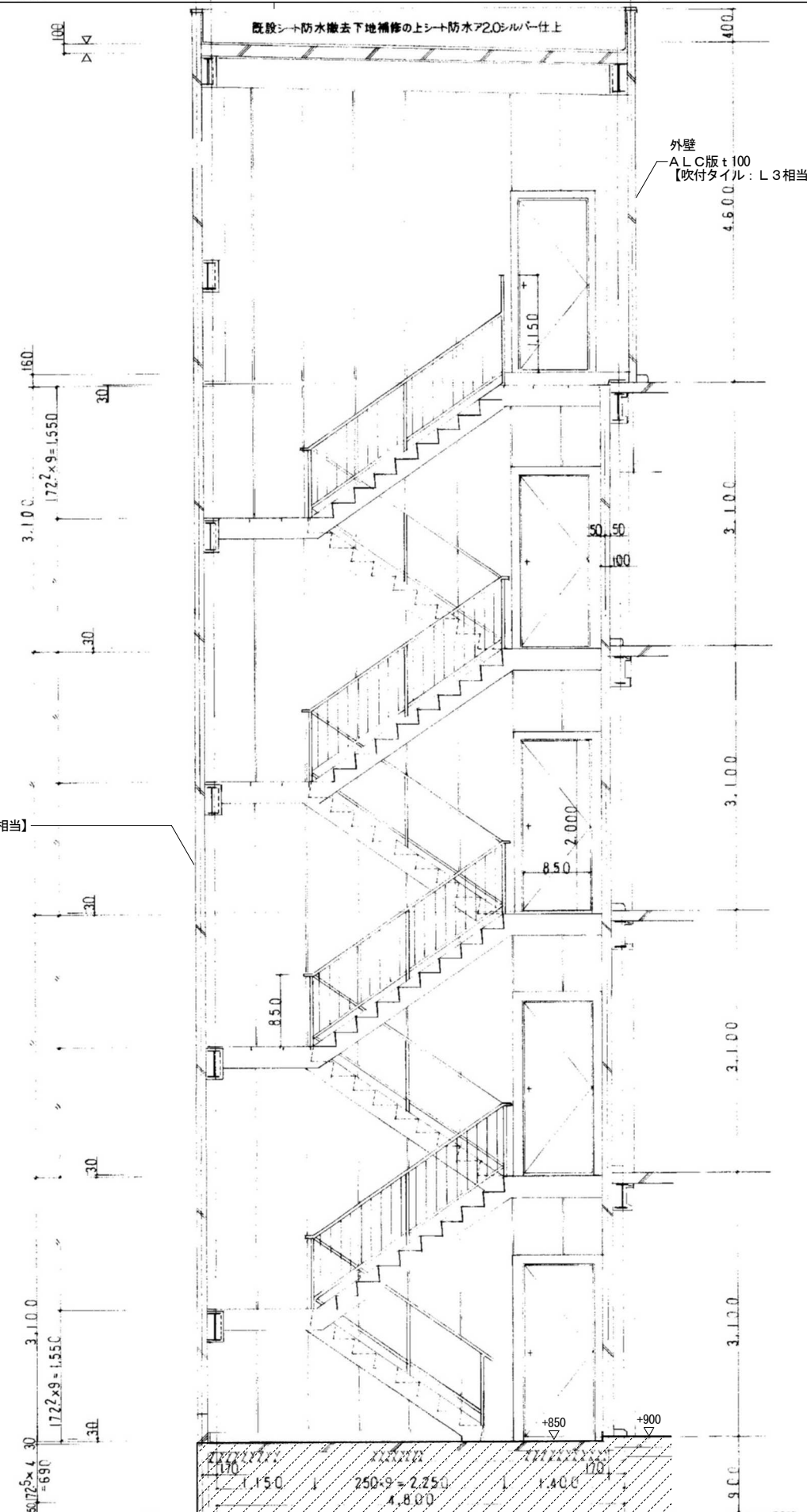


1階平面図 縮尺1:50



R階平面図 縮尺1:50

断面図 縮尺1:50



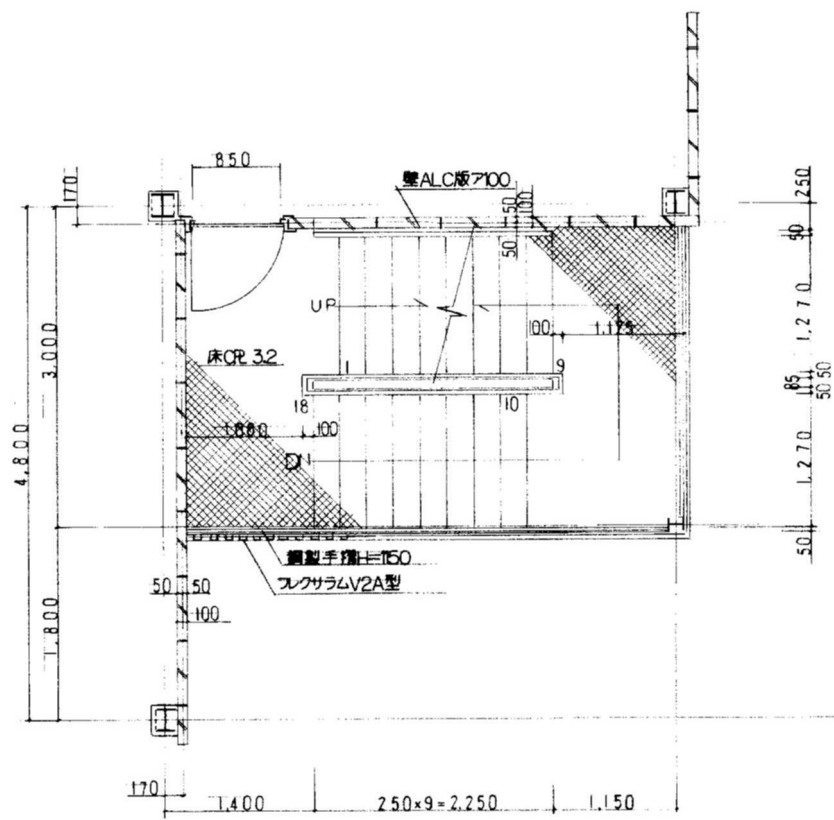
凡例

- 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)
- 設計GLからの床レベル差を示す

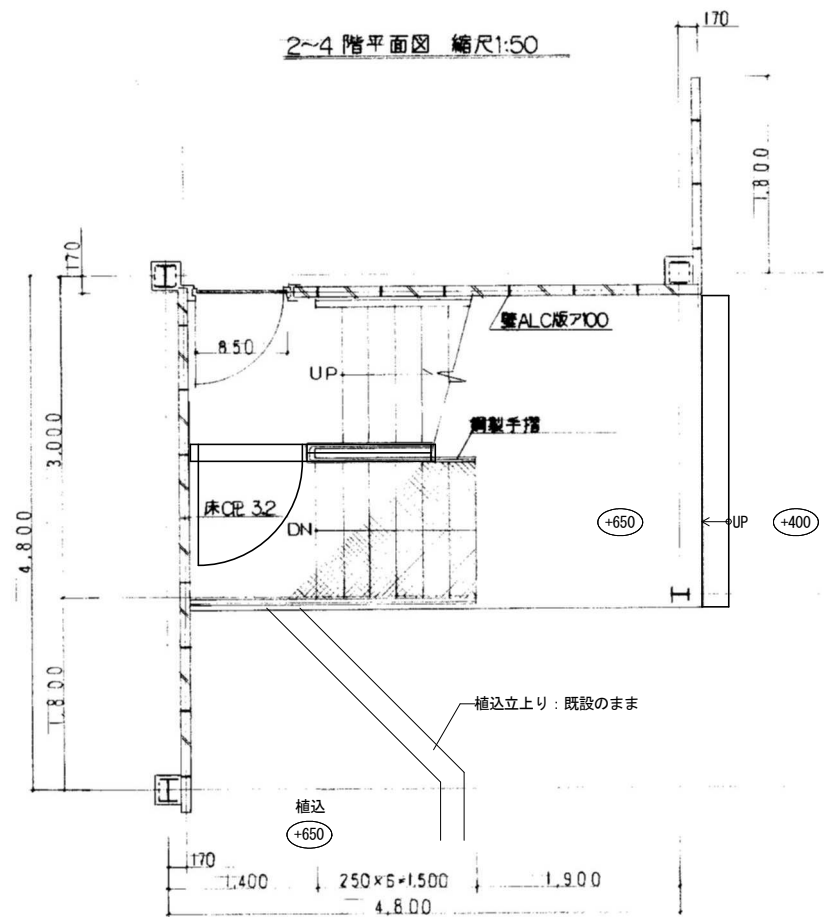
- 【0000】 : アスベスト含有建材を示す
- 『0000』 : アスベスト含有みなし建材を示す
- LO : アスベスト含有建材レベル1、2、3を示す

株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

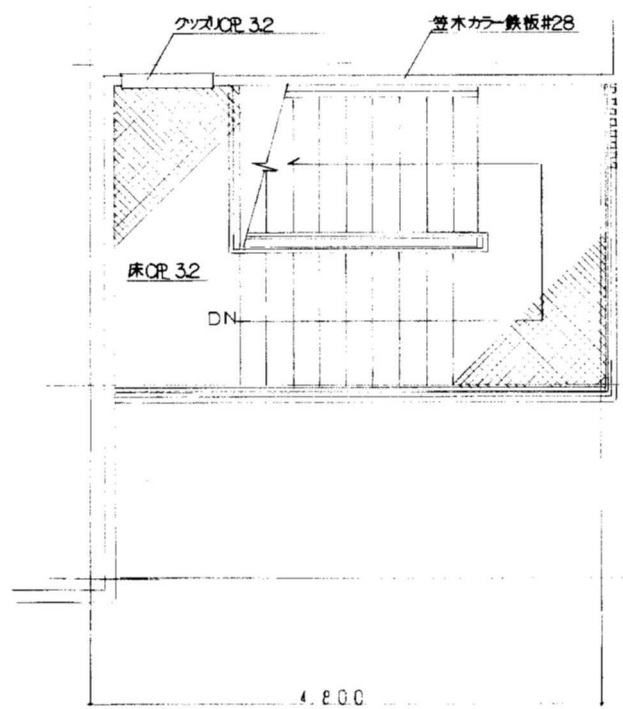
年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計 担当	円一町駐車場解体等工事	A
		B階段詳細図	16
SCALE			
1/50 (A3: 70%縮小)			



2~4階平面図 縮尺1:50

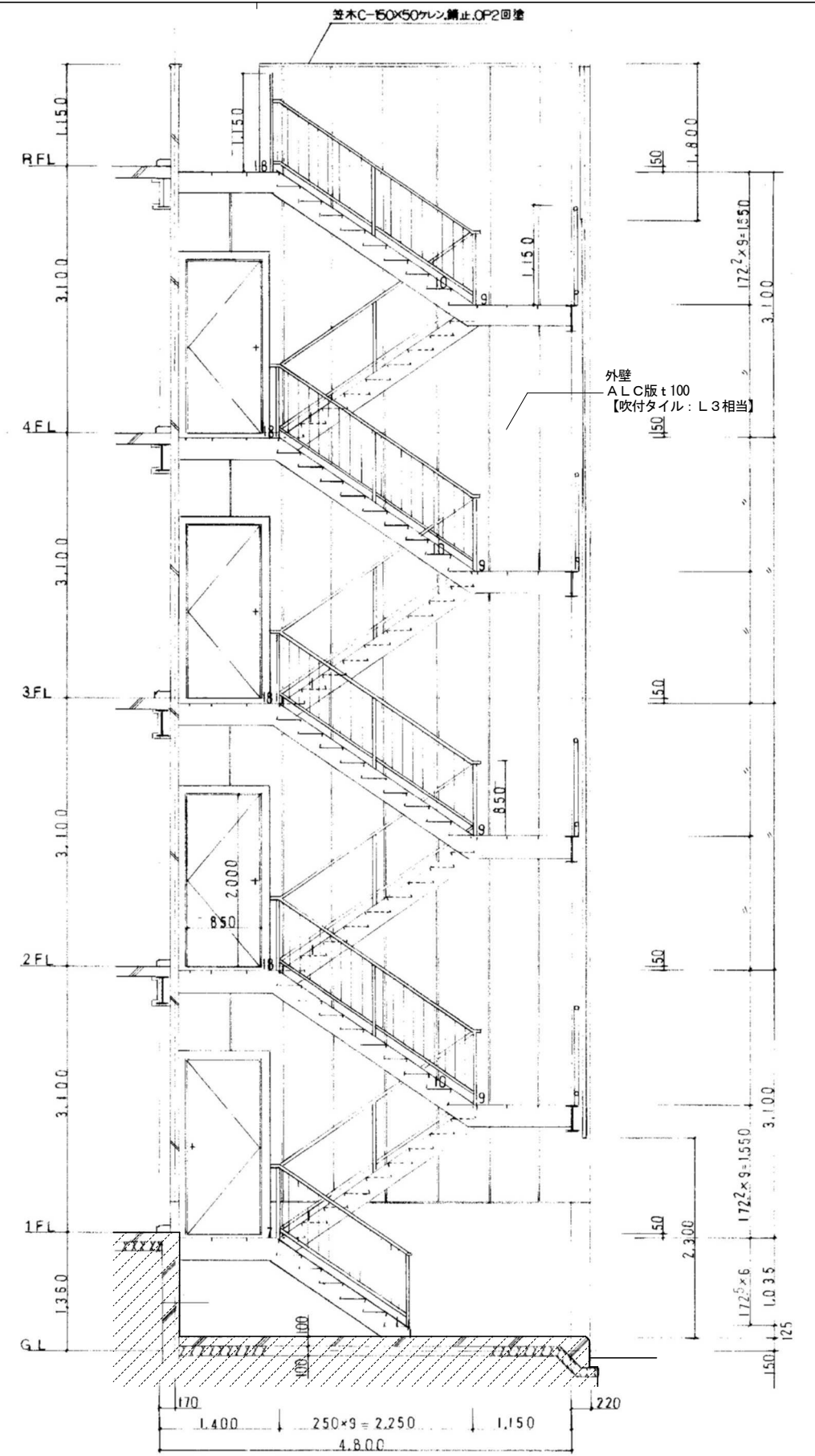


1階平面図 縮尺1:50



R階平面図 縮尺1:50

※鉄部ケレン、錆止、OP2回塗 出入口ケレン、錆止、OP2回塗



断面図 縮尺1:50

凡例

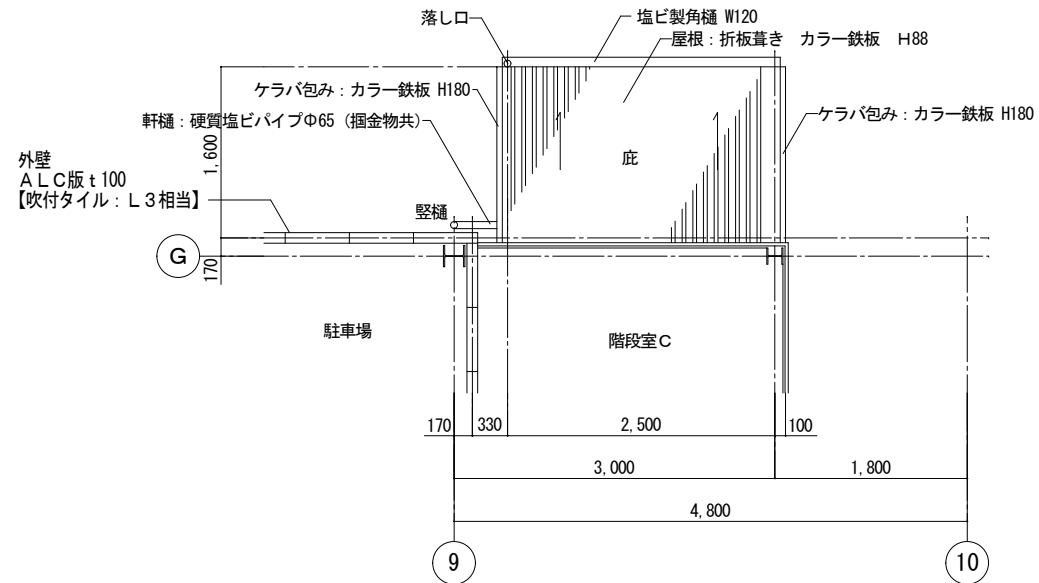
- 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)
- GLからの床レベル差を示す

- 【0000】: アスベスト含有建材を示す
- 『0000』: アスベスト含有みなし建材を示す
- LO : アスベスト含有建材レベル1、2、3を示す

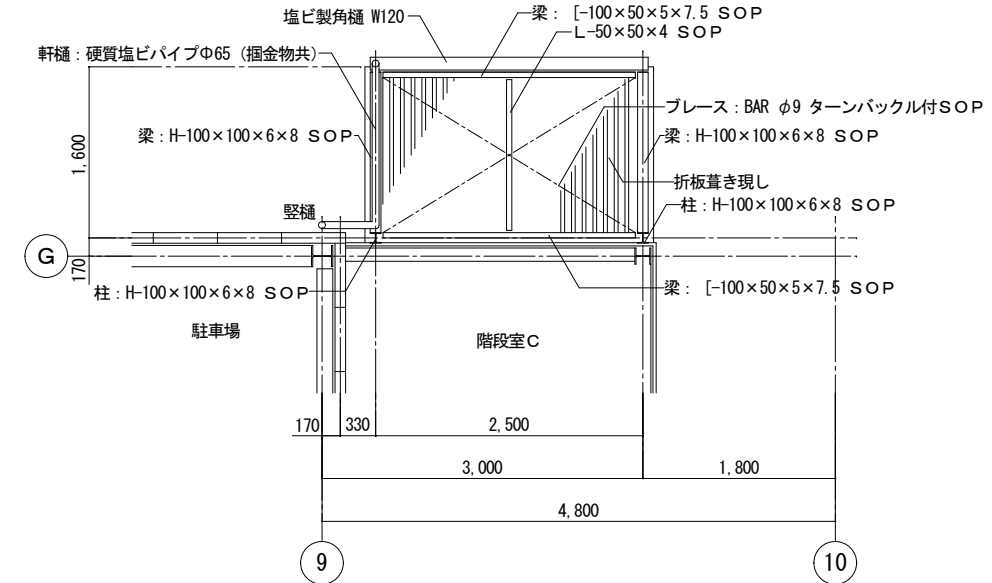
株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555 (代) 小瀬 宏 治

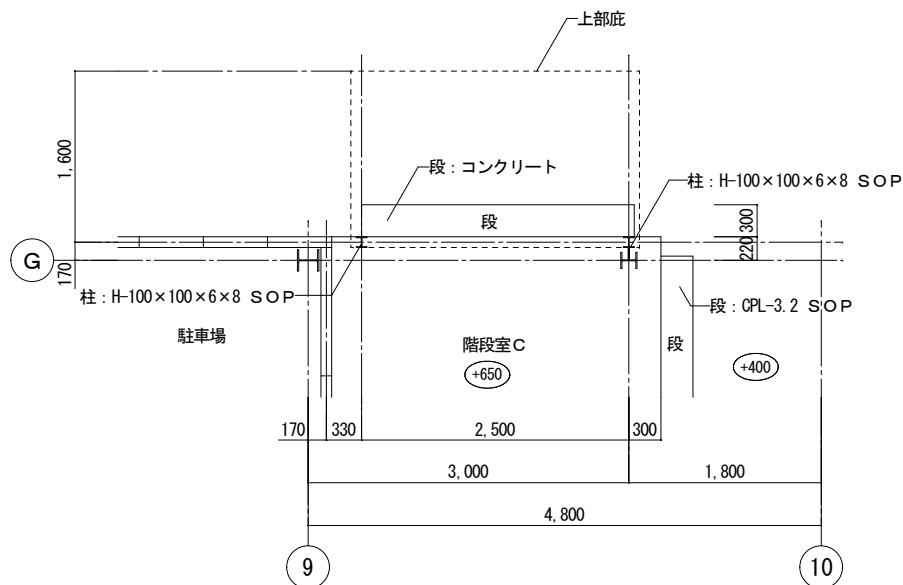
年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	A
C階段詳細図			SCALE
			1/50 (A3: 70%縮小)
			17



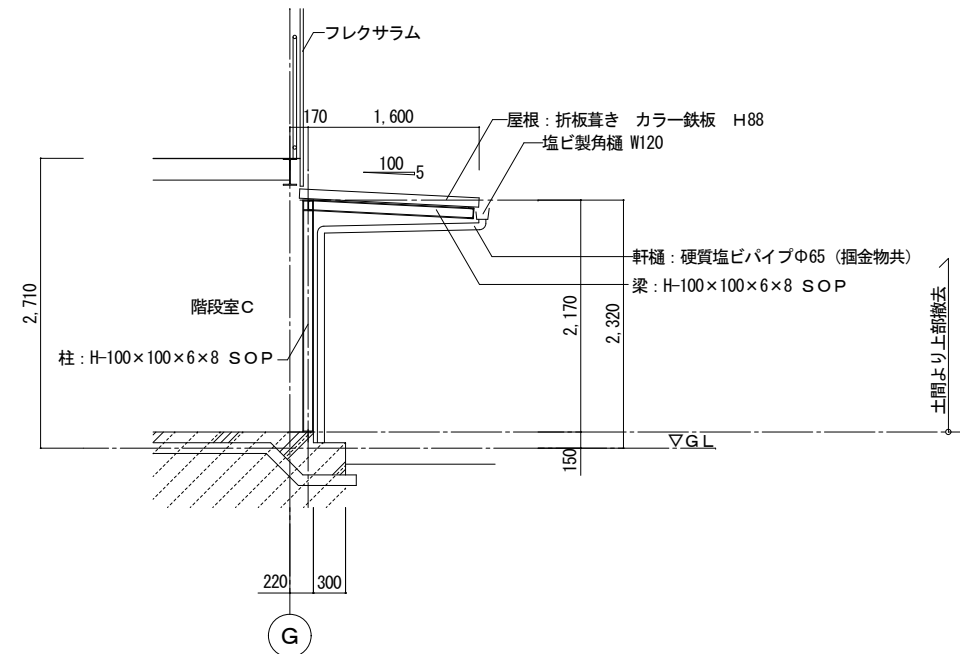
底 屋根伏図 1/50





底 天井伏図 1/50



底 平面伏図 1/50



底 断面図 1/50

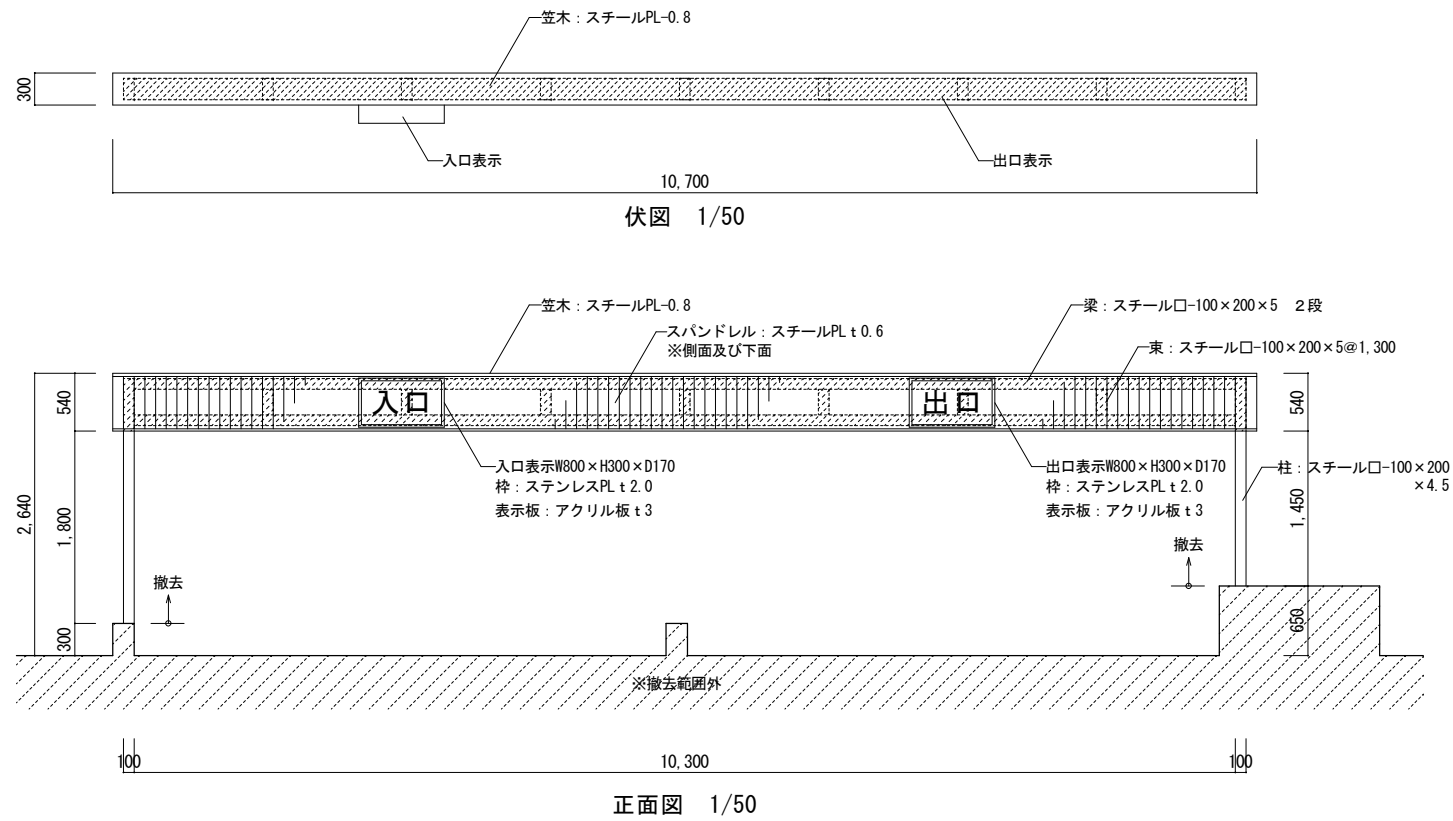
凡例  
 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)  
 GLからの床レベル差を示す

【0000】: アスベスト含有建材を示す  
 『0000』: アスベスト含有みなし建材を示す  
 LO : アスベスト含有建材レベル1、2、3を示す

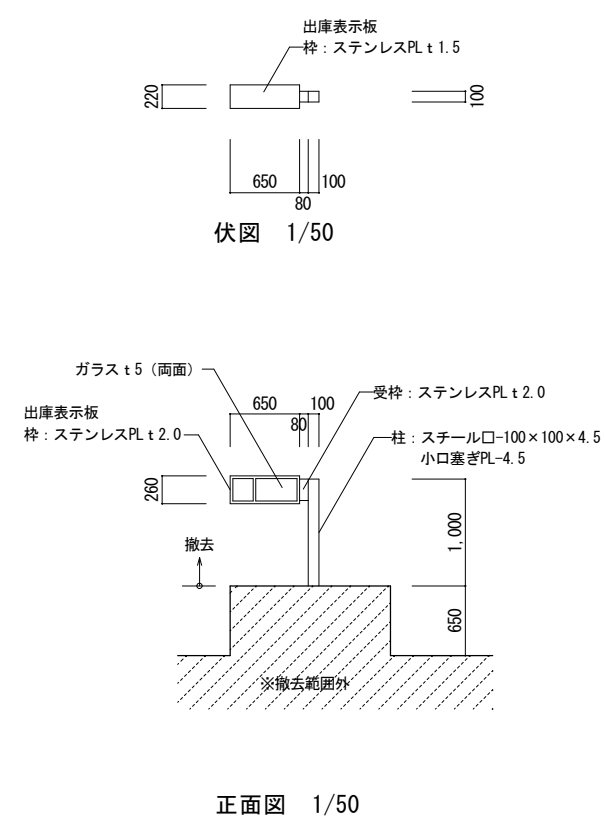
株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555 (代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	A
底詳細図			SCALE
			1/50 (A3: 70%縮小)
			18

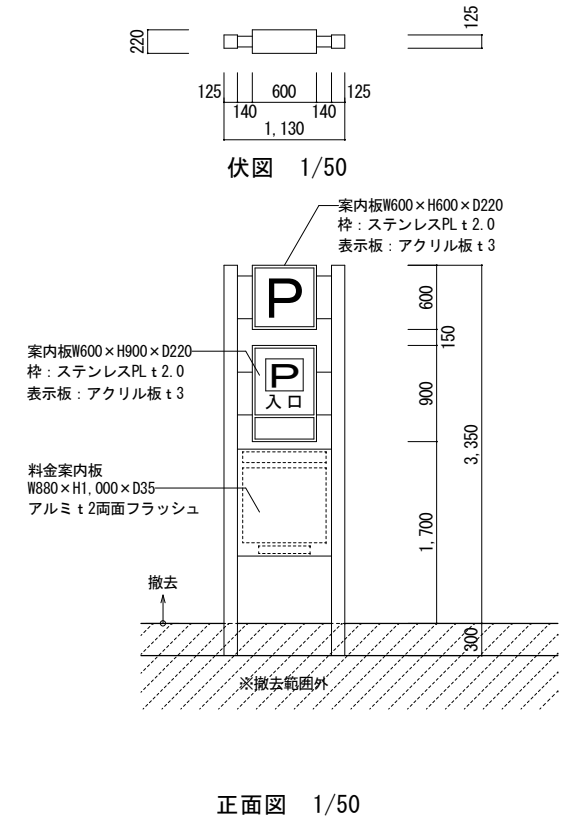
ゲート 詳細図 1/50



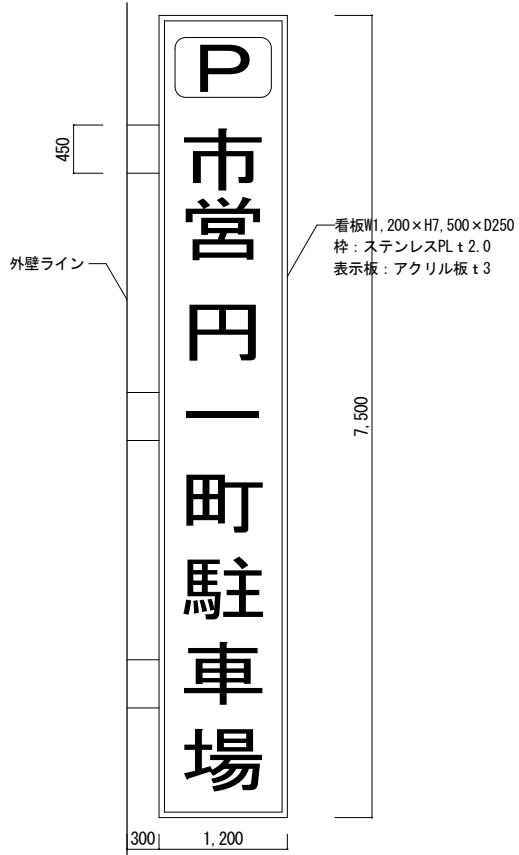
出庫表示板 詳細図 1/50



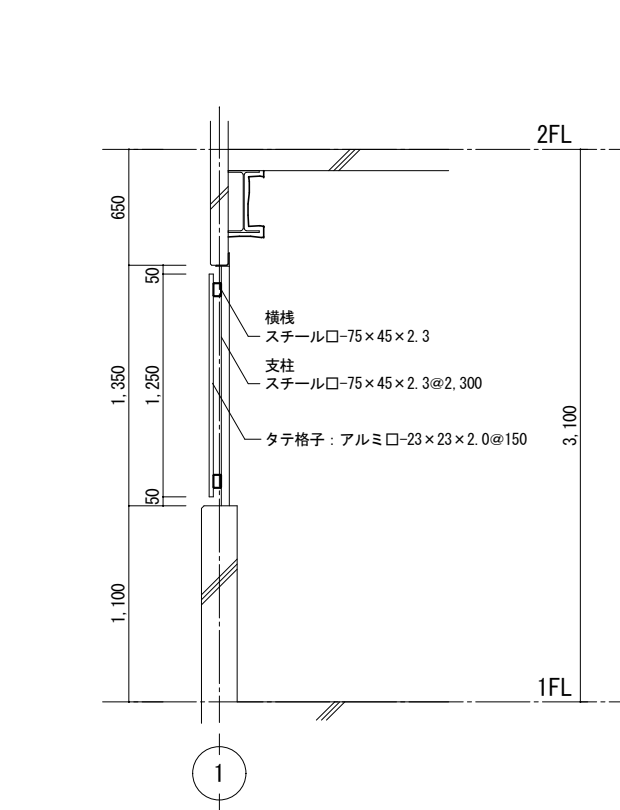
駐車場案内板 詳細図 1/50



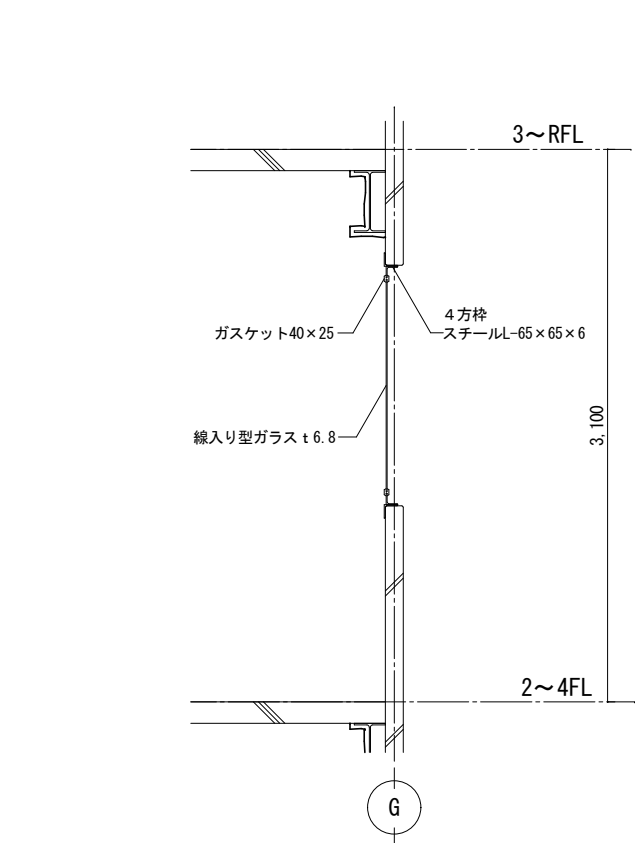
袖看板 詳細図 1/50



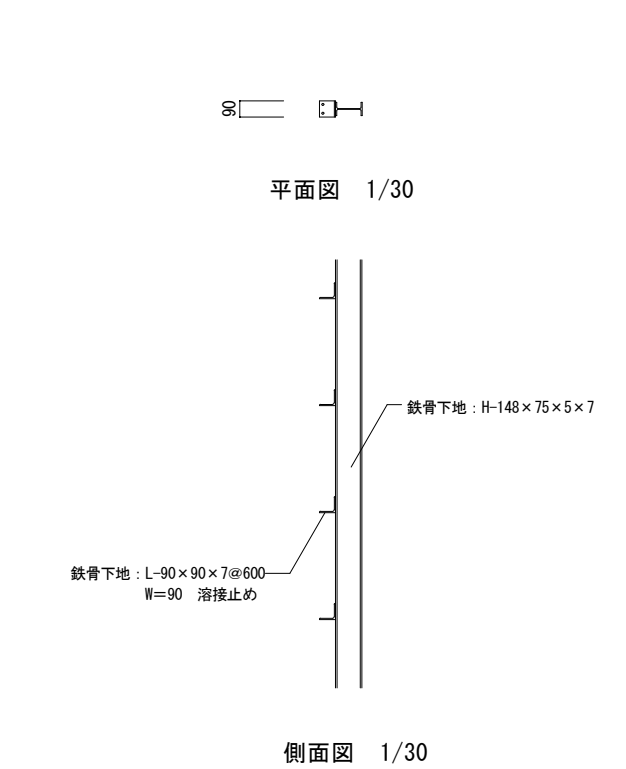
チ アルミ製格子 詳細図 1/30



又 F I X 窓 詳細図 1/30



ル ルーバー鉄骨下地 詳細図 1/30



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
TEL (082) 243-5555 (代)

一級建築士 登録第277978号  
小瀬 宏 治

年月日

整理番号

工事名

円一町駐車場解体等工事

照査

設計担当

図面名

部分詳細図

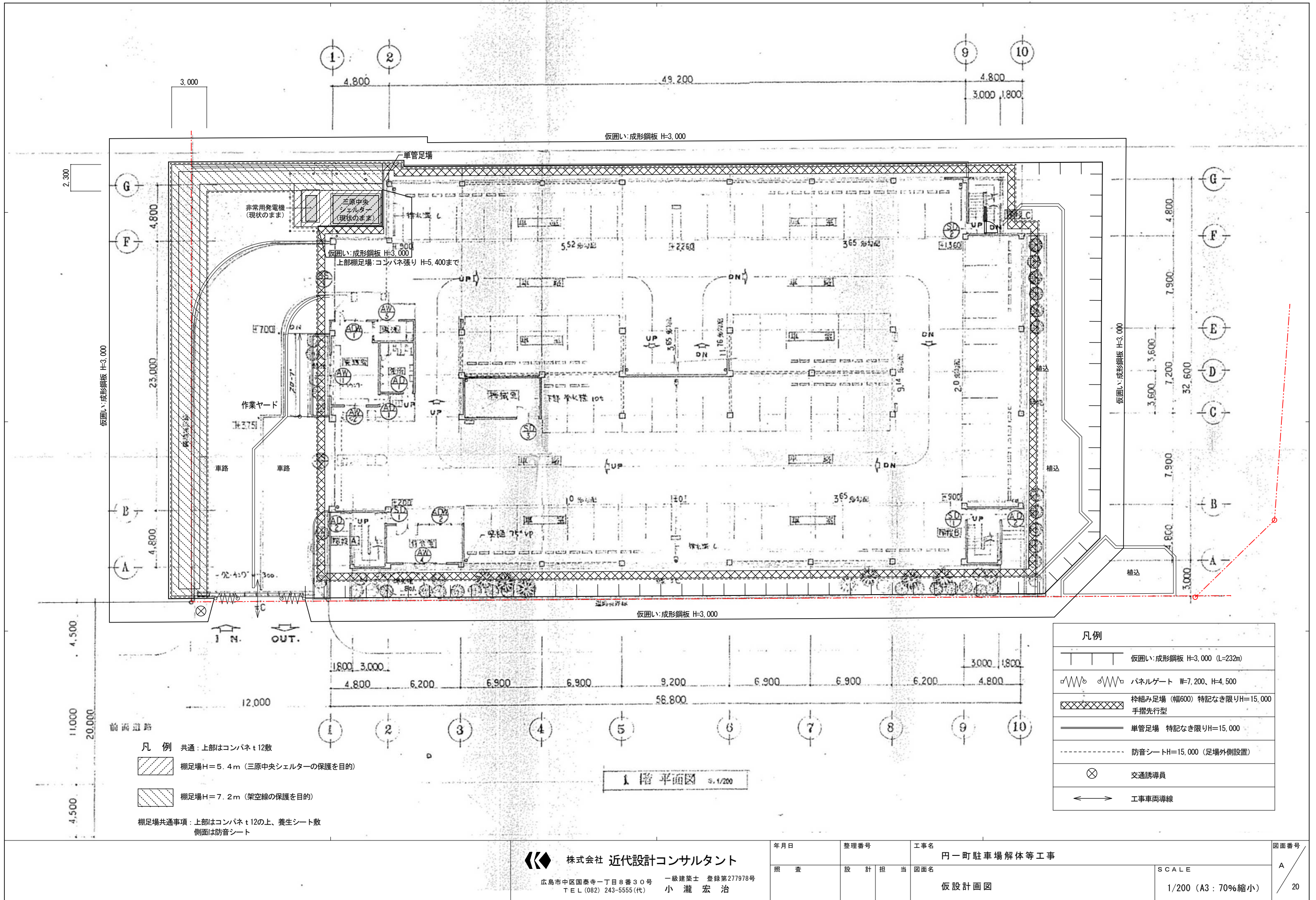
SCALE

1/50, 1/30 (A3: 70%縮小)

図面番号

A

19



仮囲い:成形鋼板 H=3,000

仮囲い:成形鋼板 H=3,000

仮囲い:成形鋼板 H=3,000

仮囲い:成形鋼板 H=3,000

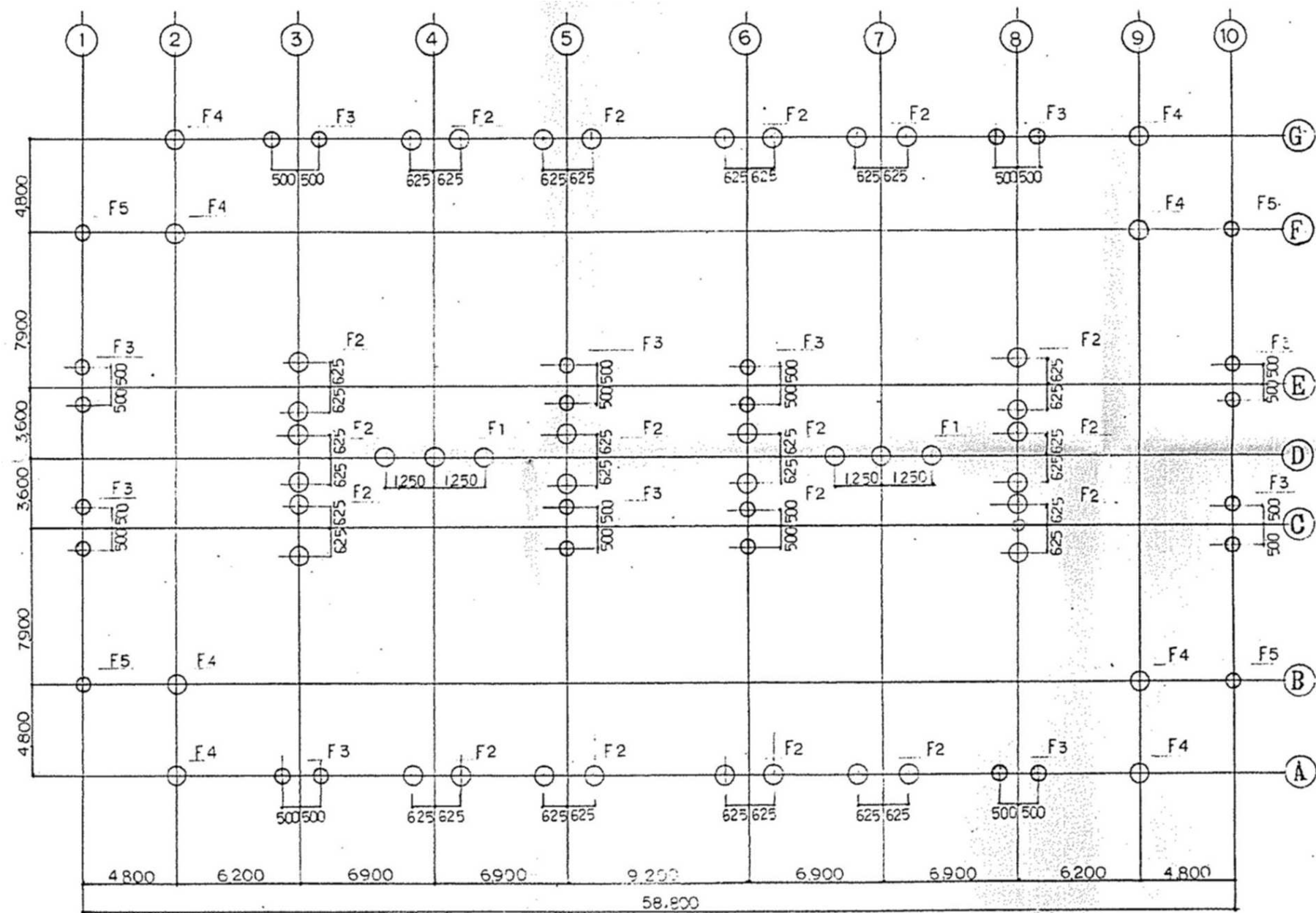
- 凡例 共通: 上部はコンパネ t12敷
- 柵足場H=5.4m (三原中央シェルターの保護を目的)
  - 柵足場H=7.2m (架空線の保護を目的)
- 柵足場共通事項: 上部はコンパネ t12の上、養生シート敷  
側面は防音シート

凡例	
	仮囲い:成形鋼板 H=3,000 (L=232m)
	パネルゲート W=7,200、H=4,500
	枠組み足場 (幅600) 特記なき限りH=15,000 手摺先行型
	単管足場 特記なき限りH=15,000
	防音シートH=15,000 (足場外側設置)
	交通誘導員
	工事車両導線

1階平面図 S.1/200

株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		円一町駐車場解体等工事	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		仮設計画図	1/200 (A3:70%縮小)
			20



○ 400φ  
○ 500φ

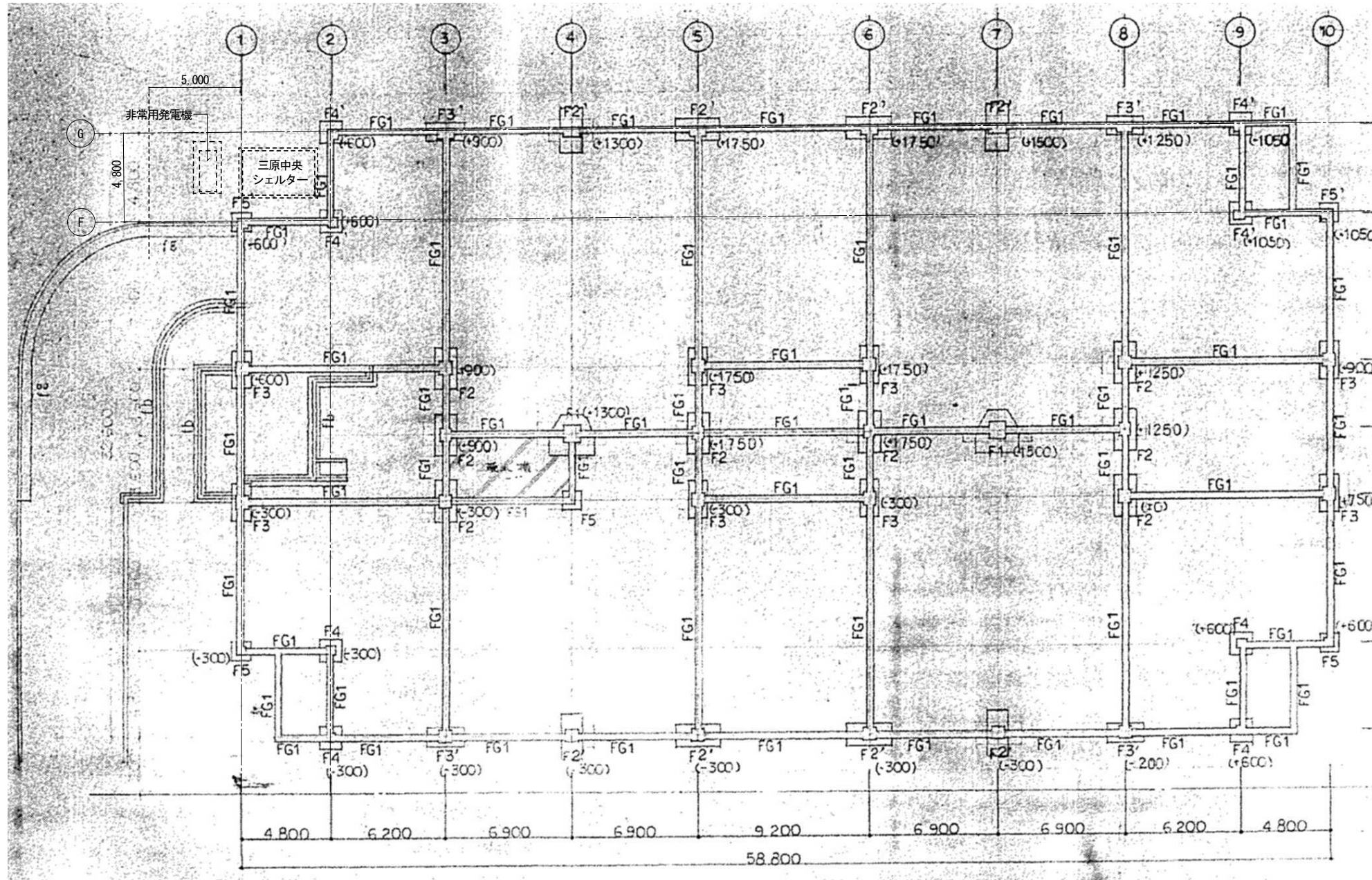
杭伏図 S=1:200

※杭は現状のままとする

株式会社 近代設計コンサルタント

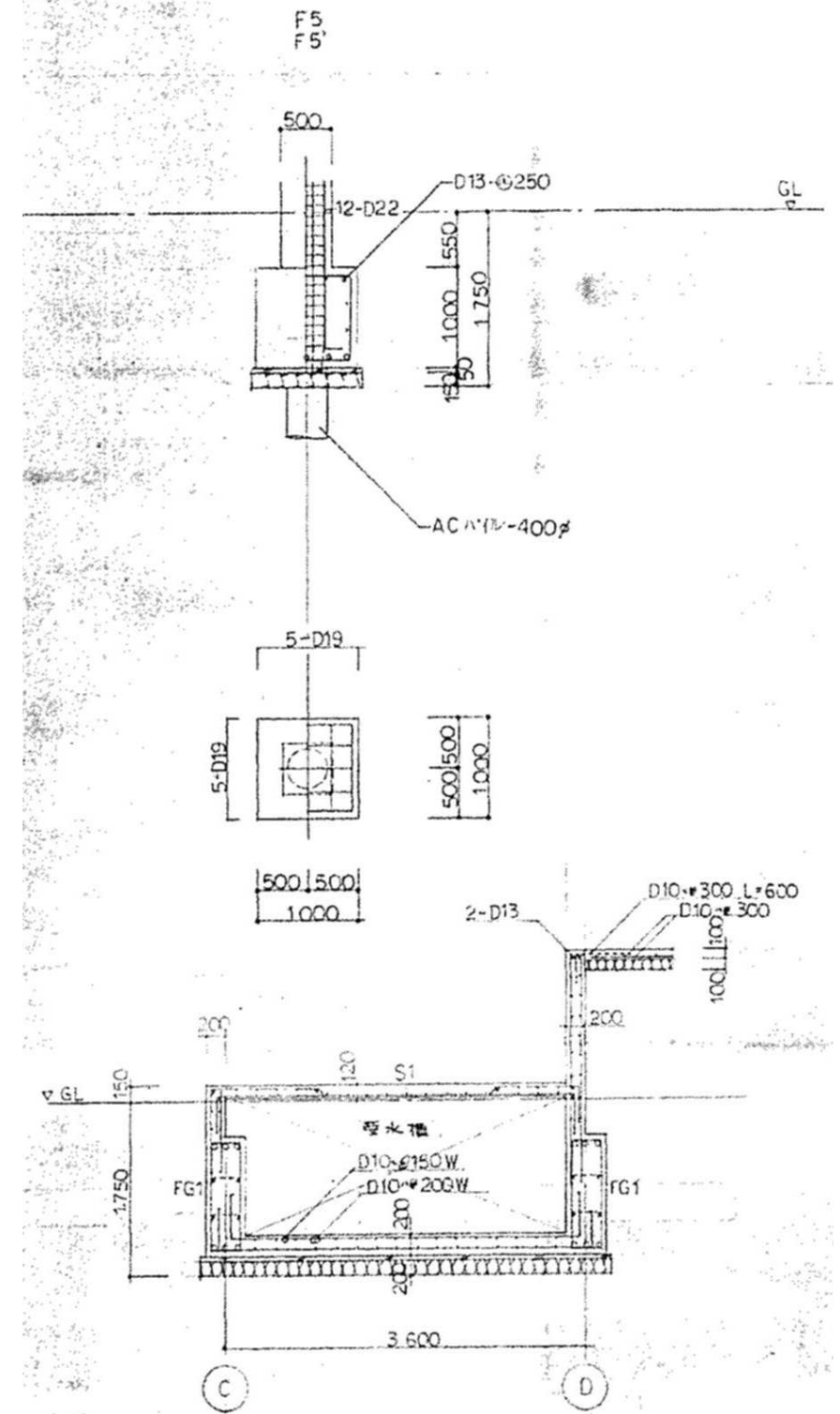
広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号 S 01
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
		図面名	SCALE
		杭伏図	1/200 (A3: 70%縮小)



基礎・地中梁伏図 1/200 ※基礎・地中梁は現状のままとする

基礎リスト 1/50

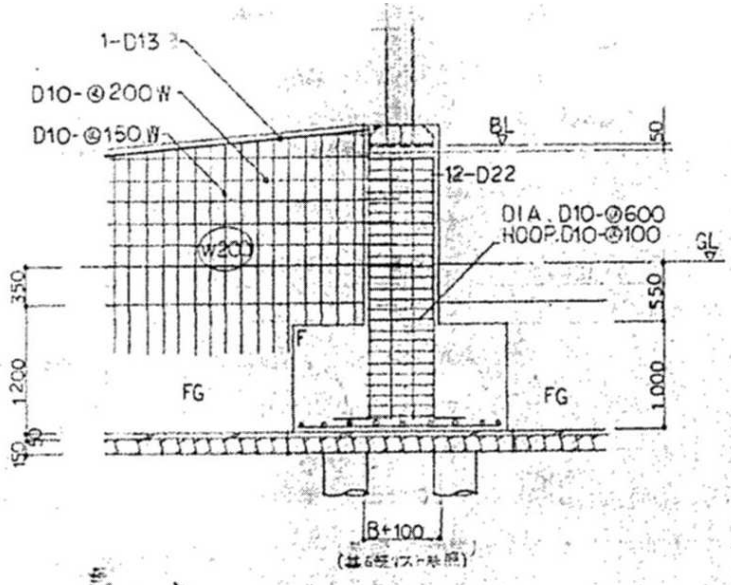
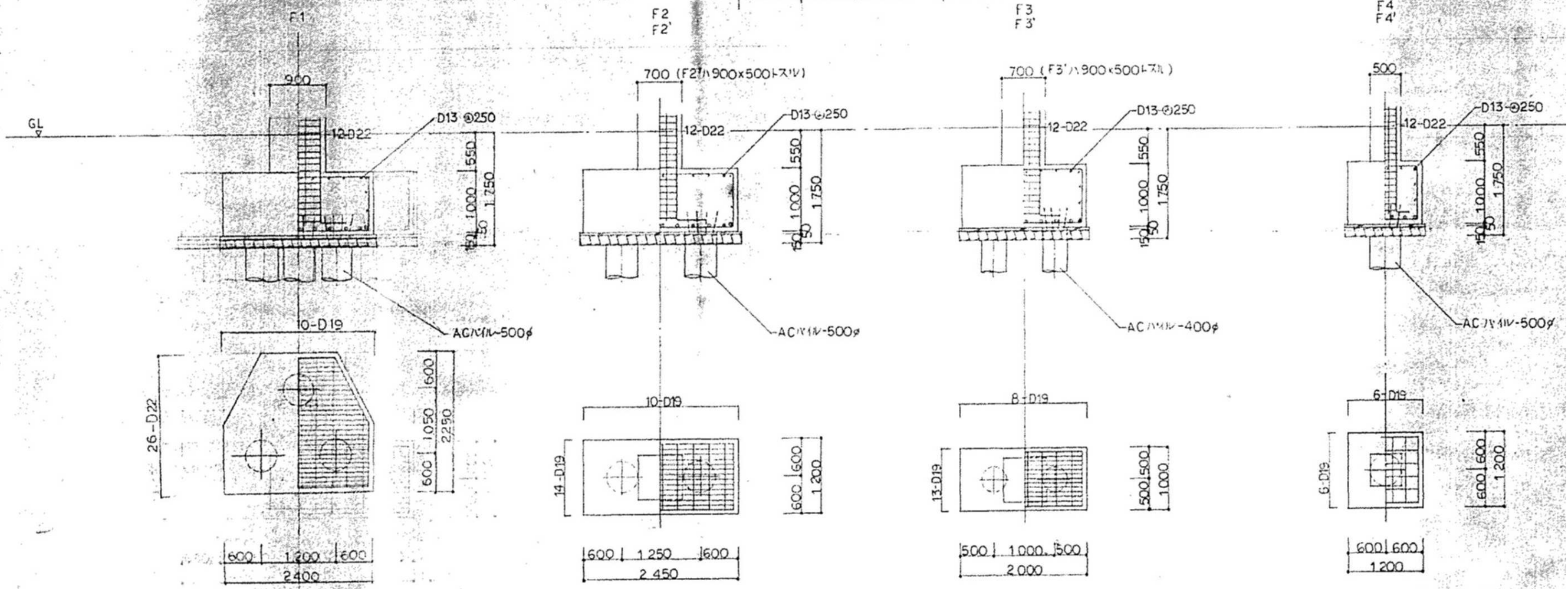


基礎リスト 1:50

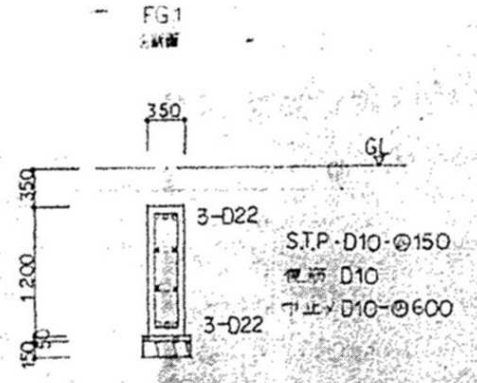
※基礎は現状のままとする

⑤) ハカマ街ハD13-φ250アチヨコトスレ。  
 125 T/S  
 (GL - 27m) 400φ 85 T/S

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----



柱根巻部分配筋図 1:50

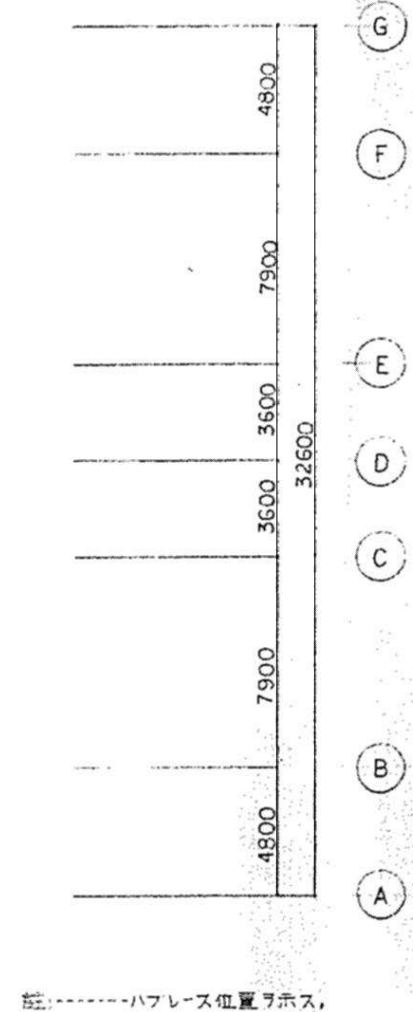
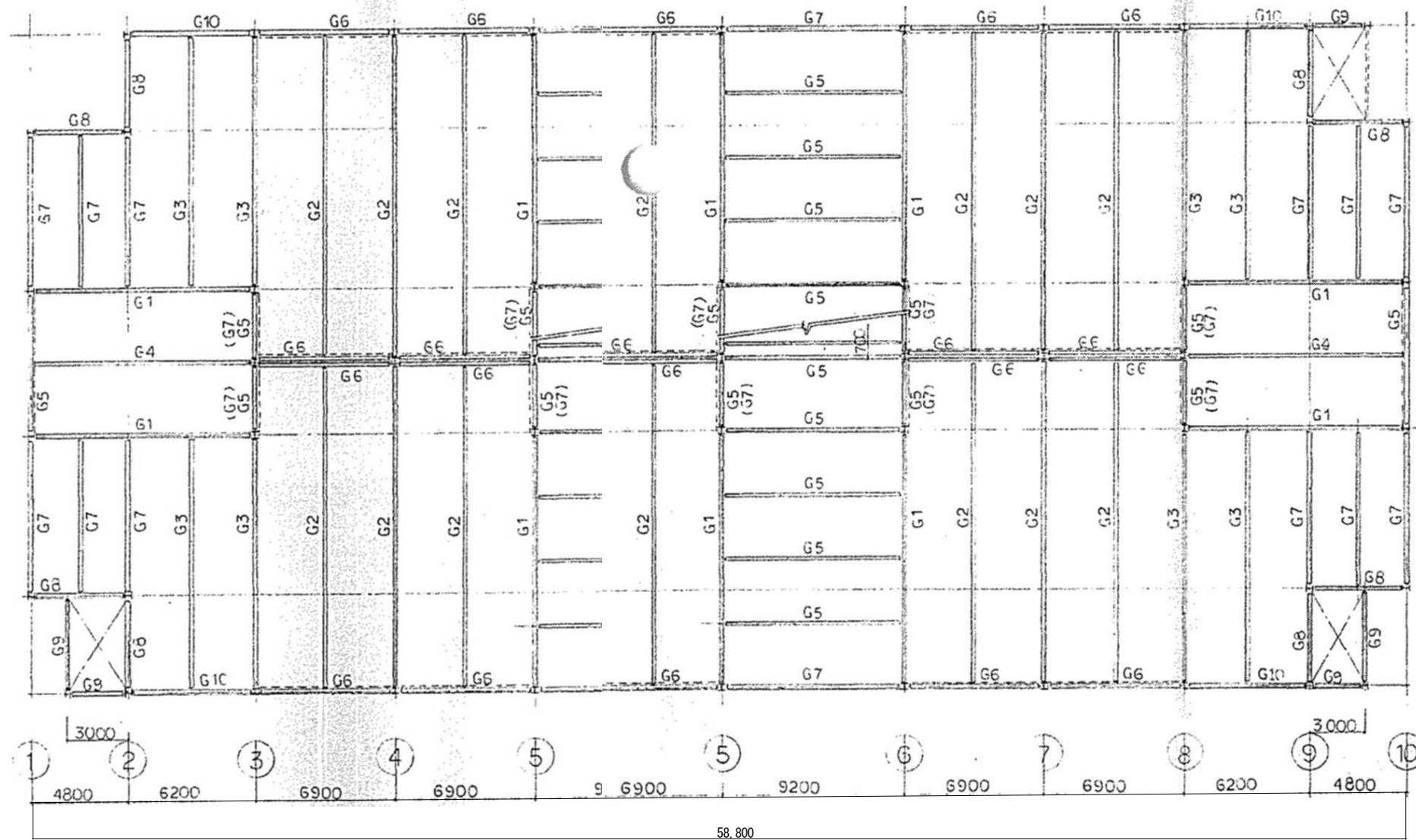
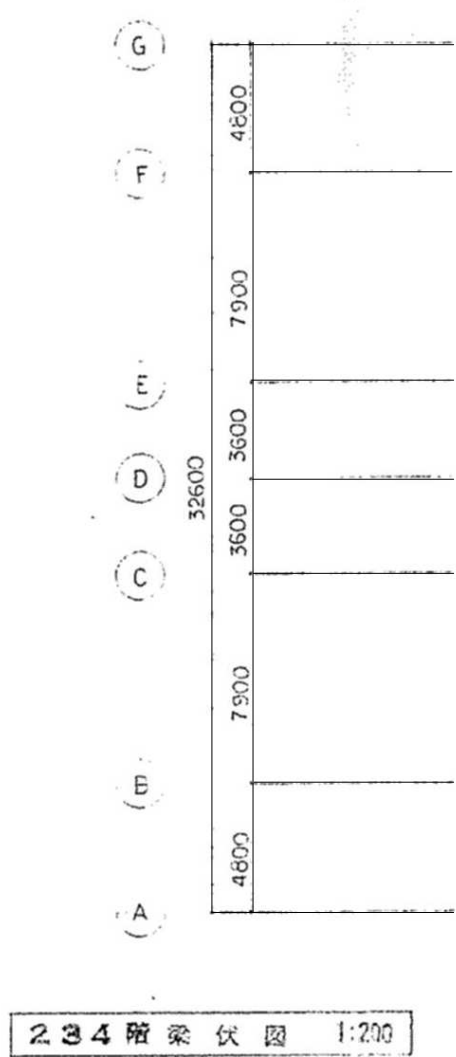


地中梁リスト 1:50

※地中梁は現状のままとする

株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555 (代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		円一町駐車場解体等工事	S
照査	設計担当	図面名	SCALE
		基礎・地中梁リスト	1/50 (A3:70%縮小)

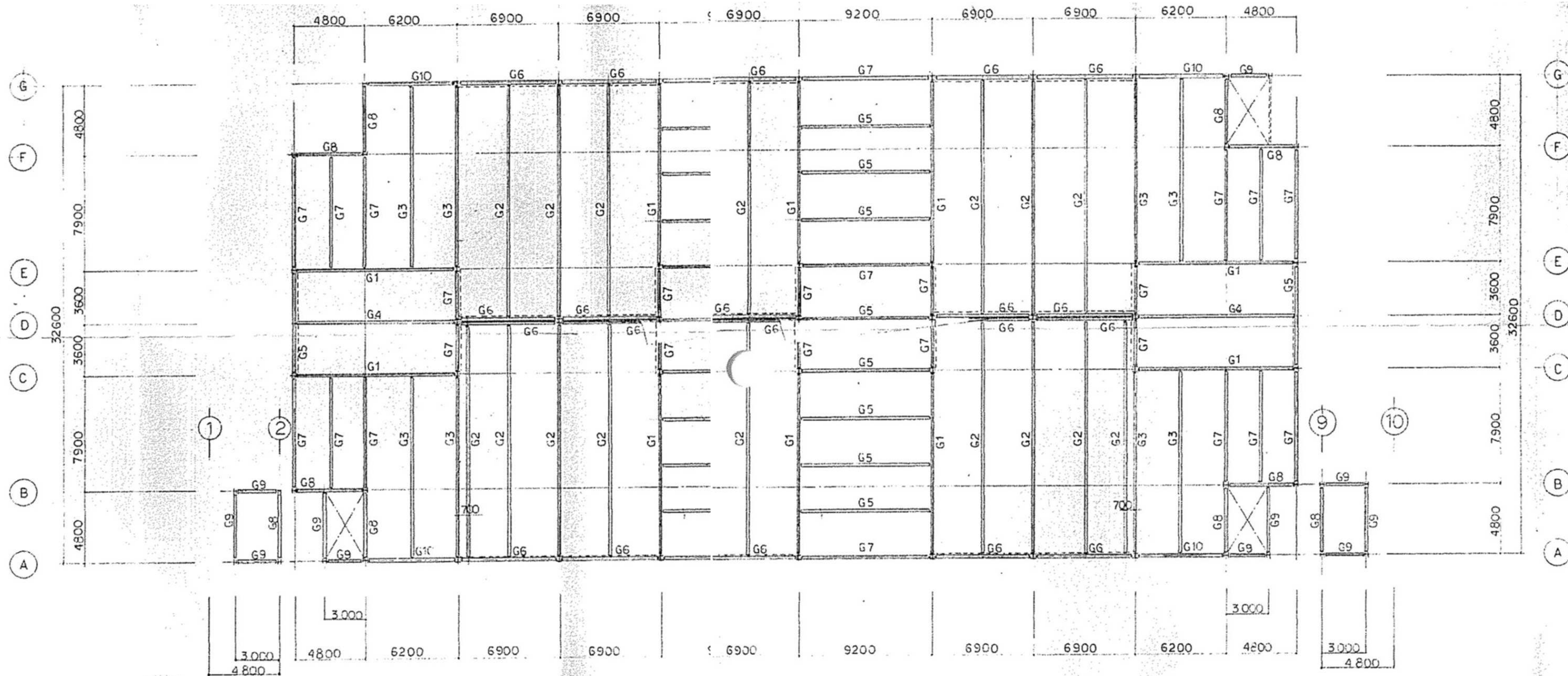


2 3 4 階梁伏図 1:200


註:-----ハブレース位置ヲ示ス。

株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)

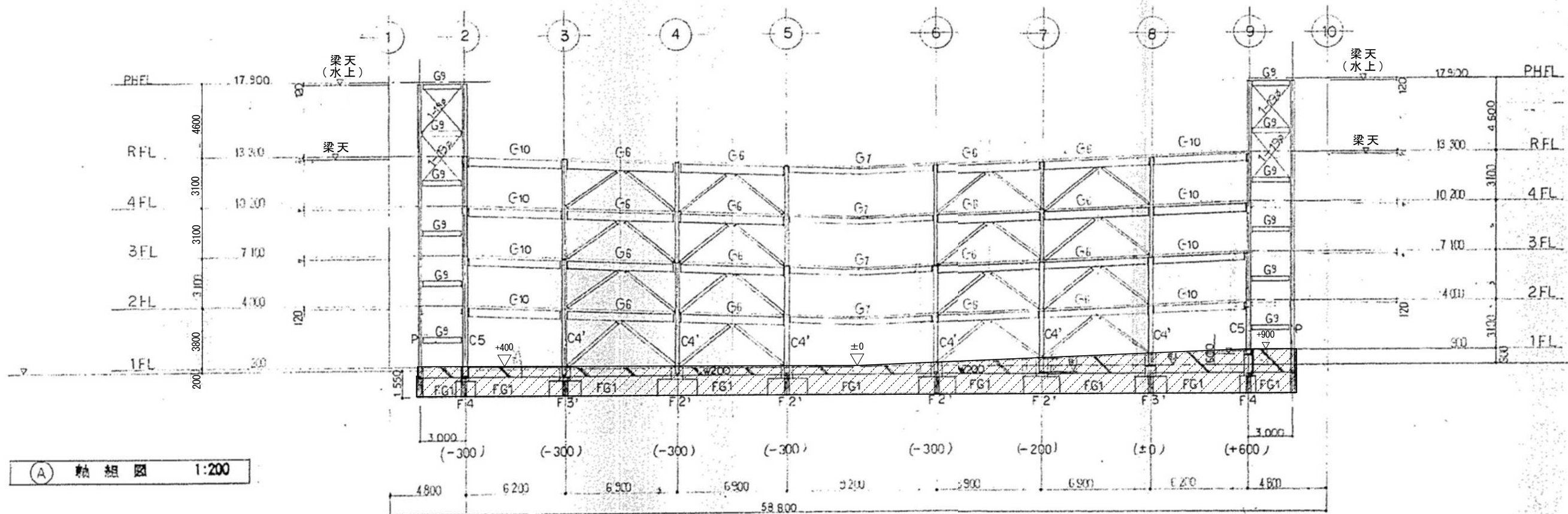
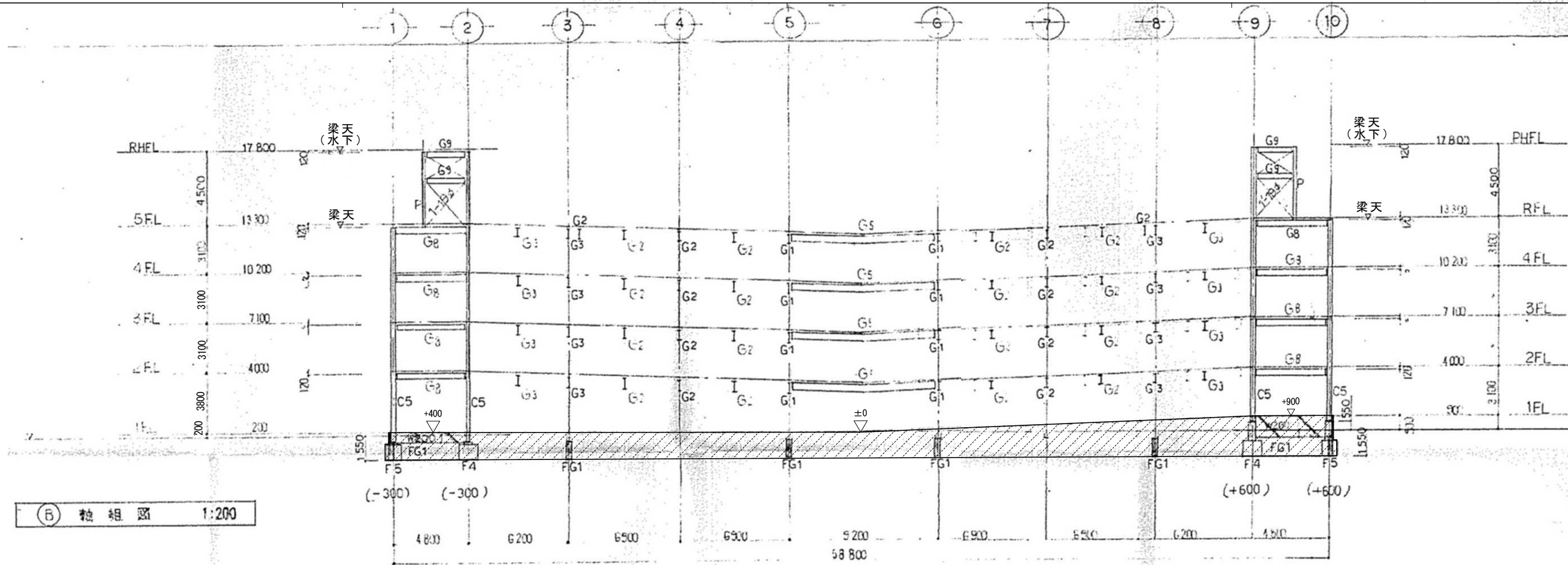
年月日	整理番号	工事名	図面番号 S / 04
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
		図面名	SCALE
		2, 3, 4 階梁伏図	1/200 (A3: 70%縮小)



R 階梁伏図 1/200



**株式会社 近代設計コンサルタント**  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555 (代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
		R 階梁伏図	SCALE
			1/200 (A3 : 70%縮小)
			図面番号
			S / 05



( )寸法は、ベース下地(マンジュウ天)を示す

凡例

 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日

照査

整理番号

設計担当

工事名

図面名

円一町駐車場解体等工事

軸組図 (1)

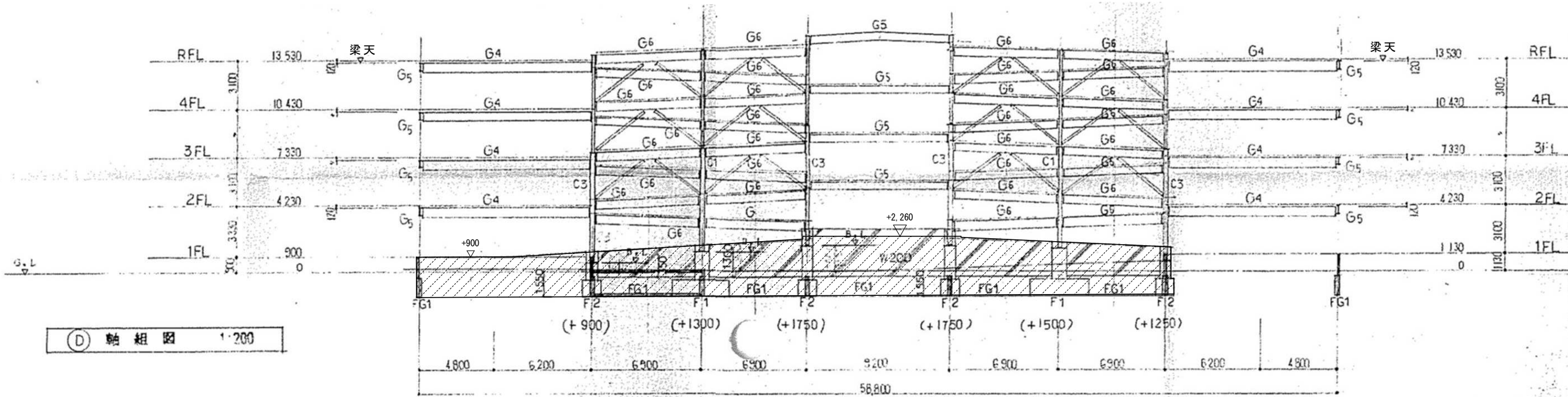
SCALE

1/200 (A3 : 70%縮小)

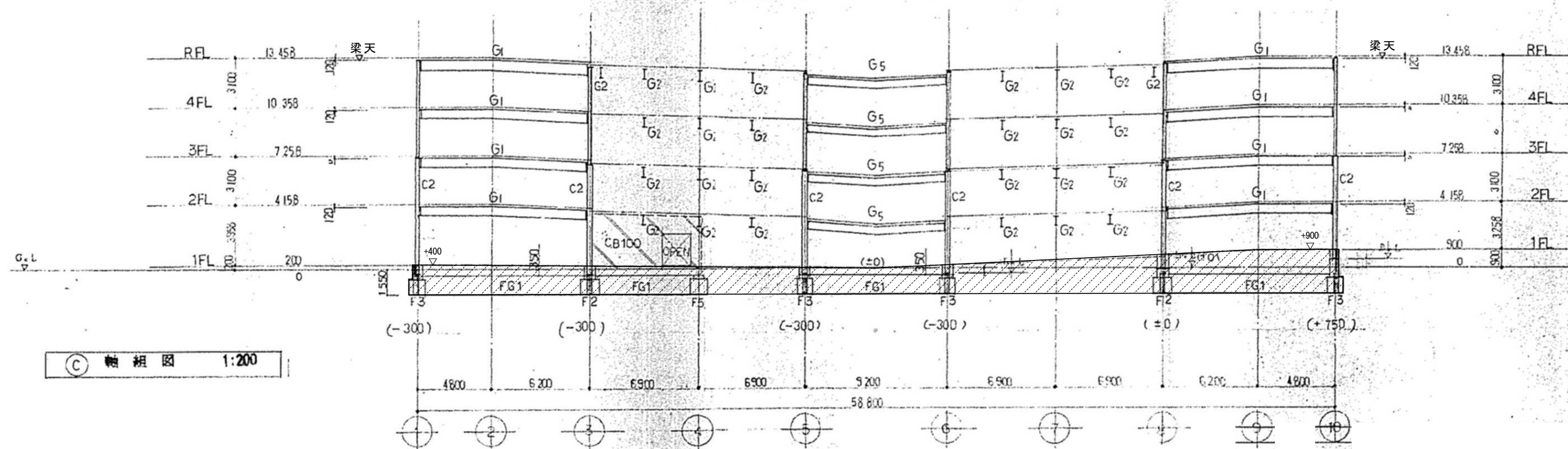
図面番号

S


06



④ 軸組図 1:200

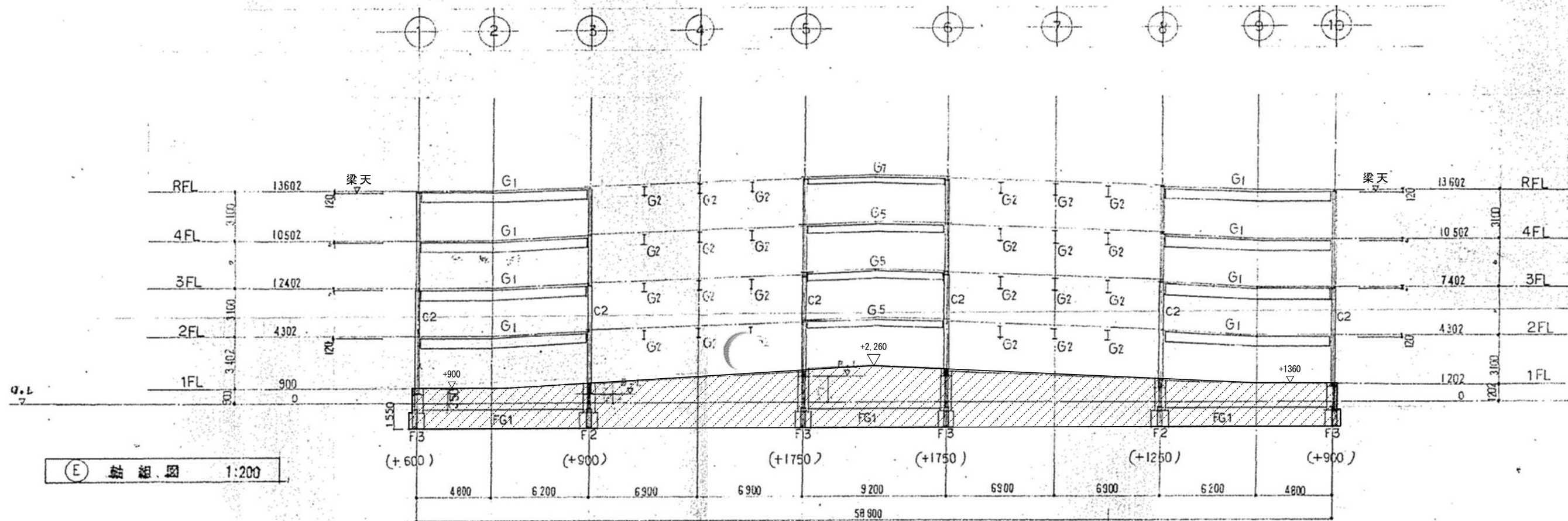


③ 軸組図 1:200

凡例  
 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）


株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号 S 07
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
図面名			SCALE
軸組図(2)			1/200 (A3: 70%縮小)



(E) 軸組図 1:200

凡例

 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日

整理番号

工事名

円一町駐車場解体等工事

照査

設計担当

図面名

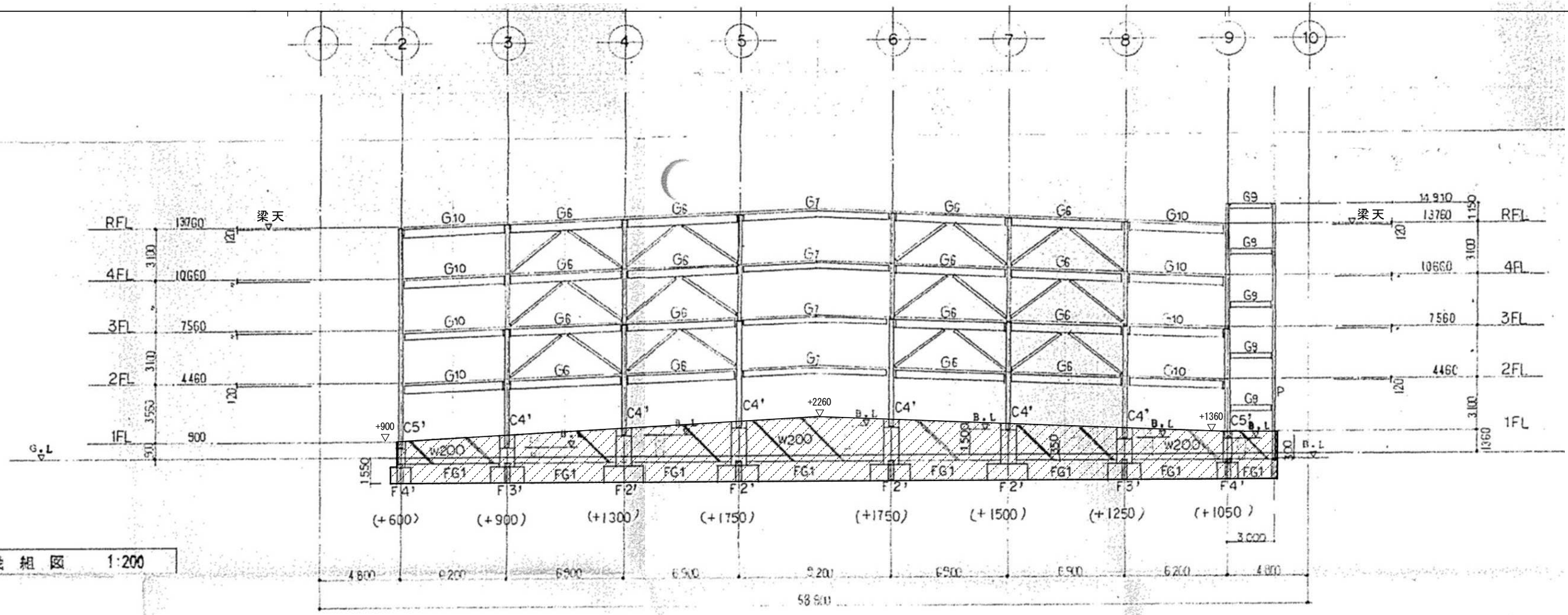
軸組図 (3)

SCALE

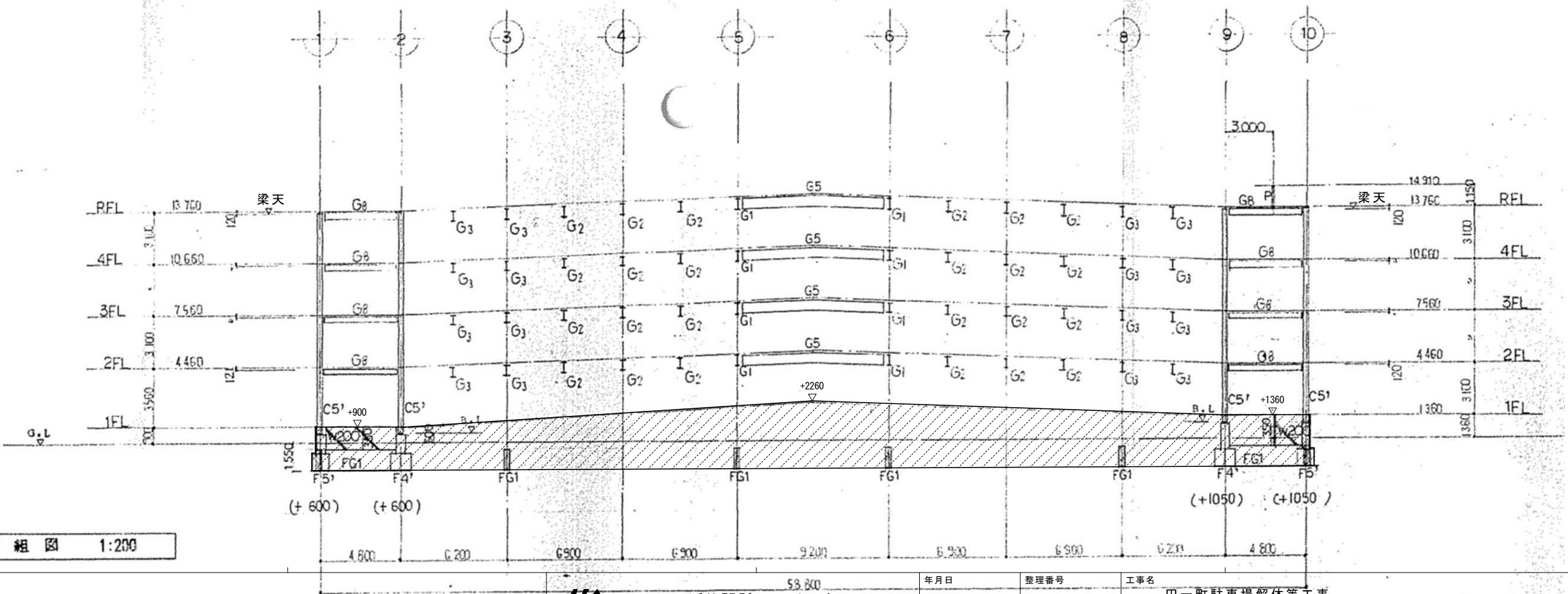
1/200 (A3: 70%縮小)

図面番号


S / 08



Ⓒ 軸組図 1:200

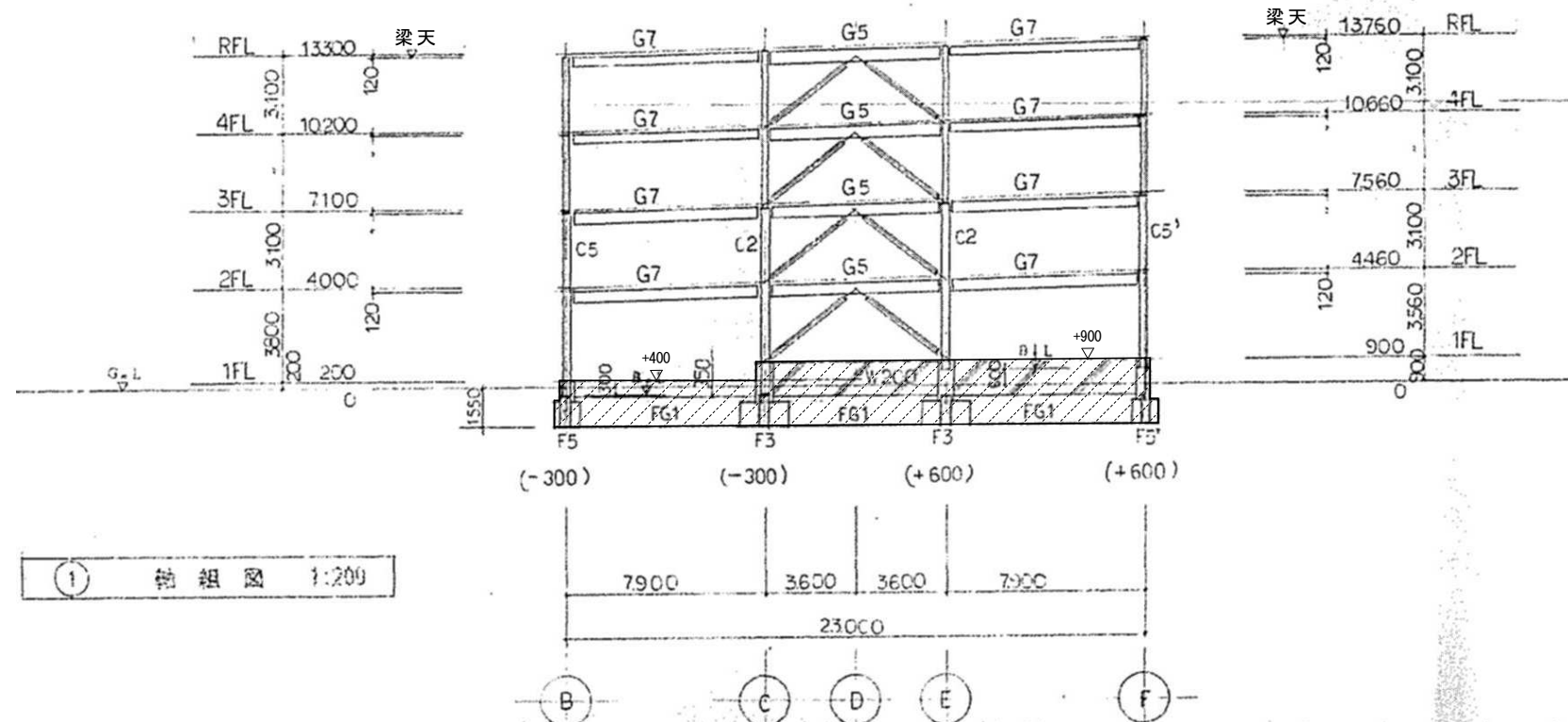


Ⓕ 軸組図 1:200

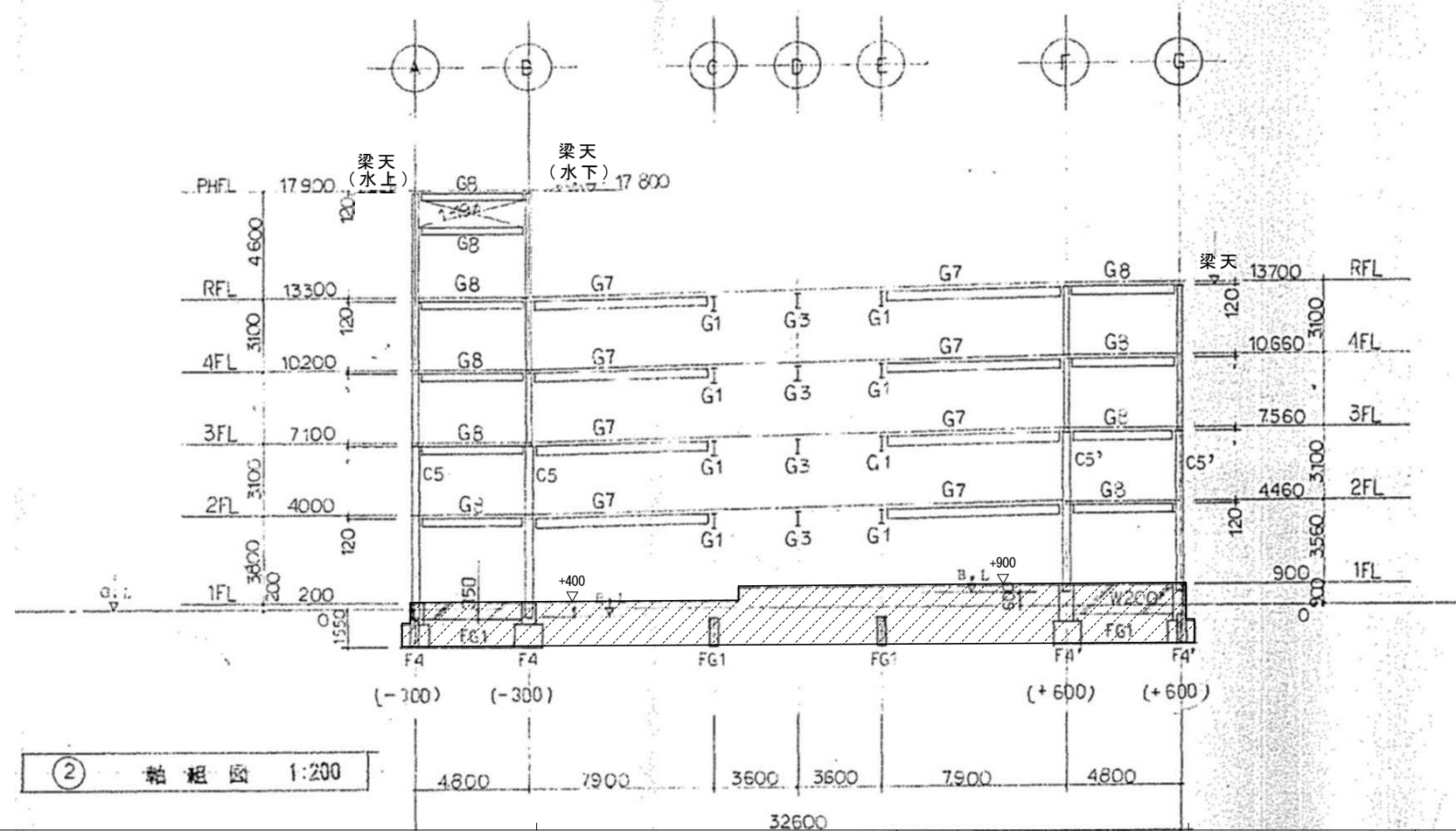
凡例  
 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）

株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
軸組図(4)			SCALE
			1/200 (A3: 70%縮小)
			09





① 軸組図 1:200



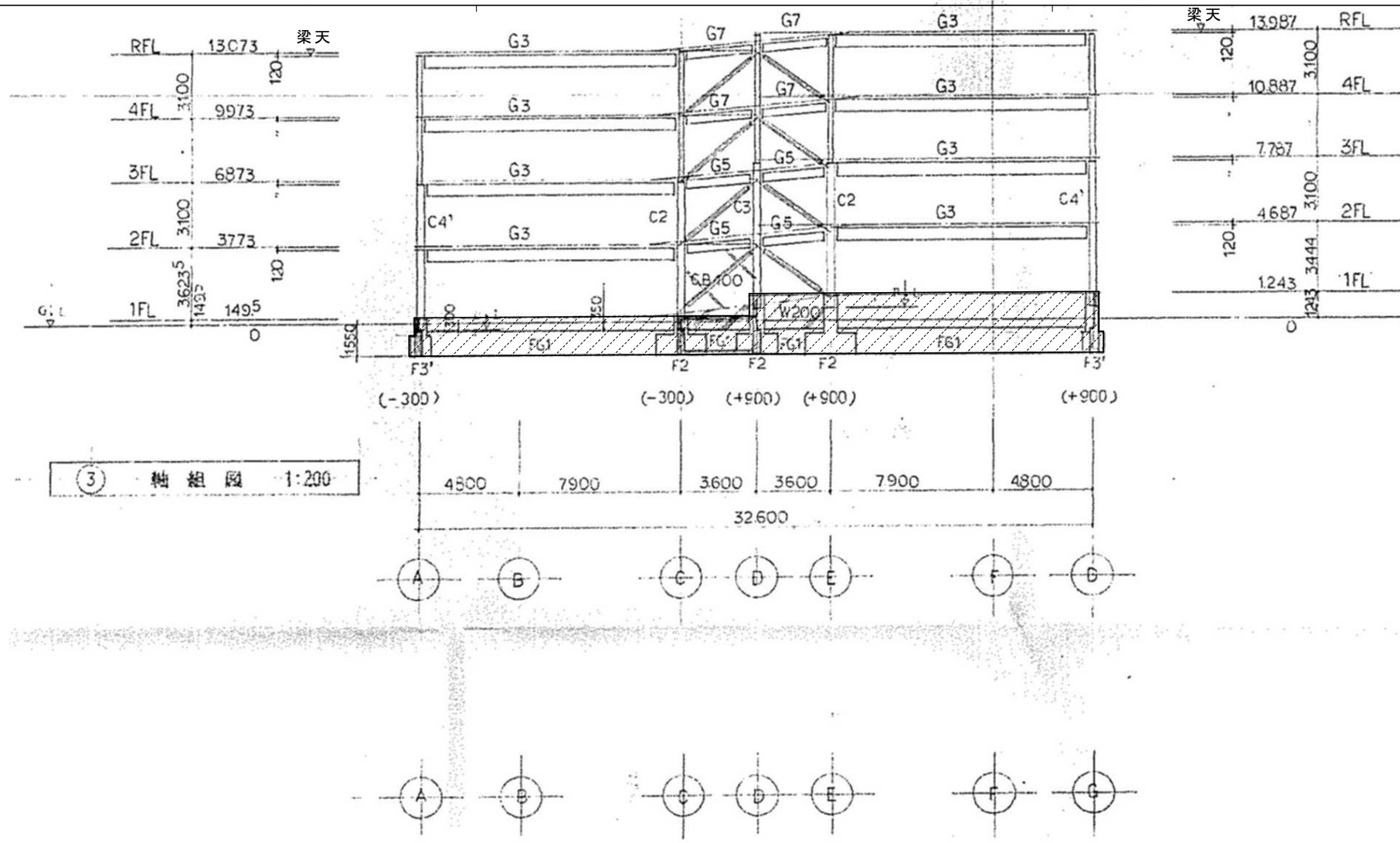
② 軸組図 1:200

凡例

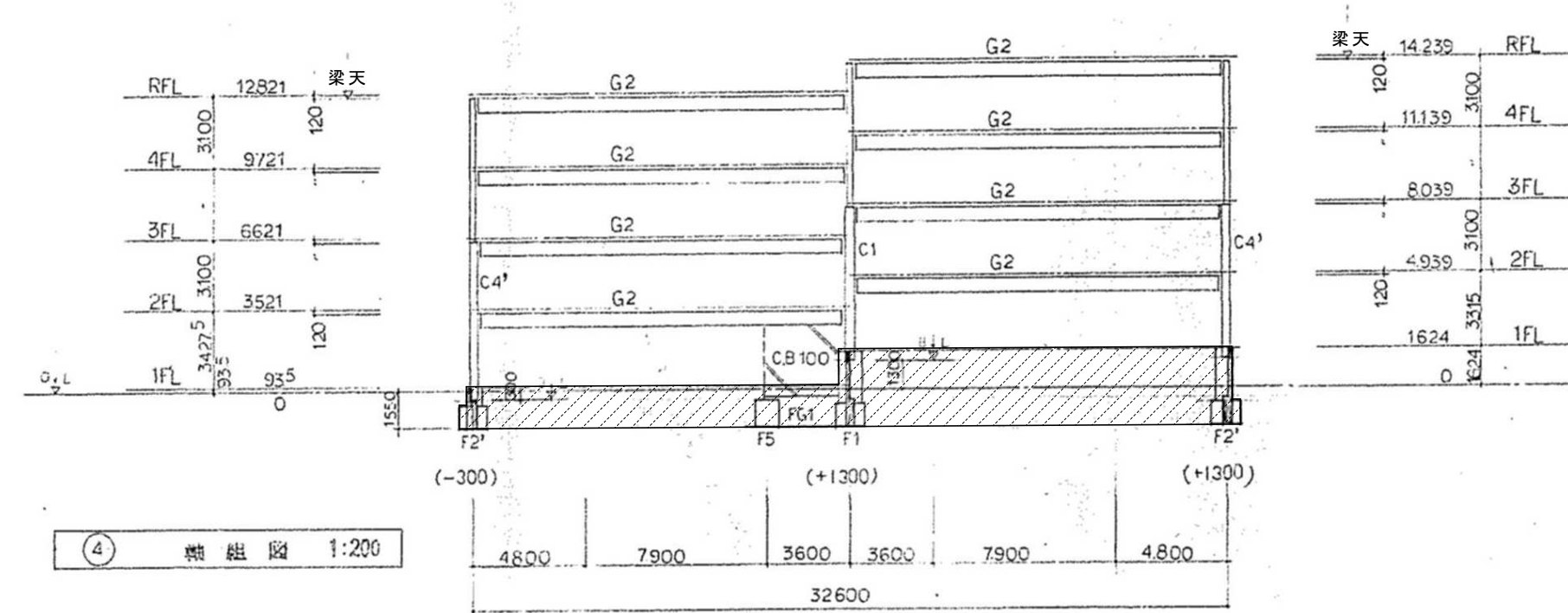
 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）

 株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治


年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
		図面名	SCALE
		軸組図(5)	1/200 (A3: 70%縮小)
			S / 10



③ 軸組図 1:200

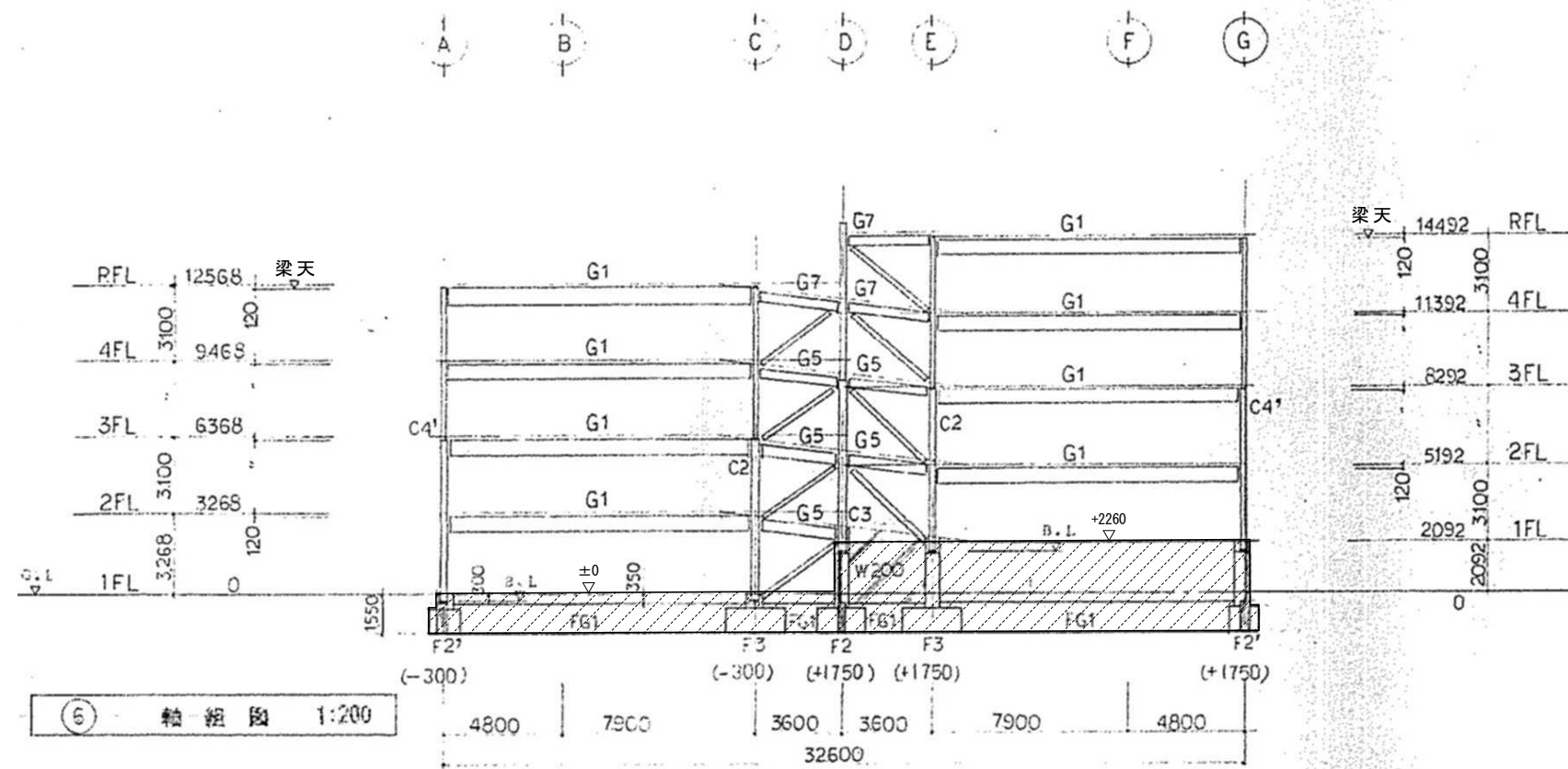
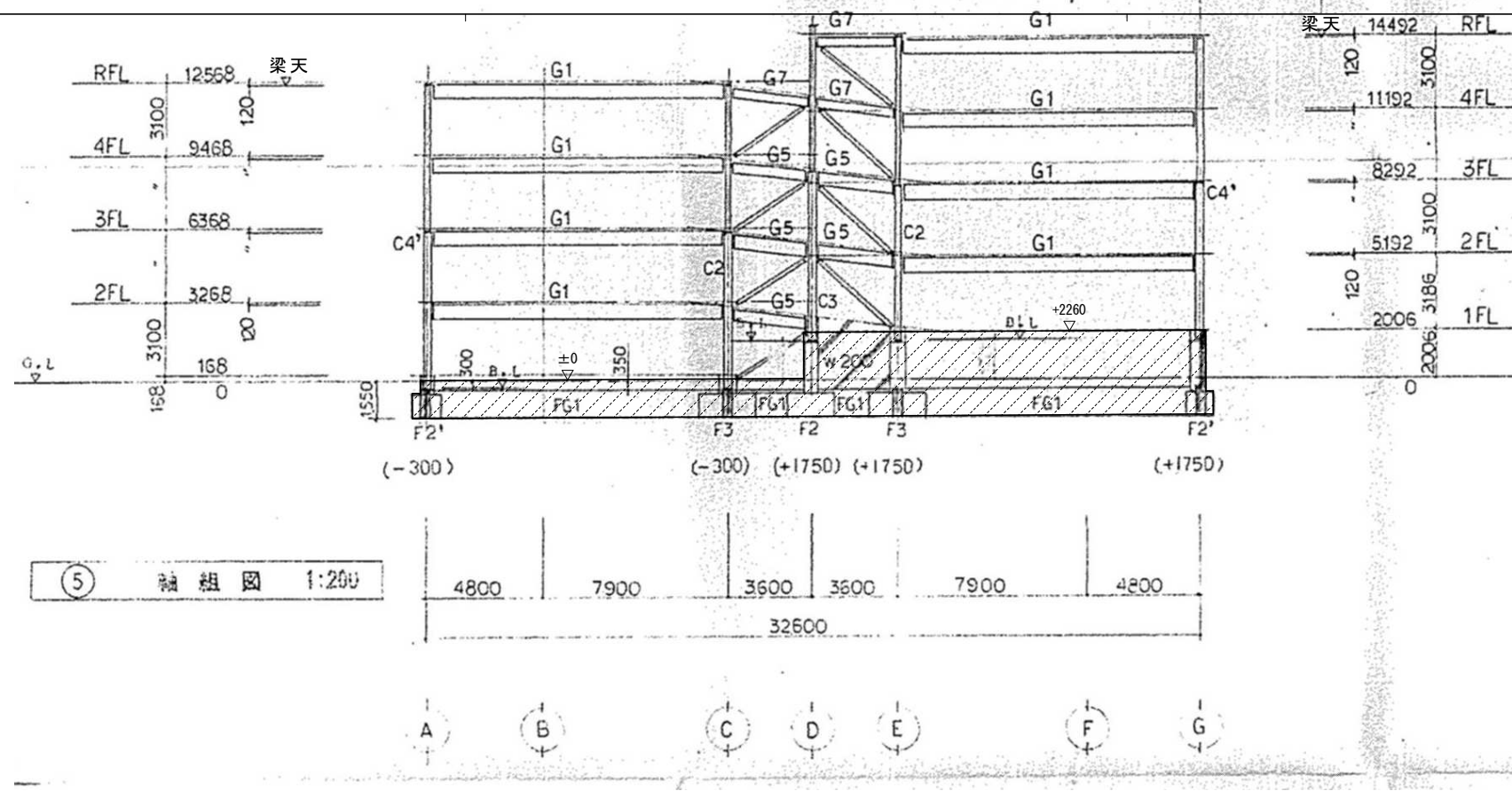


④ 軸組図 1:200


凡例  
 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）


株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号 S / 11
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
		図面名	SCALE
		軸組図(6)	1/200 (A3: 70%縮小)



凡例

 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）

 株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日

照査

整理番号

設計

工事名

担当

円一町駐車場解体等工事

図面名

軸組図(7)

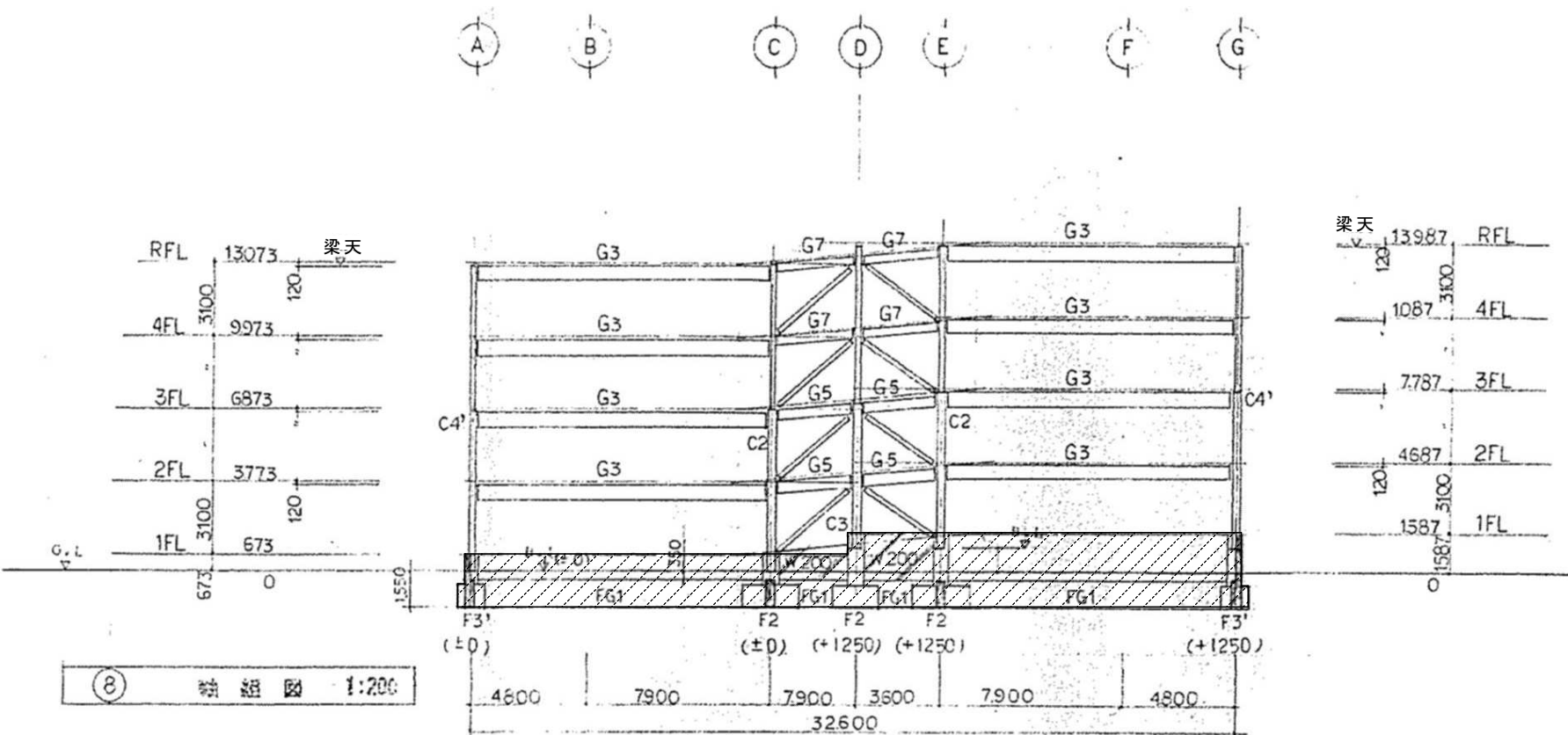
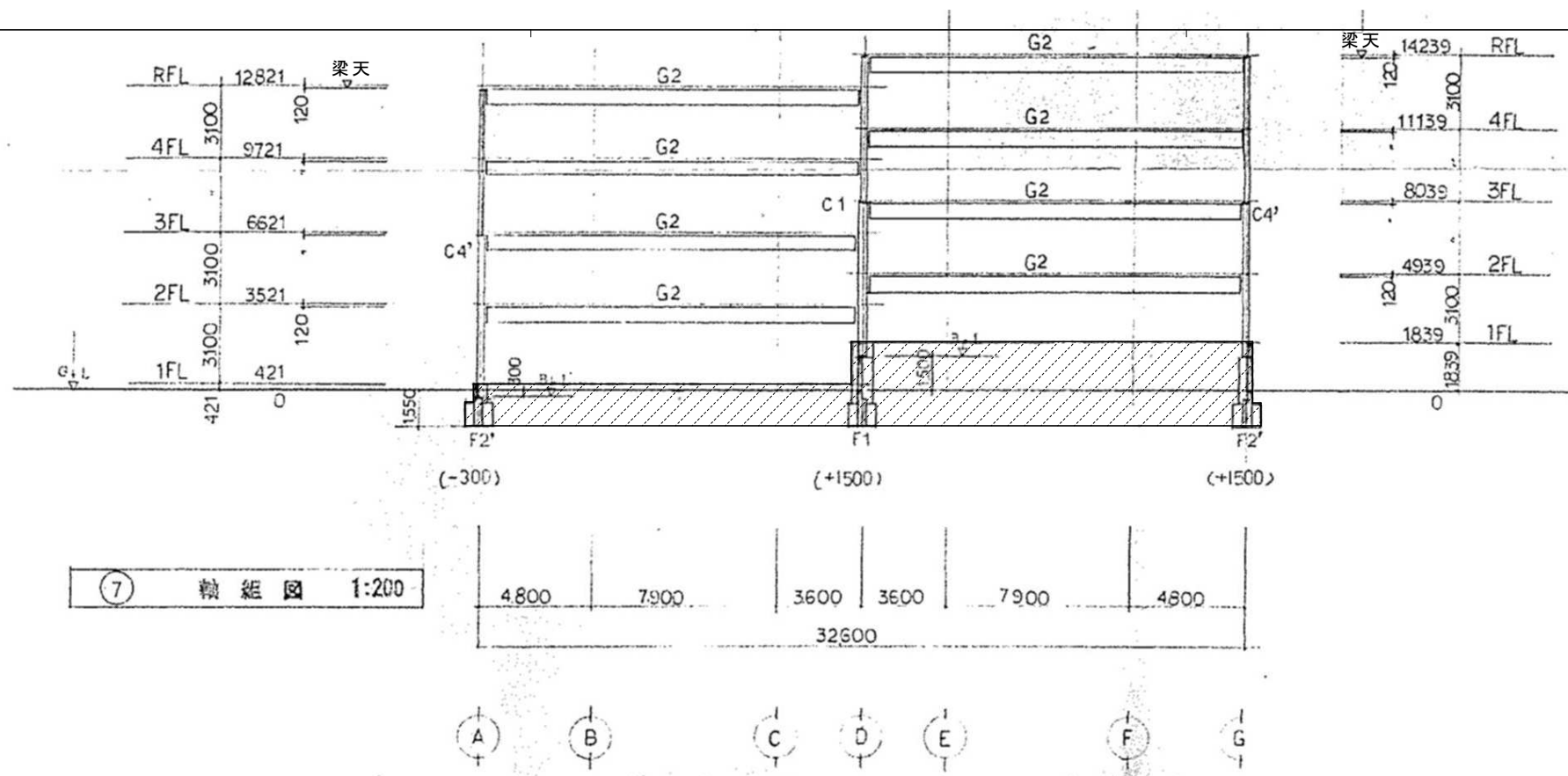
SCALE

1/200 (A3: 70%縮小)


図面番号

S

12



凡例

 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)

株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日

照査

整理番号

設計

工事名

担当

円一町駐車場解体等工事

図面名

軸組図 (8)

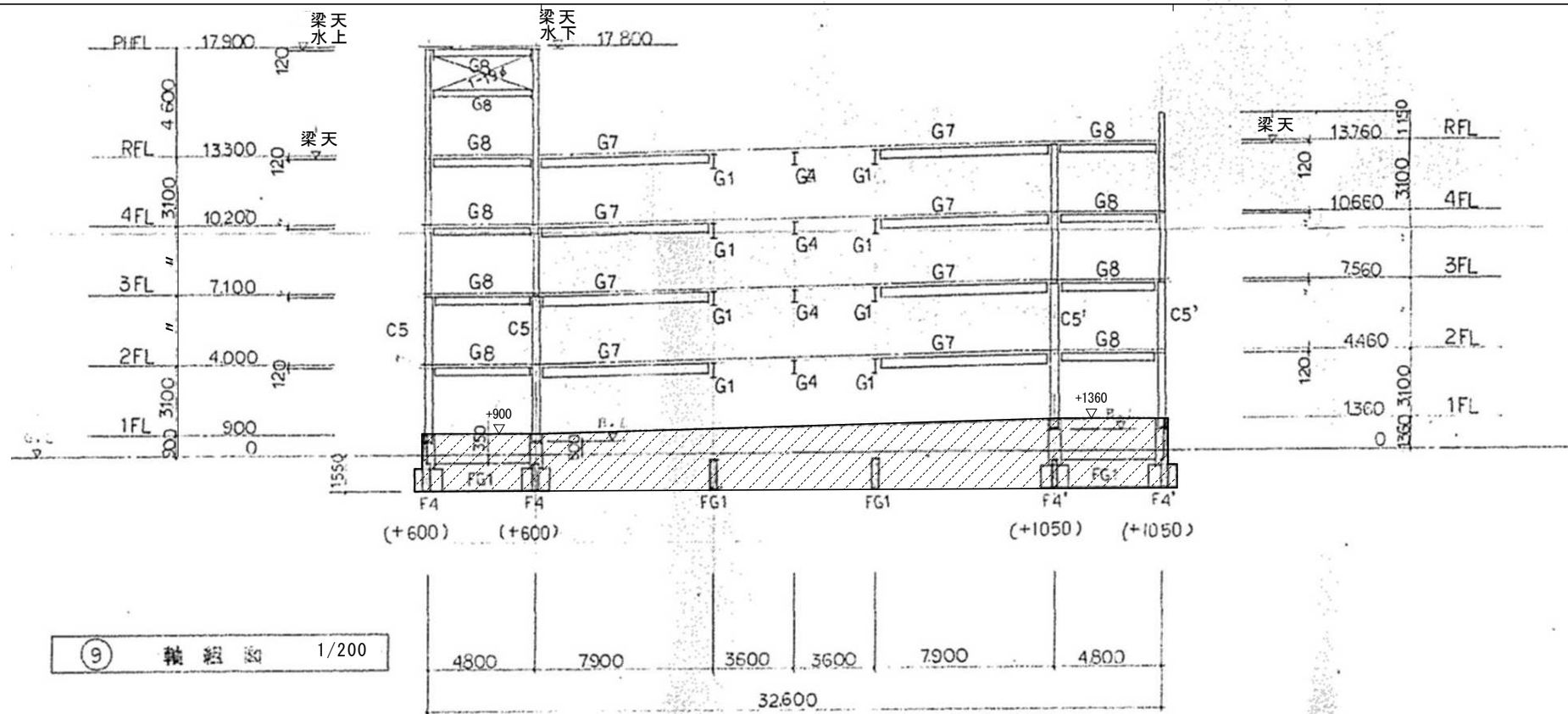
SCALE

1/200 (A3 : 70%縮小)

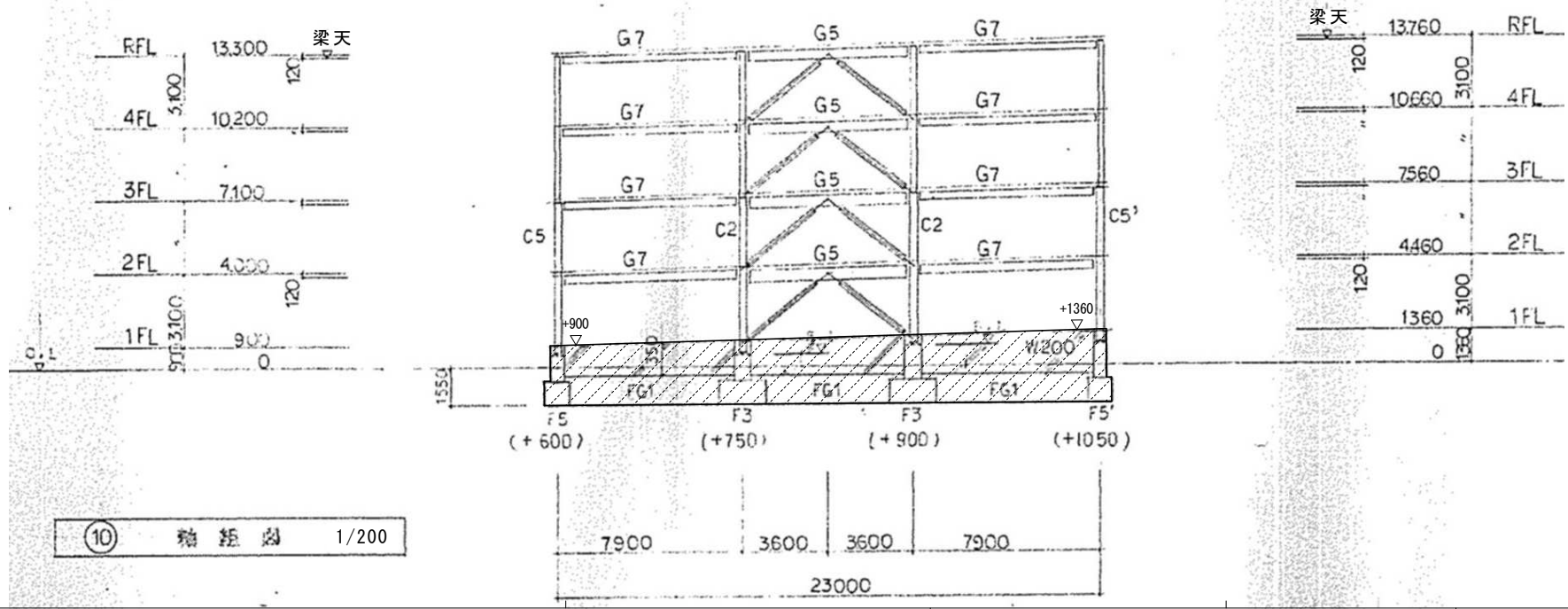
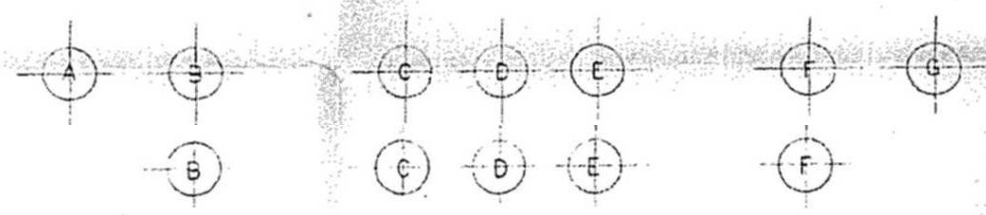
図面番号

S

13



⑨ 軸組図 1/200



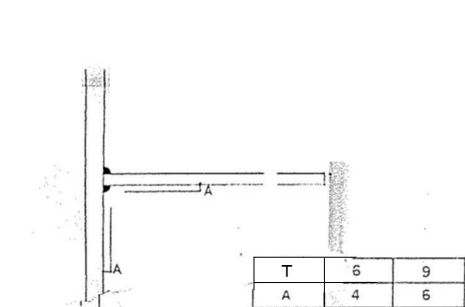
⑩ 軸組図 1/200

凡例  
 撤去範囲外を示す（1階土間コン天端より下部）

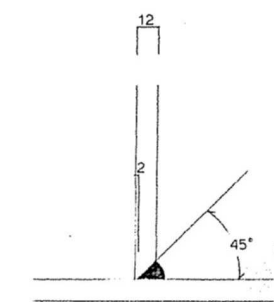
株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	S
		図面名	SCALE
		軸組図(9)	1/200 (A3: 70%縮小)

NO	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8	G 9	G 10
SECTION										
MEMBER	H-596 x 199 x 10 x 15	H-596 x 199 x 10 x 15	H-596 x 199 x 10 x 15	H-496 x 199 x 9 x 14	H-446 x 199 x 8 x 12	H-446 x 199 x 8 x 12	H-346 x 174 x 6 x 9	H-298 x 149 x 5.5 x 8	H-248 x 124 x 5 x 8	H-356 x 199 x 7 x 11
JOINT										
HT BOLT	6-M22	6-M22	6-M22	5-M22	4-M22	5-M22	3-M22	3-M22	2-M22	4-M22
G. PLATE	R-16	R-16	R-16	R-12	R-12	R-12	R-12	R-12	R-12	R-12
STUD BOLT 16# L'65	φ140	φ200	φ130	φ140	φ150	φ140	φ250	φ250	φ250	φ150

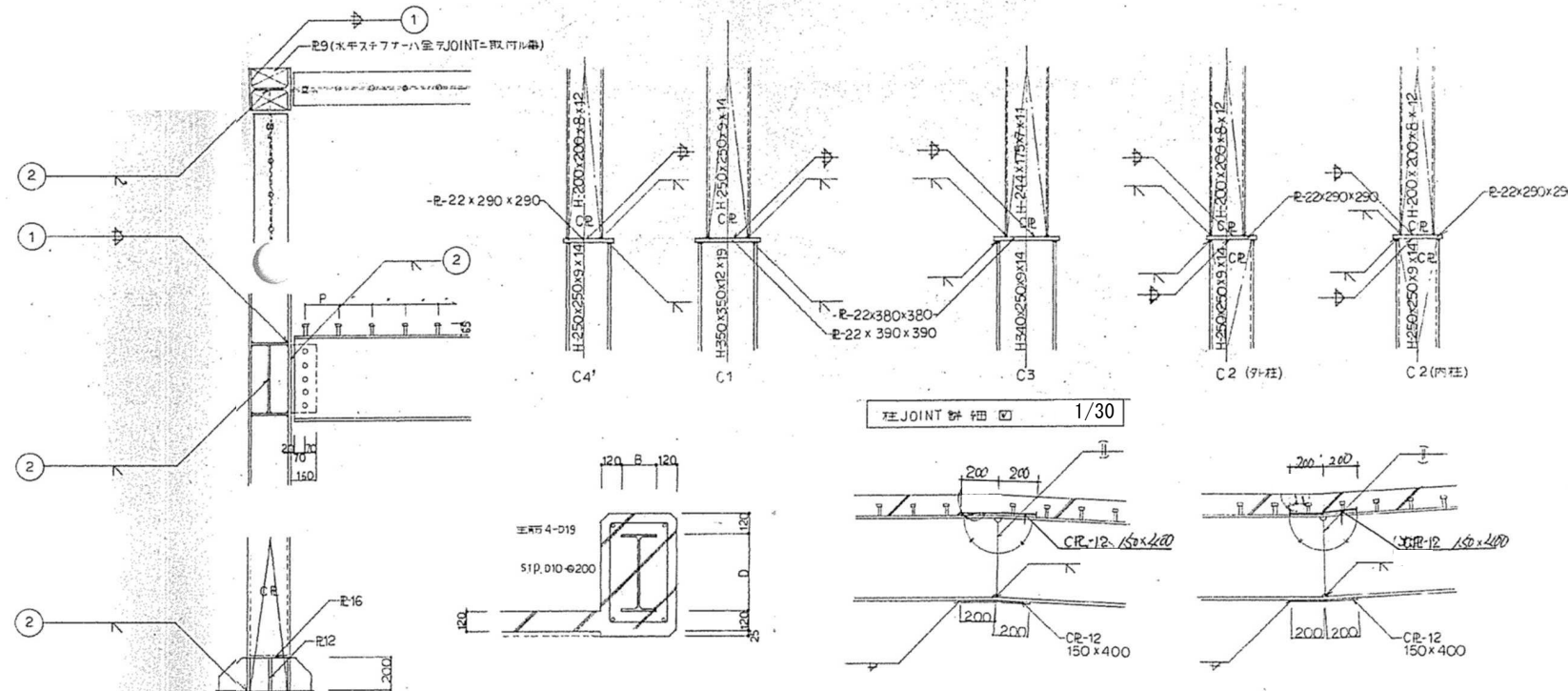


① 隅部溶接



② 溶接部溶接 (12%以上ハ全平)

溶接部詳記 1/3



溶接部詳記 1/30

柱JOINT部詳記 1/30

梁折曲部詳記 1/30

鉄骨各部部詳記

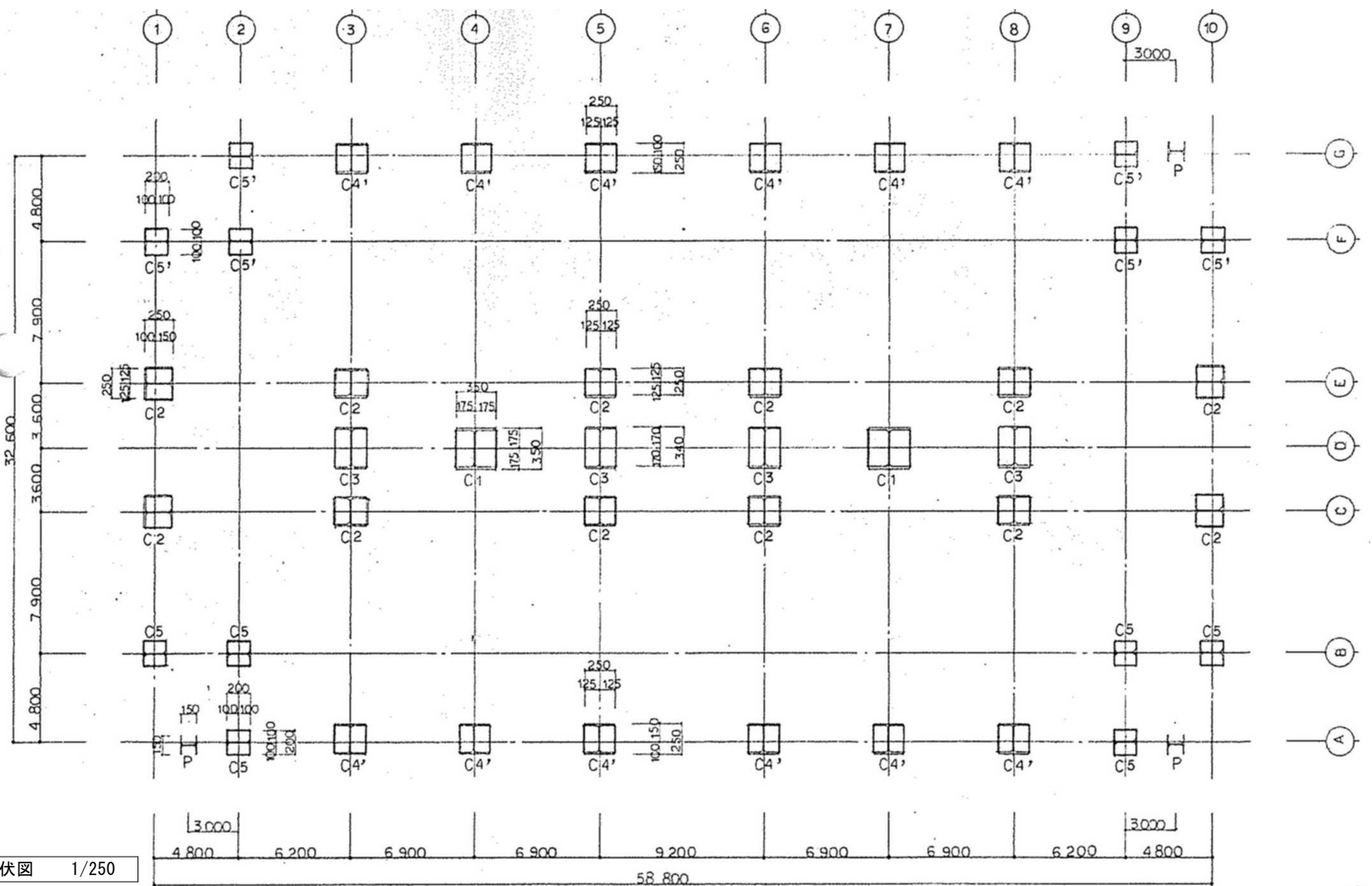
柱リスト 1/30

P/H鋼柱 H-150x150x7x10 R-12 2-M20  
 BE-16x200x200  
 ABOLT 2-16φ, L=600

NO	C1	C2	C3	C4 (C4')	C5 (C5')
RHF					↓
MEMBER					
4F					↓
MEMBER	H-250x250x9x14	H-200x200x8x12	H-244x175x7x11	H-200x200x8x12	
3F					↓
MEMBER	CE-6	CE-6	CE-6	CE-6	
MEMBER	H-250x250x9x14	H-200x200x8x12	H-244x175x7x11	H-200x200x8x12	
2F					
MEMBER	H-350x350x12x19	CE-6	H-340x250x9x14	H-250x250x9x14	H-200x200x8x12
1F					
MEMBER	CE-9	CE-16	CE-6	CE-9	CE-6
MEMBER	H-350x350x12x19	H-250x250x9x14	H-340x250x9x14	H-250x250x9x14	H-200x200x8x12
柱脚					
BASE 尺	BE-25x800x800	BE-22x600x600	BE-22x500x600	BE-22x600x600	BE-19x400x400
ANCHOR BOLT	B-25φ f=1000	B-25φ f=1000	B-22φ f=800	B-22φ f=800	4-22φ f=800
RIB 尺	R-12 H-200	R-12 H-200	R-12 H-200	R-12 H-200	R-12 H-200
柱脚					
BASE 尺			BE-22 800 400	BE-19x400x400	
ANCHOR BOLT			B-22φ f=800	4-22φ f=800	
RIB 尺			R-12 H-200	R-12 H-200	

ブレース 1/30

階数	1F	2F	3F	4F
X方向部				
MEMBER	□-200x200x6	□-200x200x6	□-150x150x4.5	□-150x150x4.5
取付PLATE	E-12x300	E-12x300	E-12x175	E-12x175
取付BOLT	6φ-M22	5-M22	3-M22	3-M22
Y方向部				
MEMBER	□-200x200x12	□-200x200x9	□-200x200x6	□-150x150x6
取付PLATE	E-16x400	E-16x300	E-12x300	E-12x200
取付BOLT	12φ-M22	9φ-M22	6φ-M22	4-M22

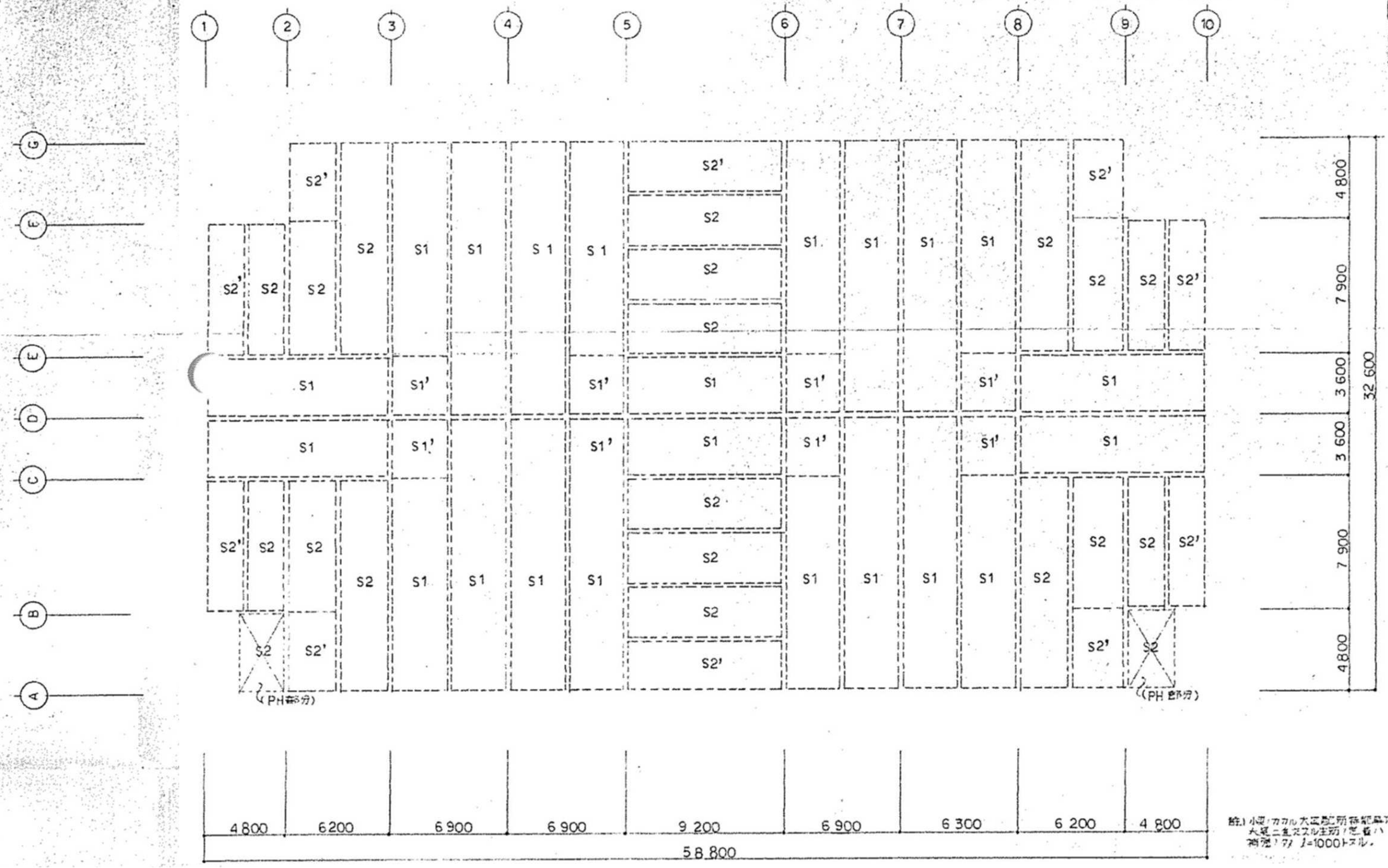


柱伏図 1/250

株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号 S / 16
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
柱伏図・柱リスト・ブレースリスト			SCALE 1/30, 1/250 (A3: 70%縮小)

スラブ伏図 1:200

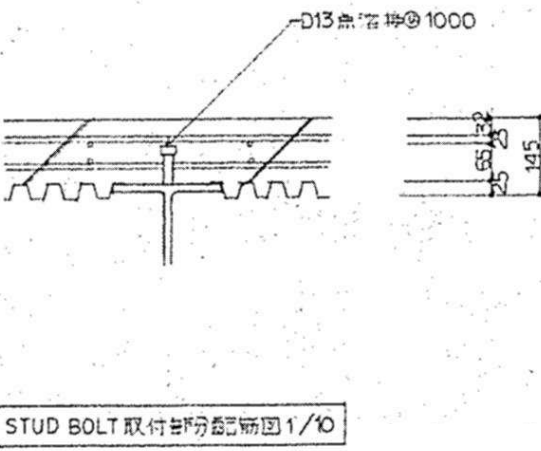
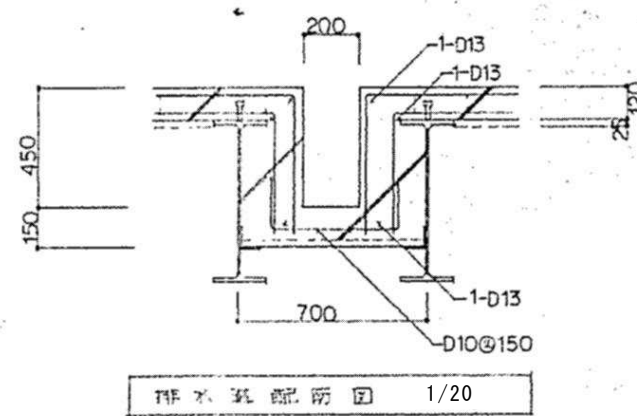
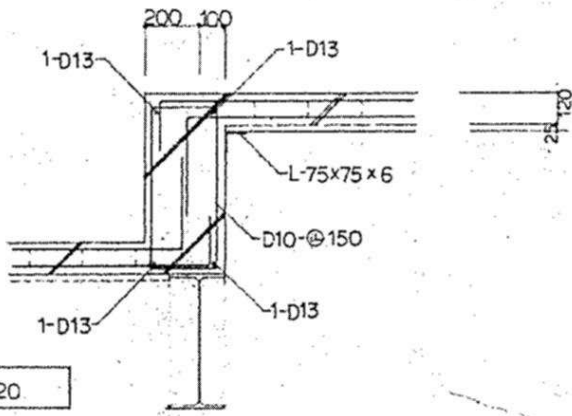
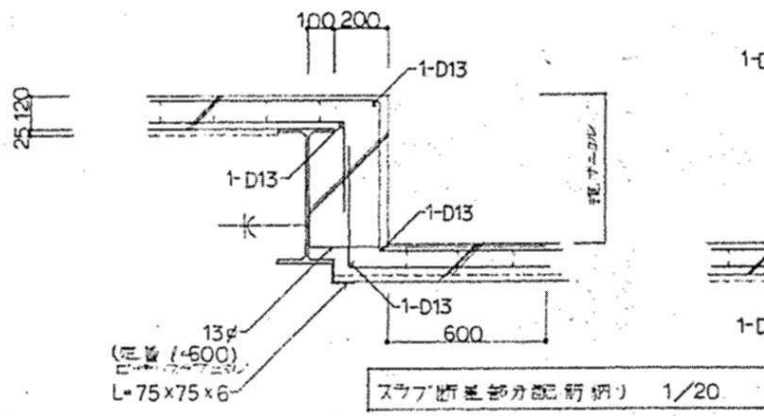
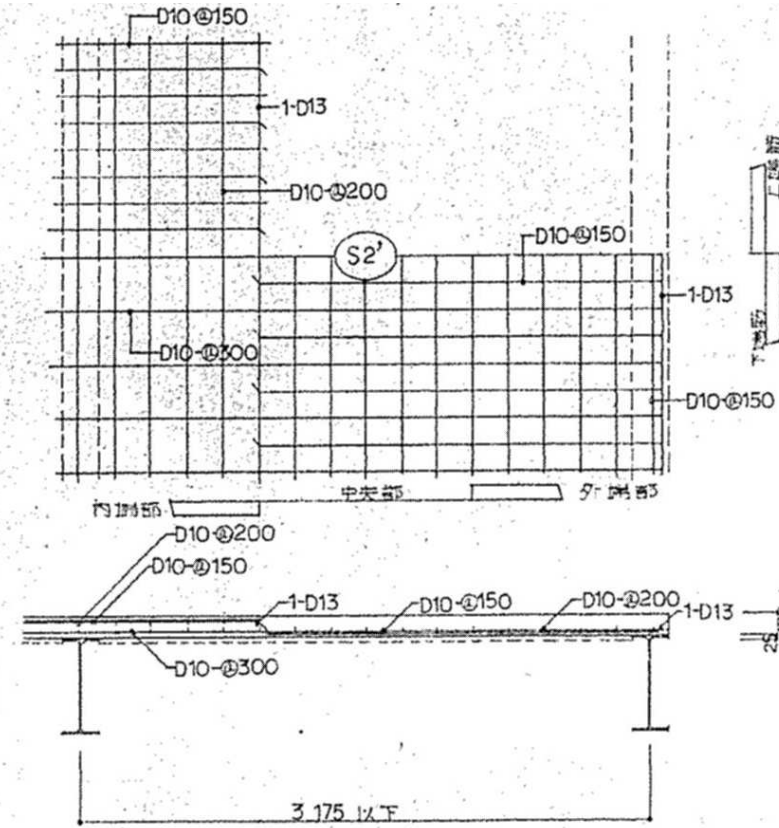
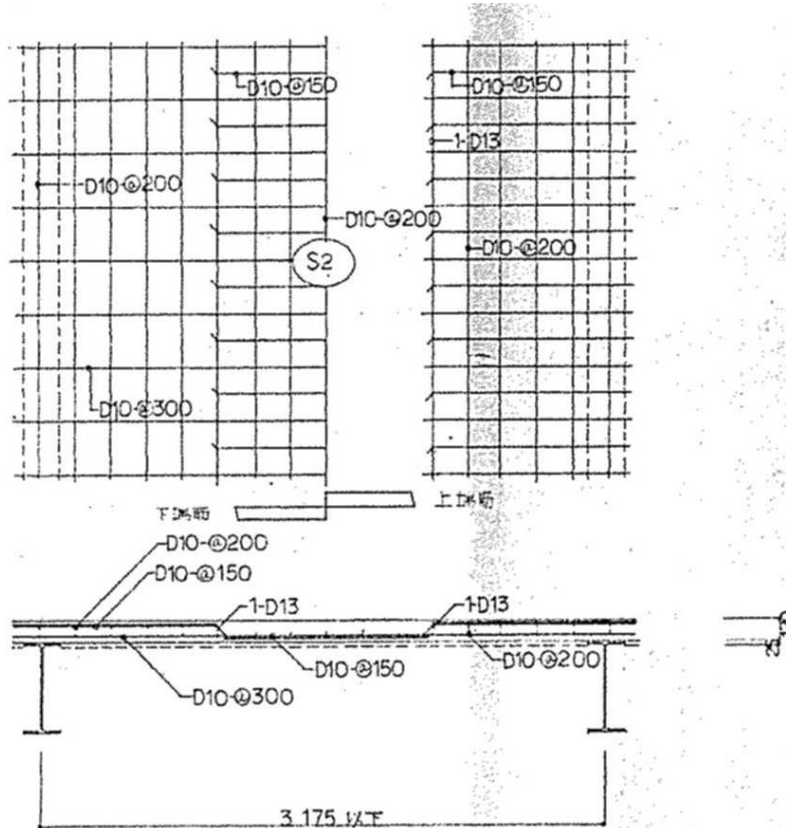
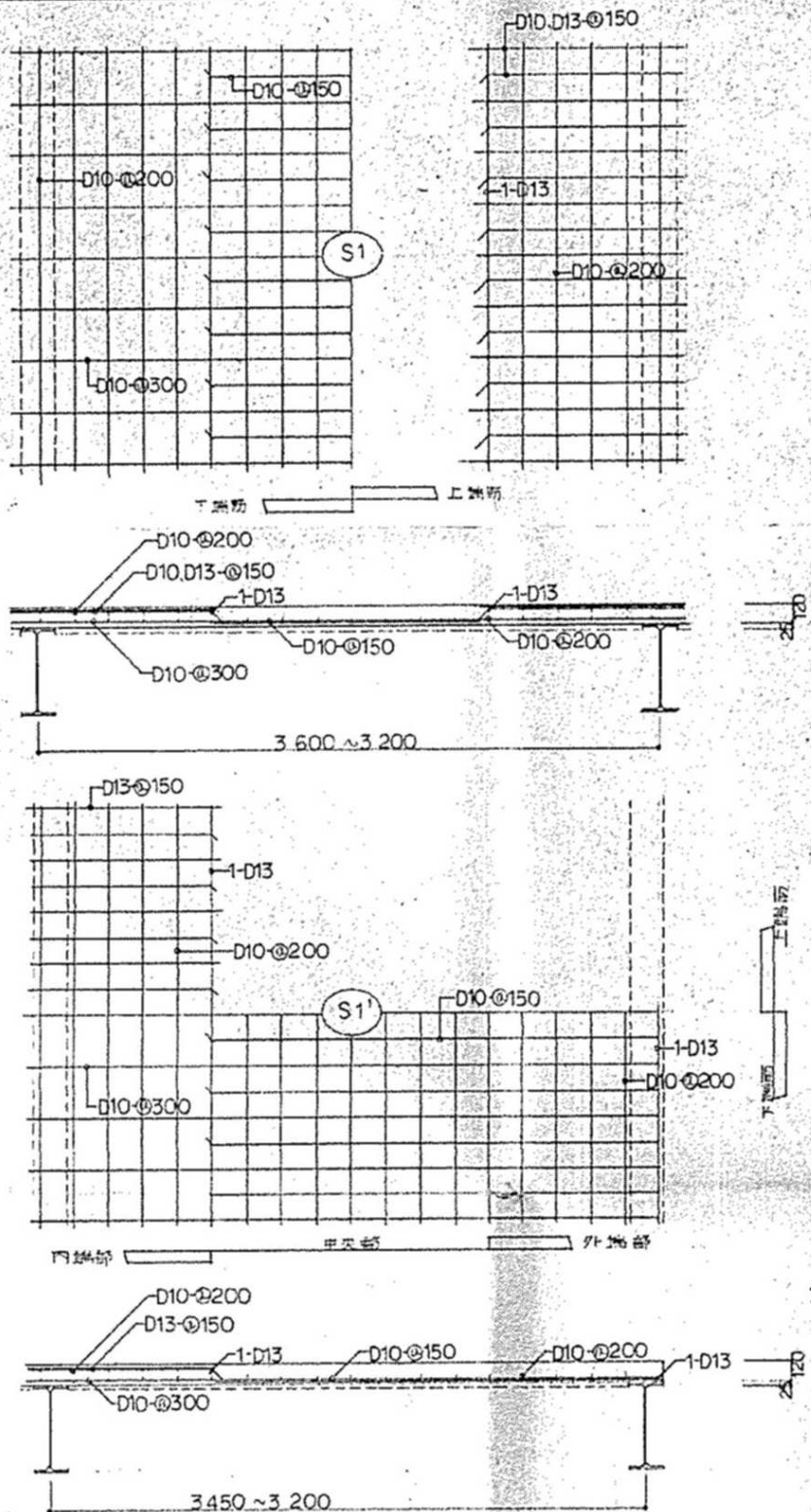


註)小間/カナル大正製所等設置  
大正二重スラブ(断面ハ  
補強)77 J=1000トスル。

株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)

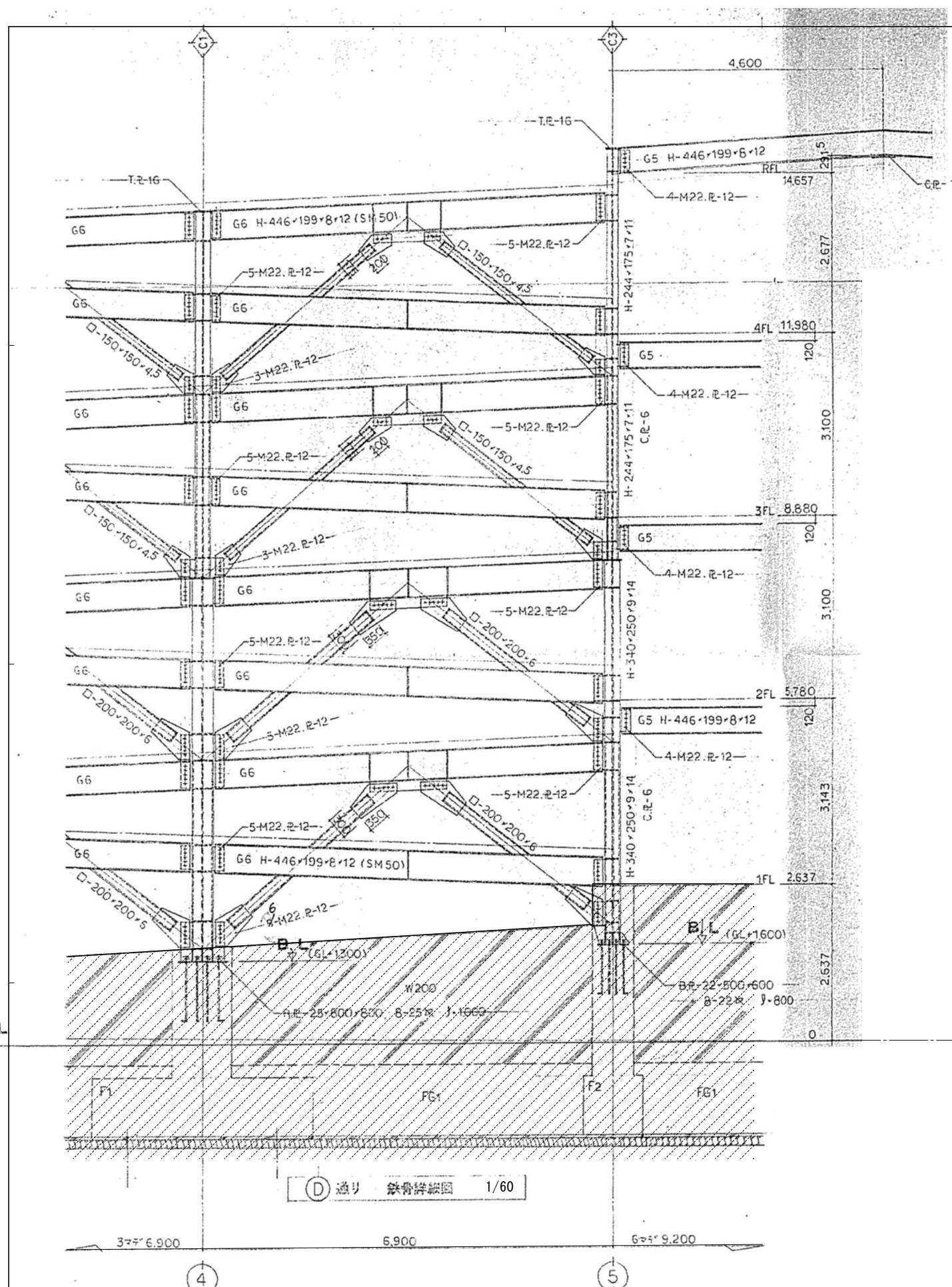
年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	
図面名			SCALE
スラブ伏図			1/200 (A3:70%縮小)
			S / 17

スラブリスト 1:30

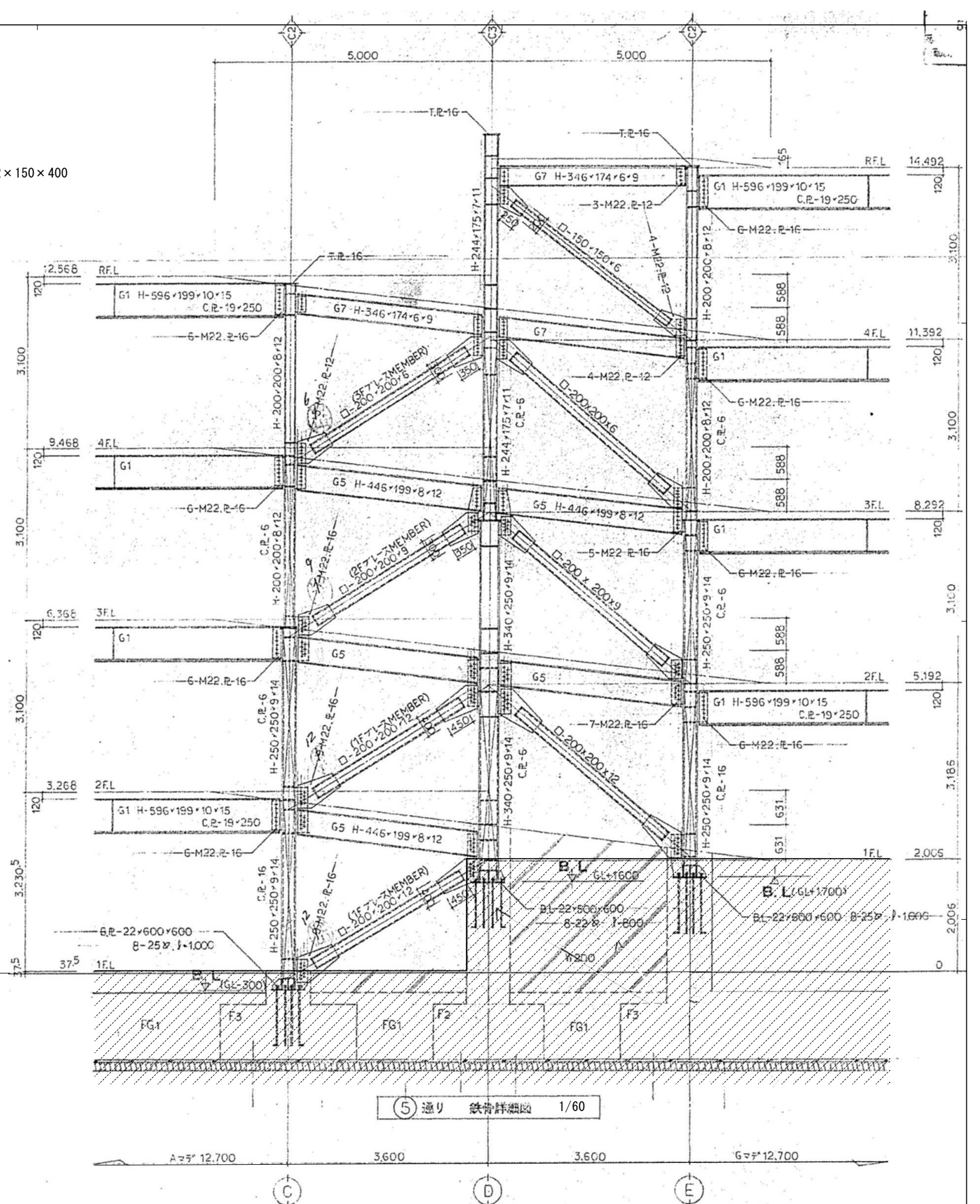


株式会社 近代設計コンサルタント  
 一級建築士 登録第277978号  
 小瀬 宏 治  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号  
 TEL (082) 243-5555(代)

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	S
		スラブリスト・配筋図	18
SCALE			
1/30, 1/20, 1/10			
(A3: 70%縮小)			



(D) 通り 鉄骨詳細図 1/60



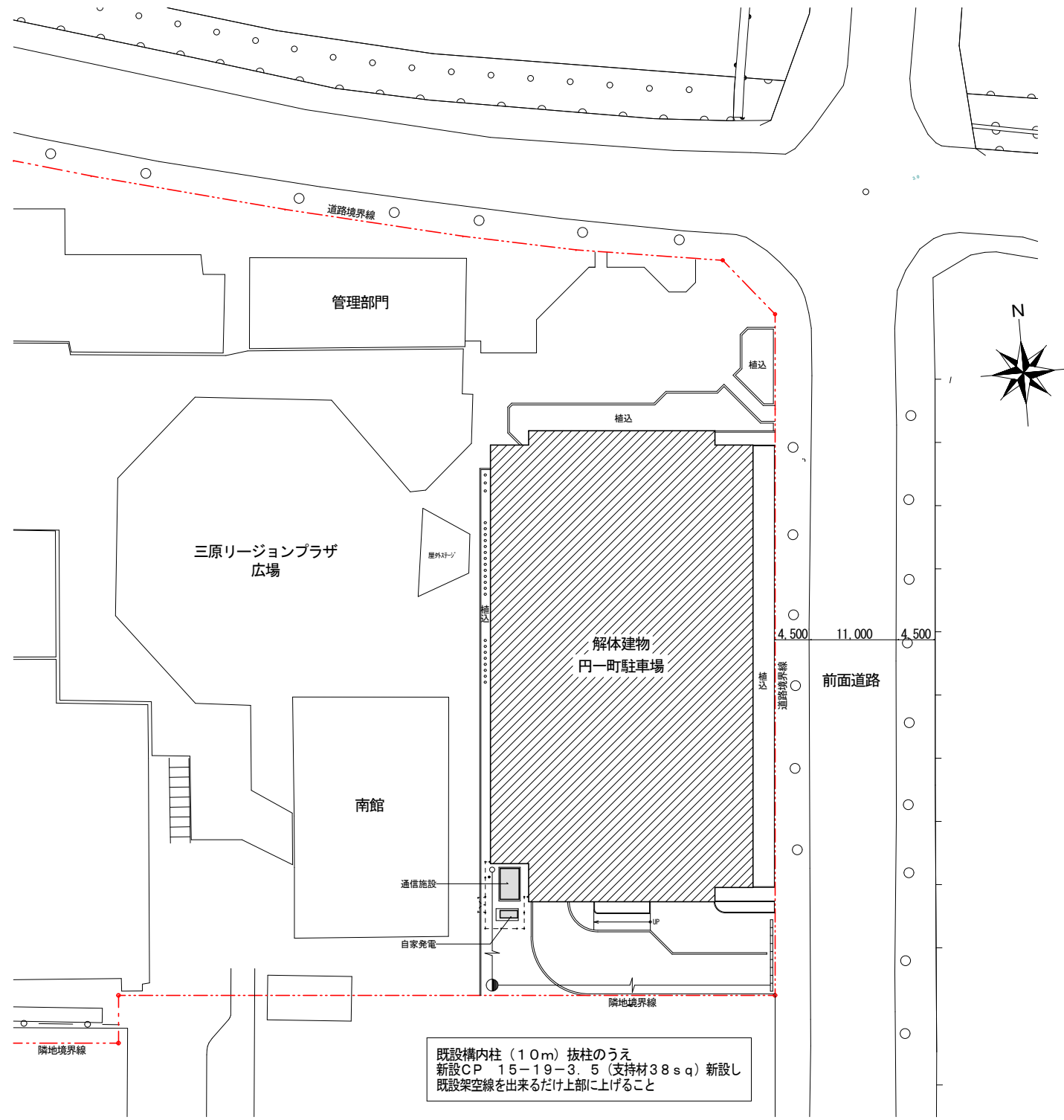
(E) 通り 鉄骨詳細図 1/60

凡例  
 撤去範囲外を示す (1階土間コン天端より下部)

株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事	S
		鉄骨詳細図	19
SCALE			1/60 (A3 : 70%縮小)






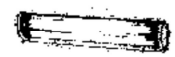
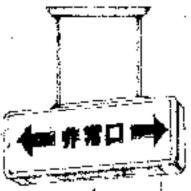
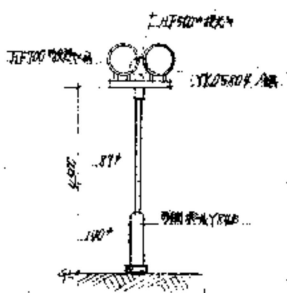


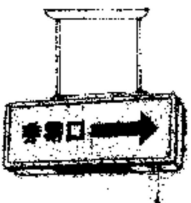


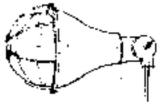
電	常	灯	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付	直付
電	非常用	非常用照明	FL 20w	並付 </tr	



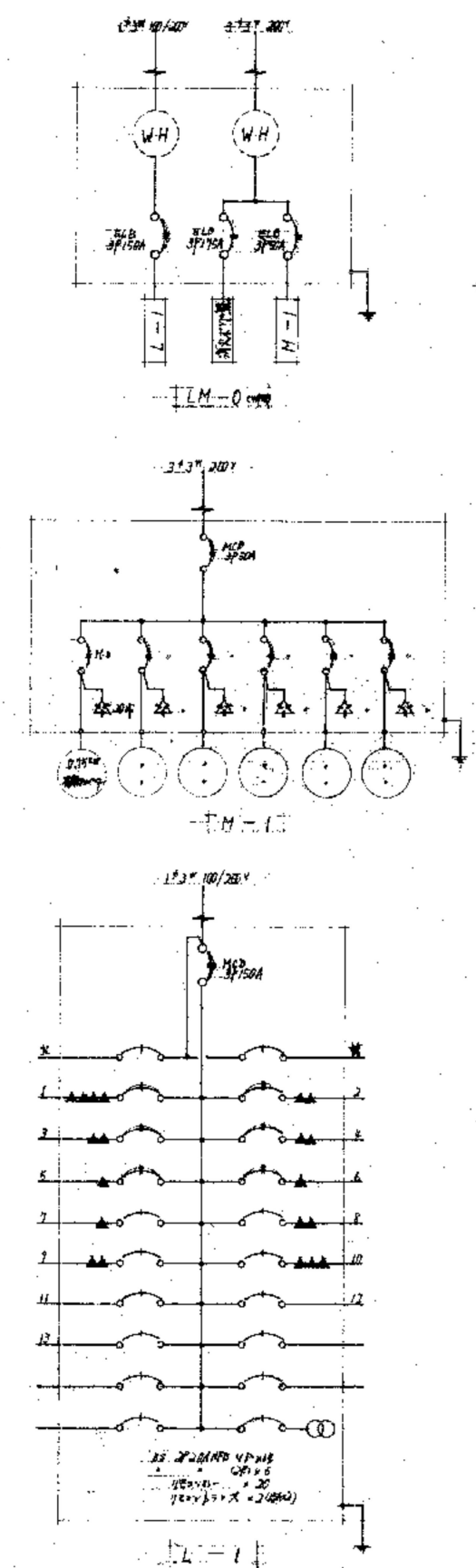
既設構内柱 (10m) 抜柱のうえ  
 新設CP 15-19-3.5 (支持材38sq) 新設し  
 既設架空線を出来るだけ上部に上げる

配置図 1:500

照明器具姿図

			
L FL40*2 SNH200 FA422/5K — 30	G FL20*1 非常灯 FF21027 — 10	R FL20*1 非常灯 FA21971 — 14	U HF700*1 200 YA58066 — 4
			
B FL40*2 SNH200 非常灯 FF42295 — 30	H FL15*1 HW169 — 2	I FL20*1 非常灯 FA21981 — 6	N HF500*1 200 YA58124 — 2
			
C FL40*2 GH FA42006 — 4	J EL60*1 (非常灯) LW56163 — 7	M FL20*1 非常灯 FA21981 — 3	
			
D FL20*2 FA22006 — 2	K HF100*1 (非常灯) YA88222 — 5	O HF500*1 200 YA58124 — 2	

照明姿図・分電盤系統図 (参考)



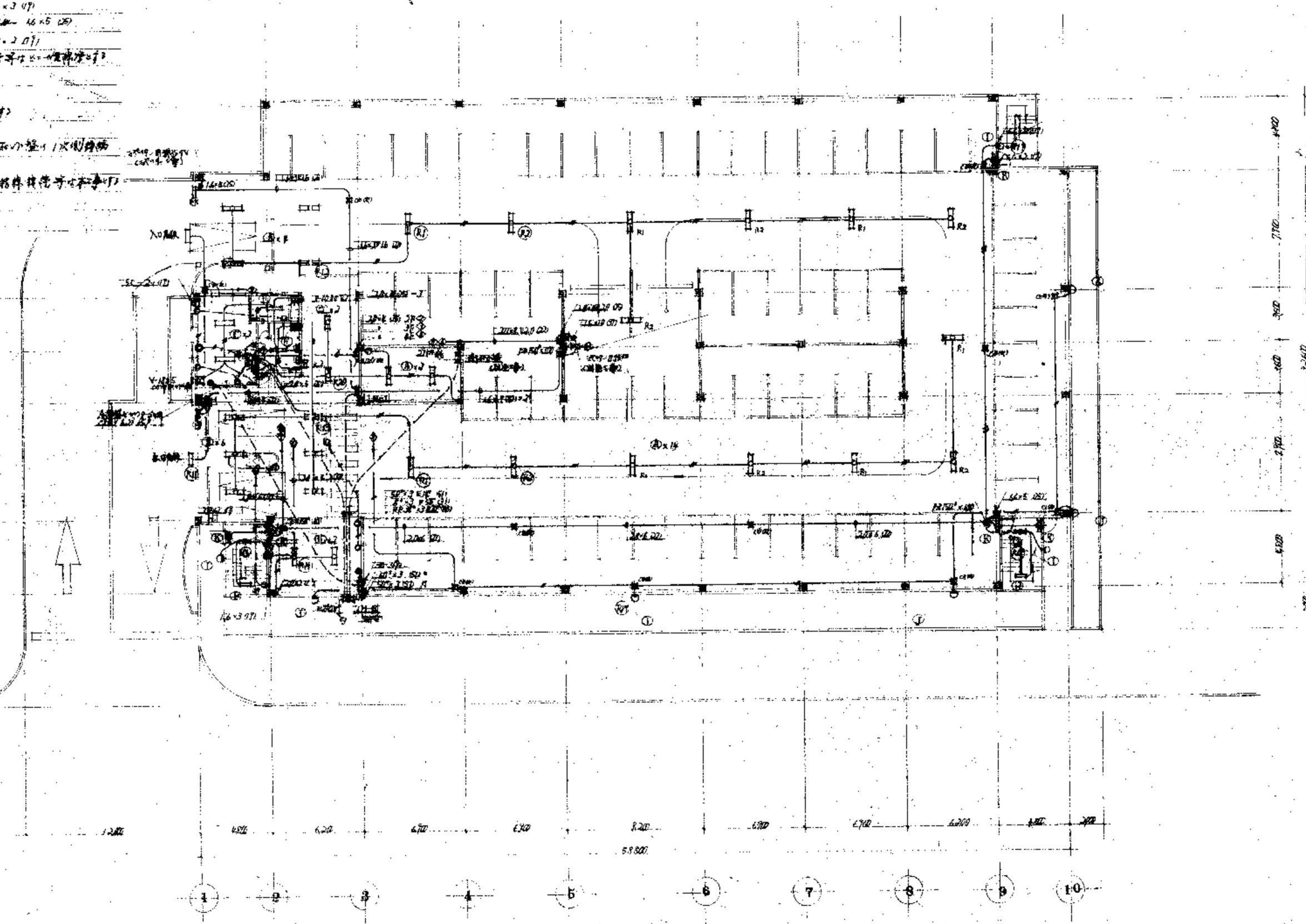
株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555 (代) 小瀧 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	E
		照明姿図・分電盤系統図 (参考)	02
		SCALE	

特記


1. 特記の配管取付位置に注意
  2. 1階の天井は270型インフラットは全面設置
  3. 消火栓の取付位置は本工事の消火栓の位置に注意
- ※ 1階の天井は全面設置は本工事の消火栓の位置に注意
- ※ 1階の天井は全面設置は本工事の消火栓の位置に注意
- ※ 1階の天井は全面設置は本工事の消火栓の位置に注意

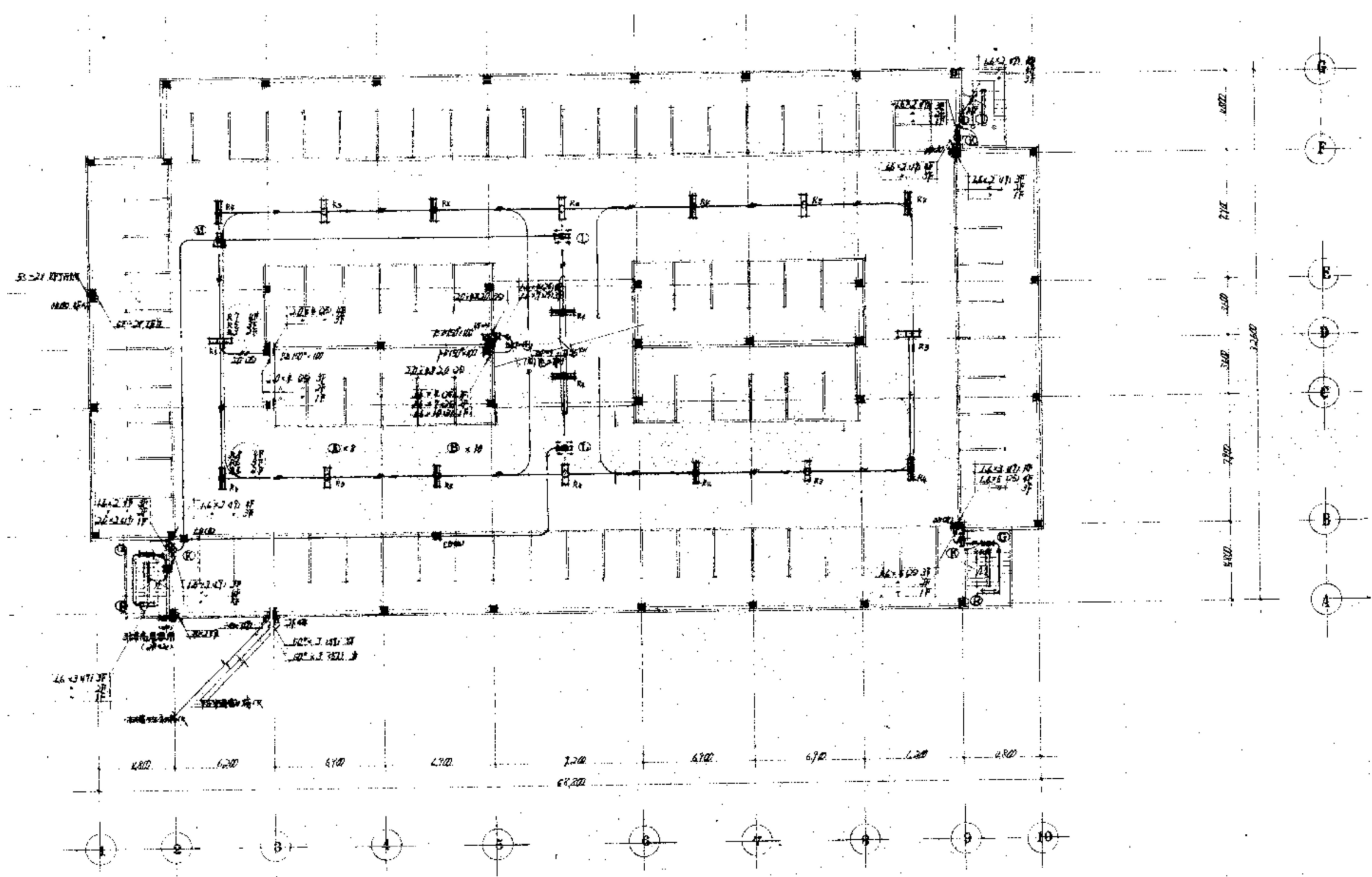
4. 検査高 V-10Z5x2



電灯コンセント・動力・弱電設備 1階平面図 (撤去図) 1:200


※特記なき場合すべて撤去とする。  
※打込み配管・配線は配線のみ撤去とする。

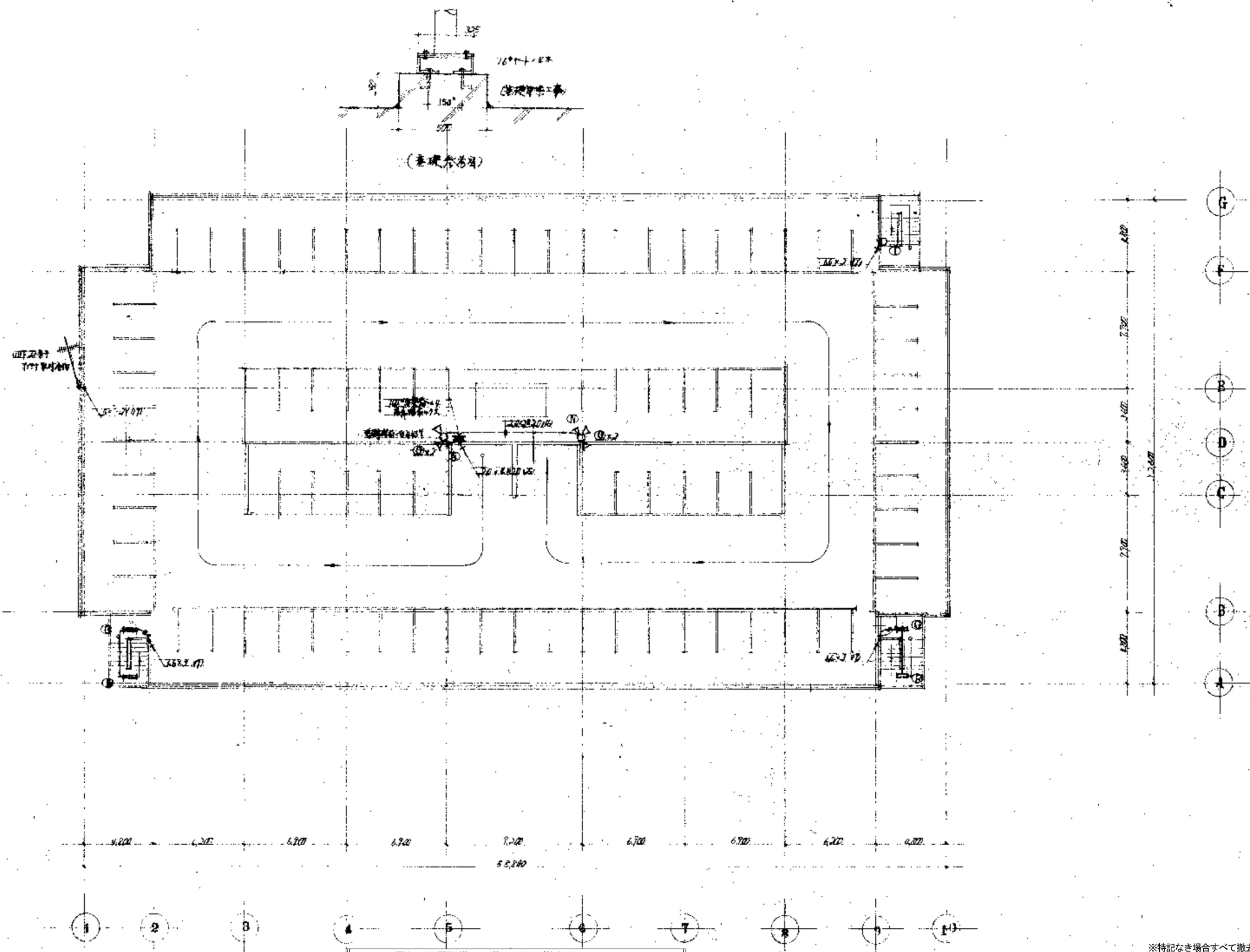
 株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小瀧 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号 E 03
	照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事 電灯コンセント・動力・弱電設備 1階平面図 (撤去図)	
				SCALE
				1/200 (A3: 70%縮小)




電灯コンセント・弱電設備 2~4階平面図 (撤去図) 1:200

※特記なき場合すべて撤去とする。  
 ※打込み配管・配線は配線のみ撤去とする。

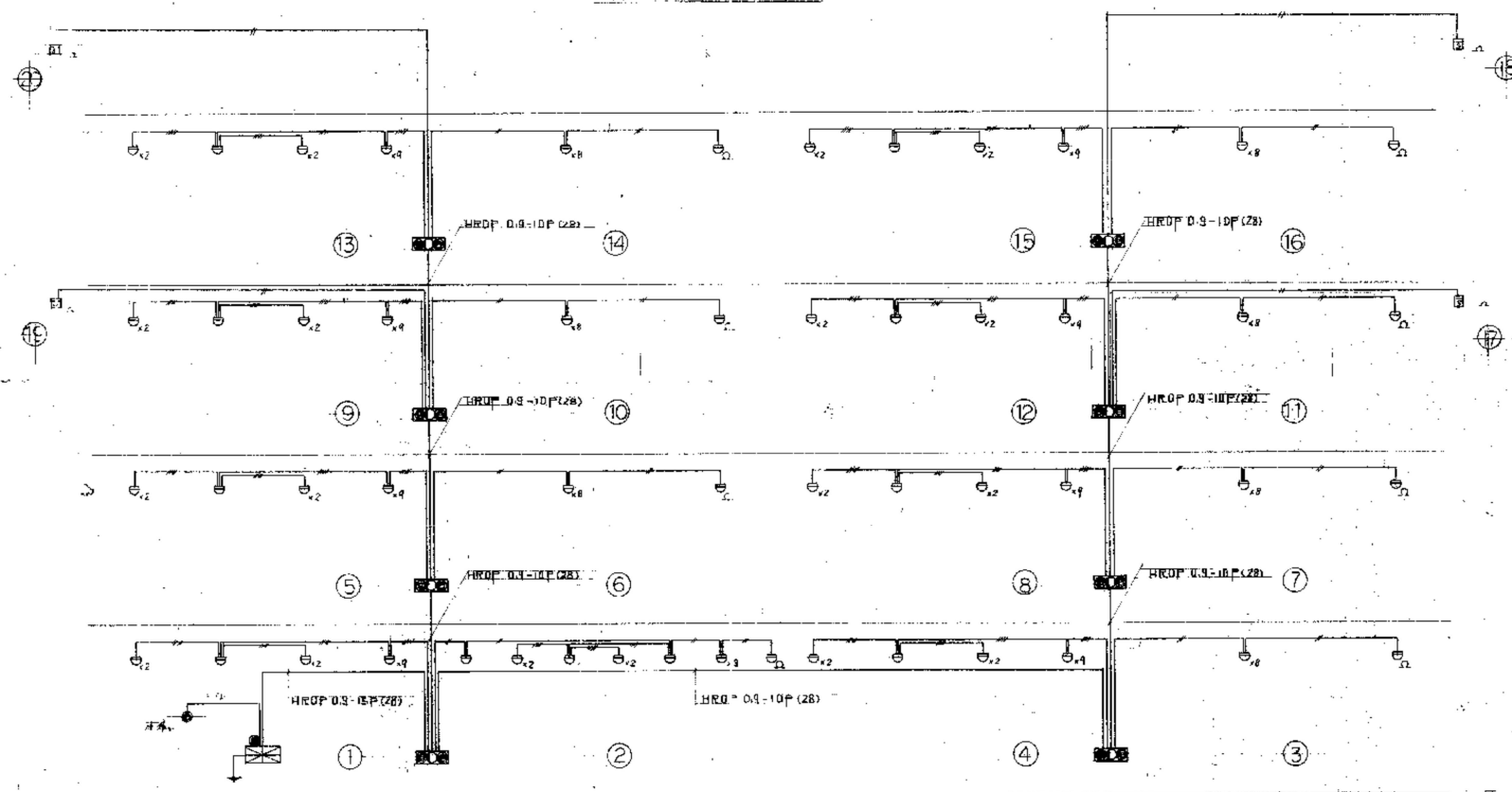
 <b>株式会社 近代設計コンサルタント</b> 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小瀧 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号 E 04
	照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事 電灯コンセント・弱電設備 2~4階平面図 (撤去図)	
				SCALE
				1/200 (A3: 70%縮小)



※特記なき場合すべて撤去とする。  
 ※打込み配管・配線は配線のみ撤去とする。

 <b>株式会社 近代設計コンサルタント</b> 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555 (代) 小瀧 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号 電灯・弱電設備 R階平面図 (撤去図)	図面番号 E 05
	照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事		
				SCALE	
				1/200 (A3: 70%縮小)	

系統図



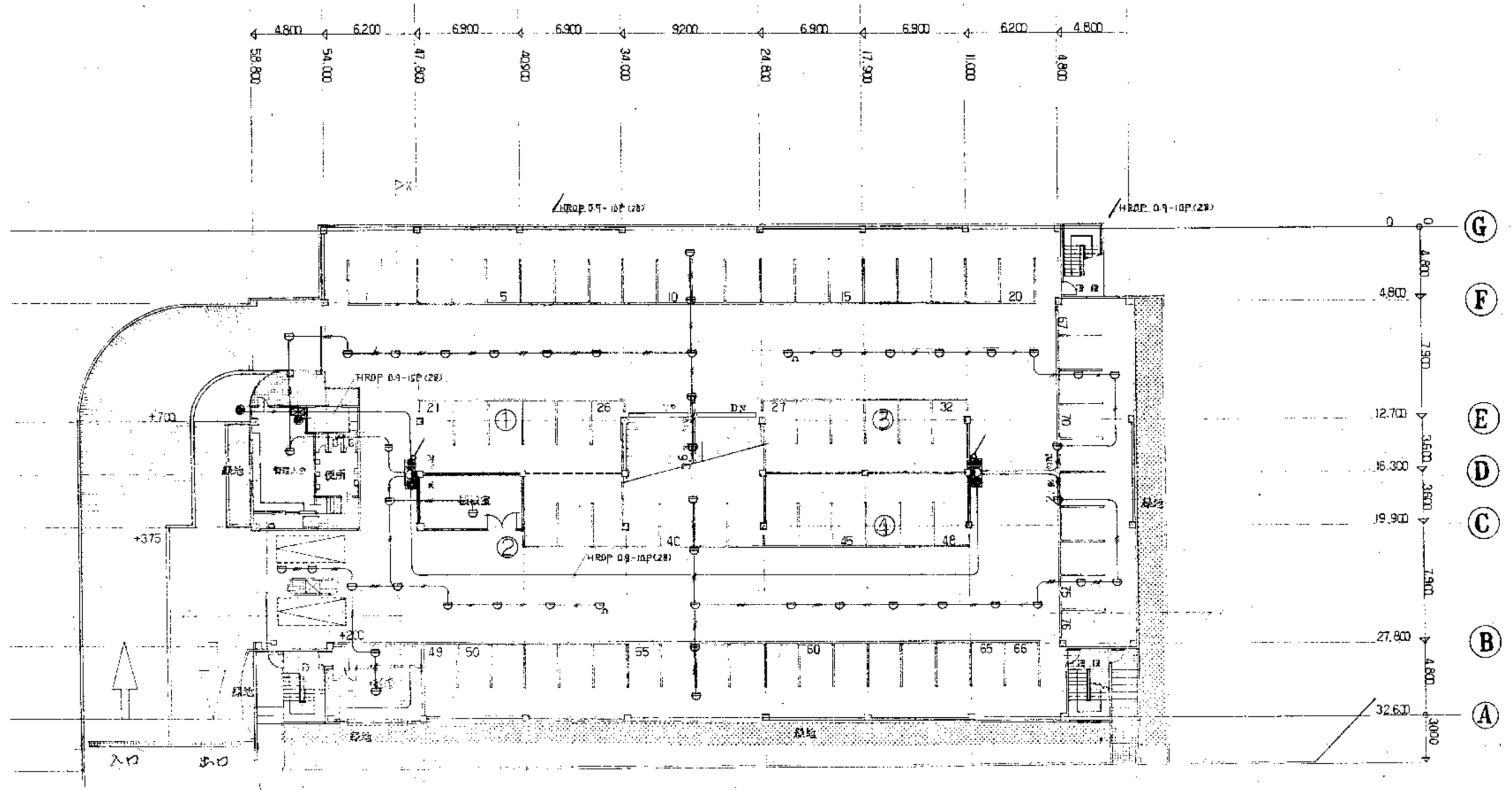
自動火災報知設備 系統図 (参考)

凡例

記号	名	規格	備考	数量
☒	変圧機	概	P電200巻	1
⊙	変圧機	概	P電100巻	2
○	表示灯	灯	24V	8
△	ハ	水	DC 24V	10
□	差動式火災探知器	2線	2線探知器	4
■	煙感知器	2線	2線	4
⊕	地上110V配線			
⊖	地下110V配線			
→	電線	線	1P-10	

株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀧 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	E
		自動火災報知設備 系統図 (参考)	06
		SCALE	
		-	

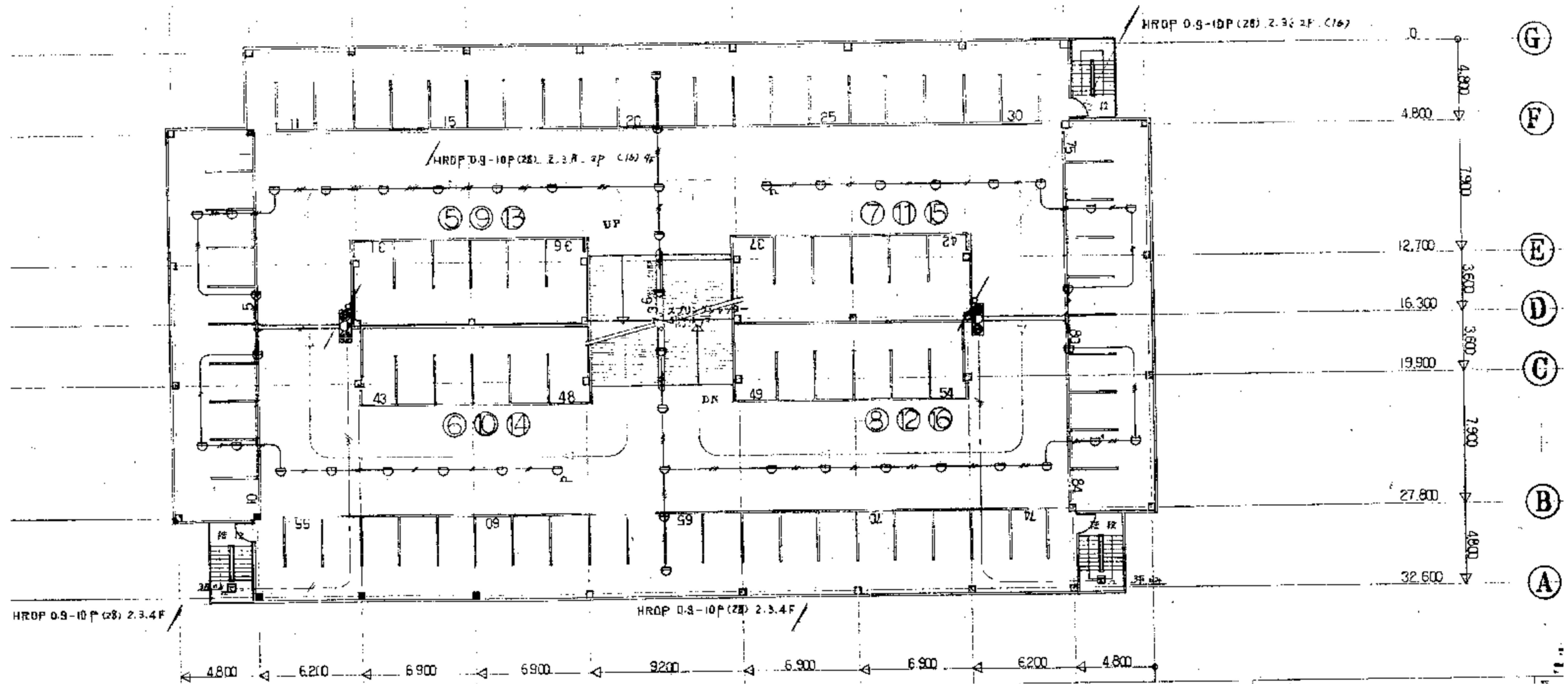


自動火災報知設備 1階平面図 (撤去図) 1:200

※特記なき場合すべて撤去とする。  
 ※打込み配管・配線は配線のみ撤去とする。


株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555 (代) 小瀧 宏 治

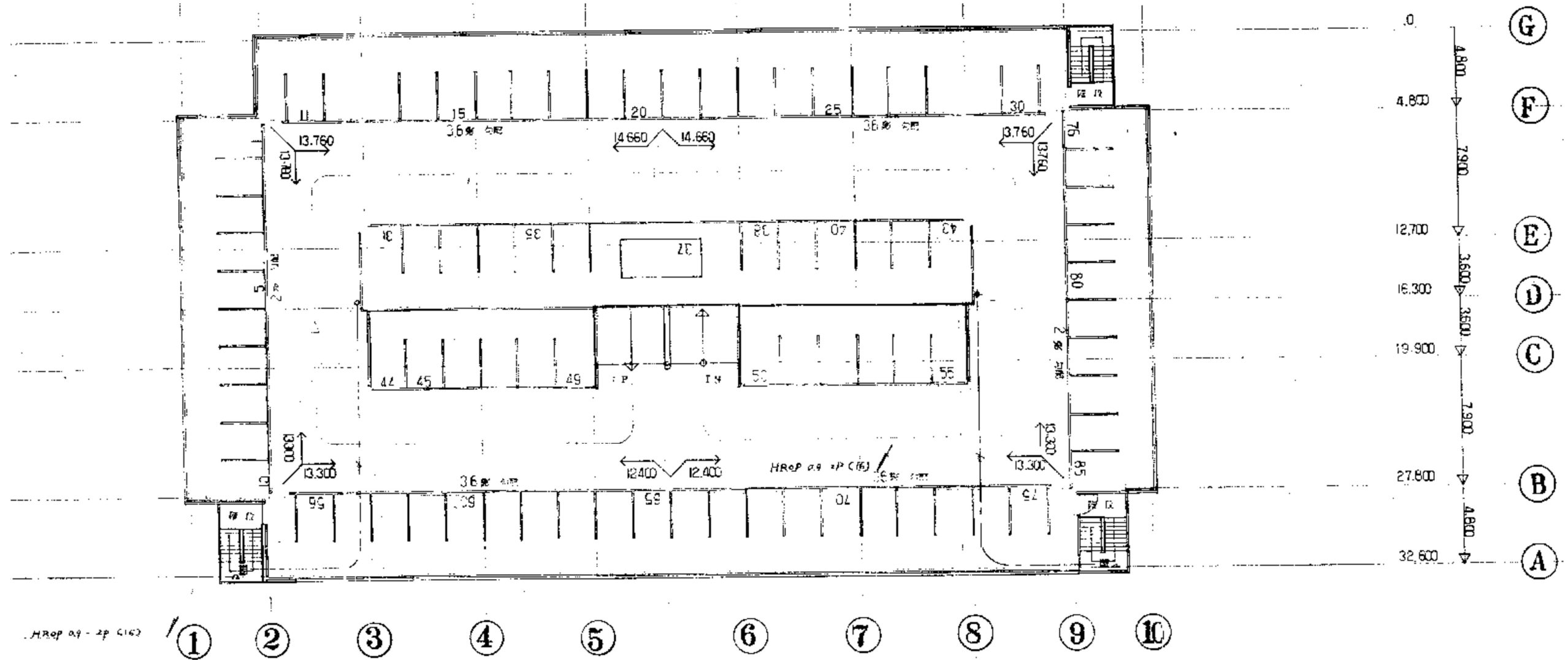
年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	E
		自動火災報知設備 1階平面図 (撤去図)	07
		SCALE	1/200 (A3:70%縮小)



自動火災報知設備 2・3・4階平面図 (撤去図) 1:200

※特記なき場合すべて撤去とする。  
 ※打込み配管・配線は配線のみ撤去とする。

 <b>株式会社 近代設計コンサルタント</b> 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555 (代) 小瀧 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号 E 08
	照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事 自動火災報知設備 2・3・4階平面図 (撤去図)	
SCALE				1/200 (A3: 70%縮小)



自動火災報知設備 R階平面図 (撤去図) 1:200

※特記なき場合すべて撤去とする。  
 ※打込み配管・配線は配線のみ撤去とする。

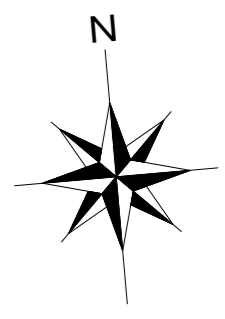
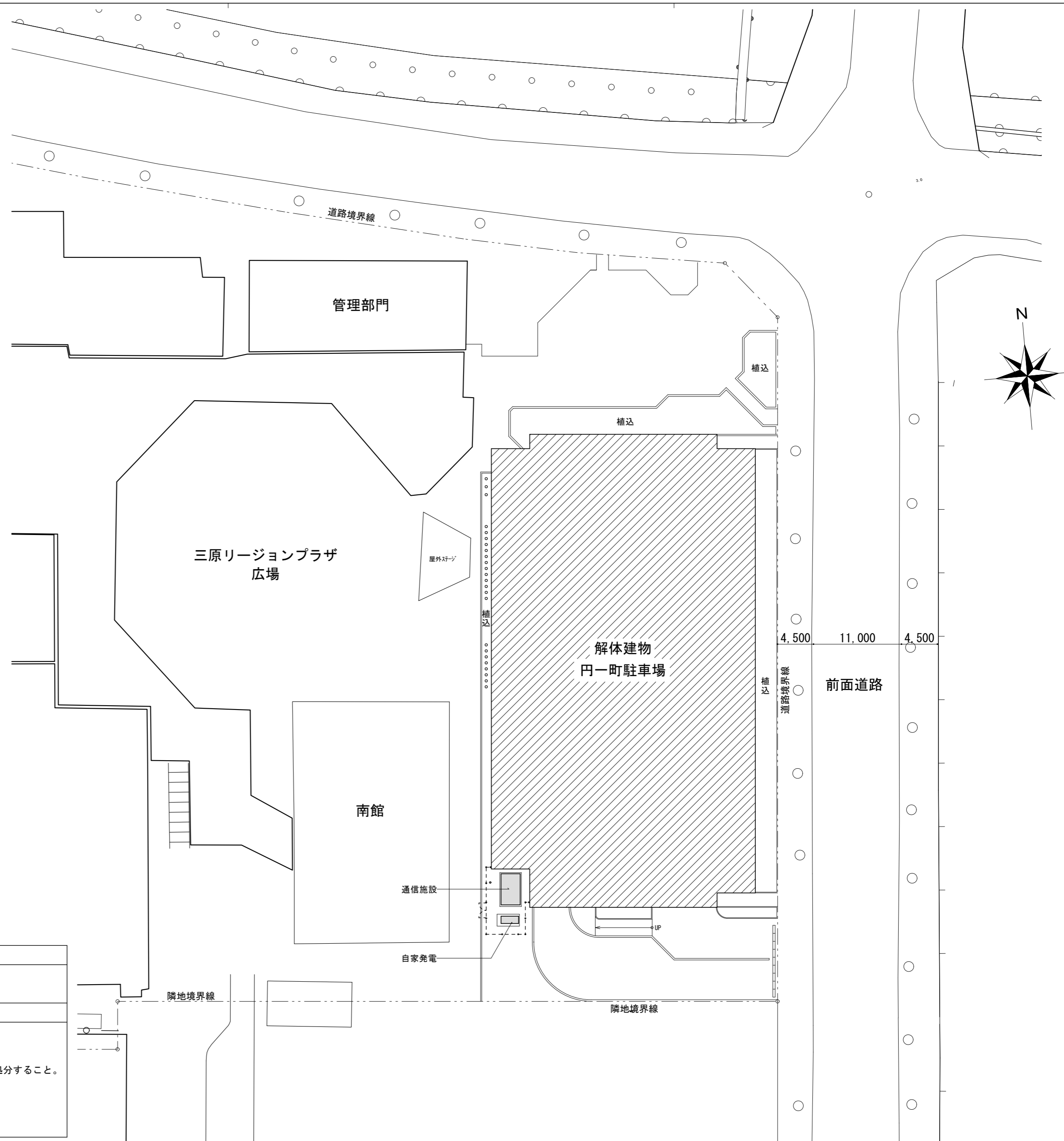
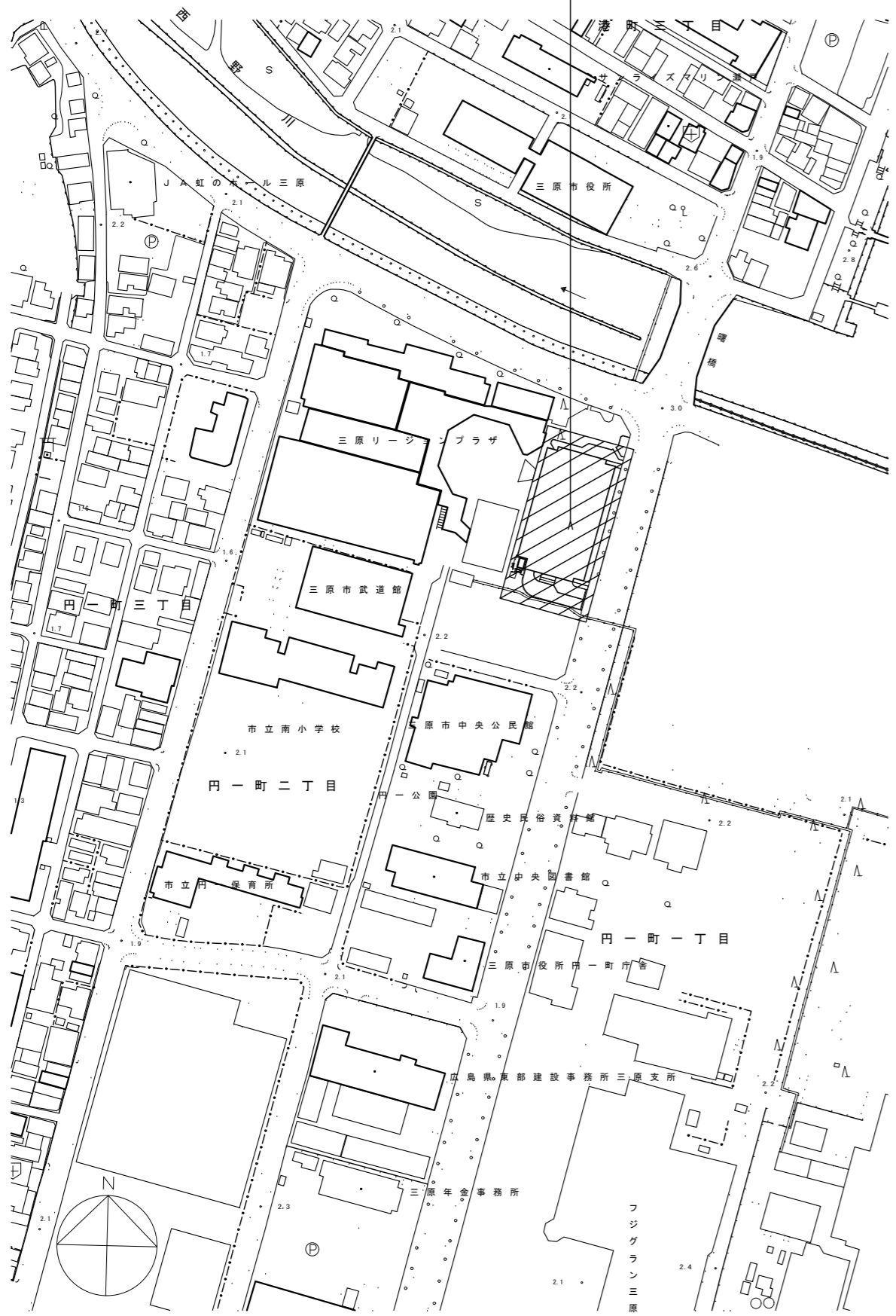


株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555 (代) 小瀧 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	
		図面名	SCALE
		自動火災報知設備 R階平面図 (撤去図)	1/200 (A3: 70%縮小)
			図面番号 E 09

工事場所  
三原市円一町二丁目  
円一町駐車場



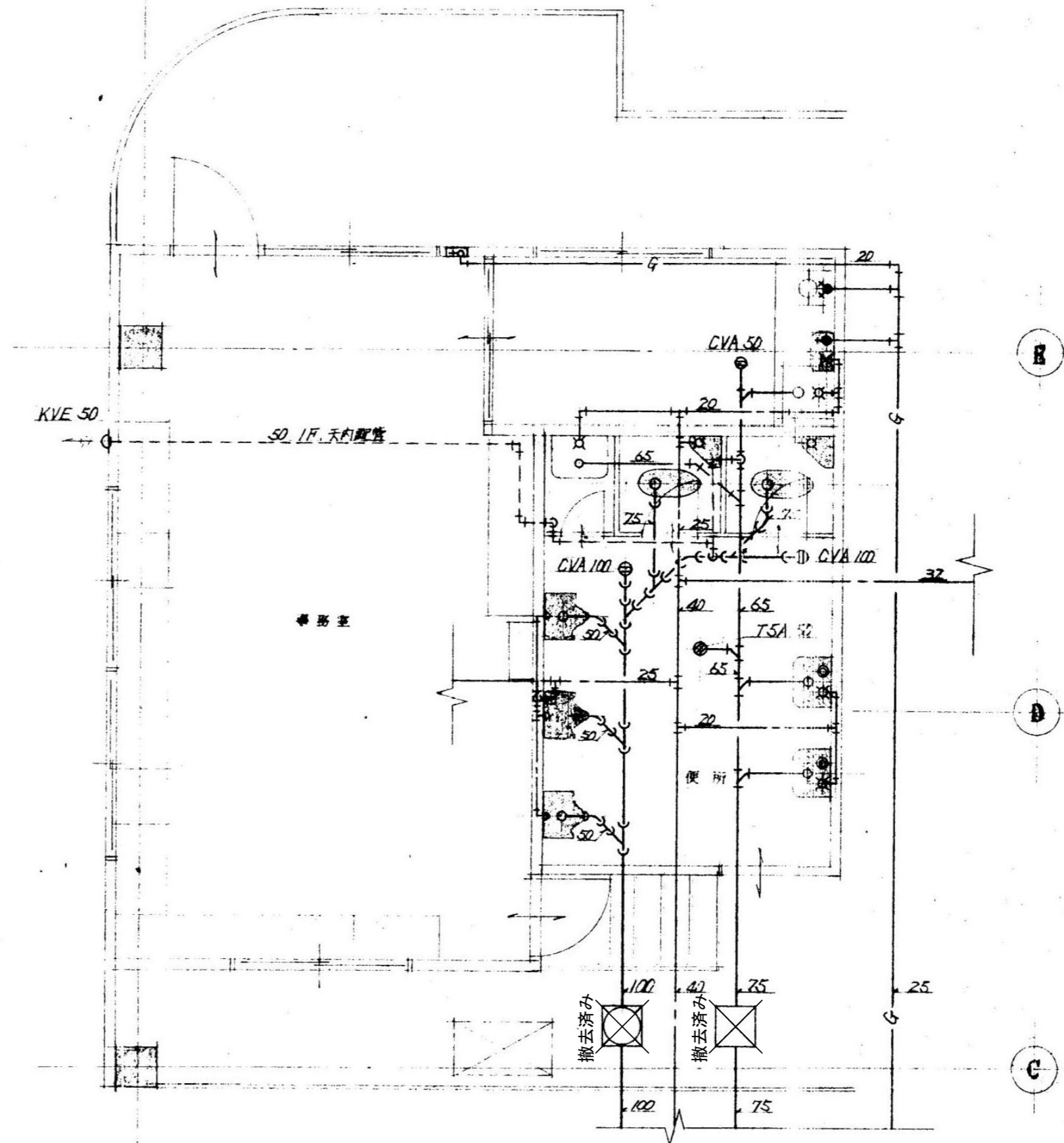
<工事概要>  
・本工事は、解体工事に伴い、既存機械設備の撤去を行う。

<条件・留意事項>  
・土壌汚染対策のため、1階土間より上部を撤去対象とし、埋設配管等は撤去しないものとする。詳細は図面による。  
・地下消火水槽については、水源を抜き取ったうえで、建築工事により埋戻しを行う。  
・泡消火設備はPFOSを含有しているため、泡タンク内原液、配管内水溶液および感知ライン内水溶液を適切に抜き取り、関係法令に基づき廃棄・処分すること。  
・石綿含有のため、配管フランチ接合部およびバルブガasketの撤去は、原則として切断による方法とする。詳細は特記仕様書による。  
・ルームエアコン撤去に伴う冷媒フロンの回収については、関係法令を遵守し、適切に回収および処分を行うこと。  
・残置とする既存土間は、撤去作業に伴う振動および撤去物の落下等による損傷が生じないよう、養生を含め十分配慮すること。

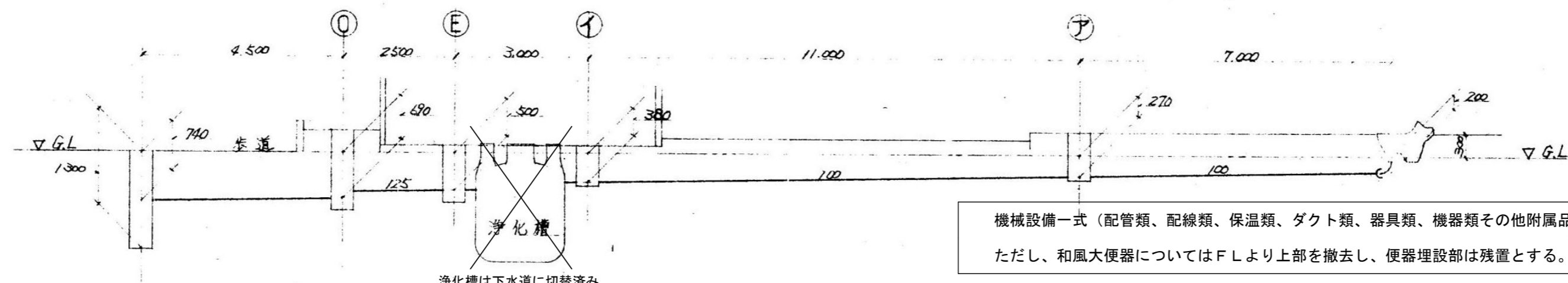
<p>株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治</p>	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事 配置図	

衛生器具表

便所		
和風大便器	C-375V S-570S TS116R	2
ストール小便器	U-370C	3
掃除用流し	SK-22A	1
洗面器	L-220 TS126AS S-3 TS119AS3	2
整理人室		
ホックスユツク	壁用	1
靴しき	1500 <sup>L</sup>	1
泡沫自在水栓	T130AR 13	1
エンジン形止水栓	T4A	1
二口ガスユツク	T204	1
二口	T116	1
ガスコンロ	-II ハ付	1
洗面流し	PH-5号	1
外部		
散水栓	T27-13	4
同上用ボックス	B3	4
駐車場		
万能ホム水栓	T200S 13	4
同上用水栓		4



給排水衛生設備 1階平面詳細図 S=1/50

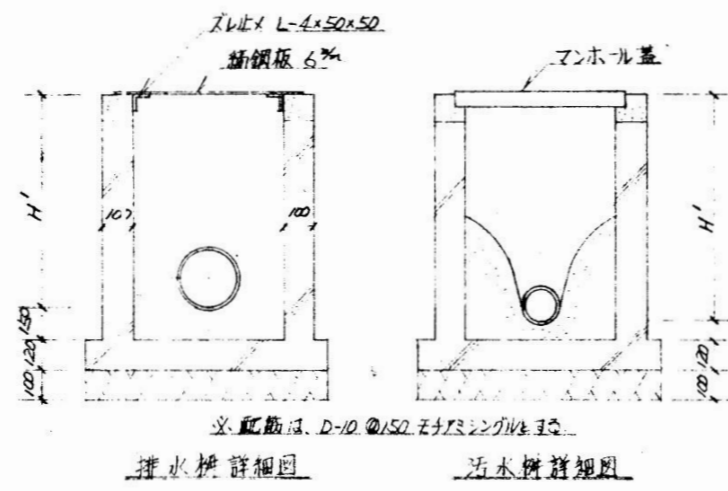


浄化槽は下水道に切替済み。

機械設備一式（配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品）は、原則としてすべて撤去とする。  
ただし、和風大便器についてはFLより上部を撤去し、便器埋設部は残置とする。また、埋設配管（土間配管および地中配管）は残置とする。

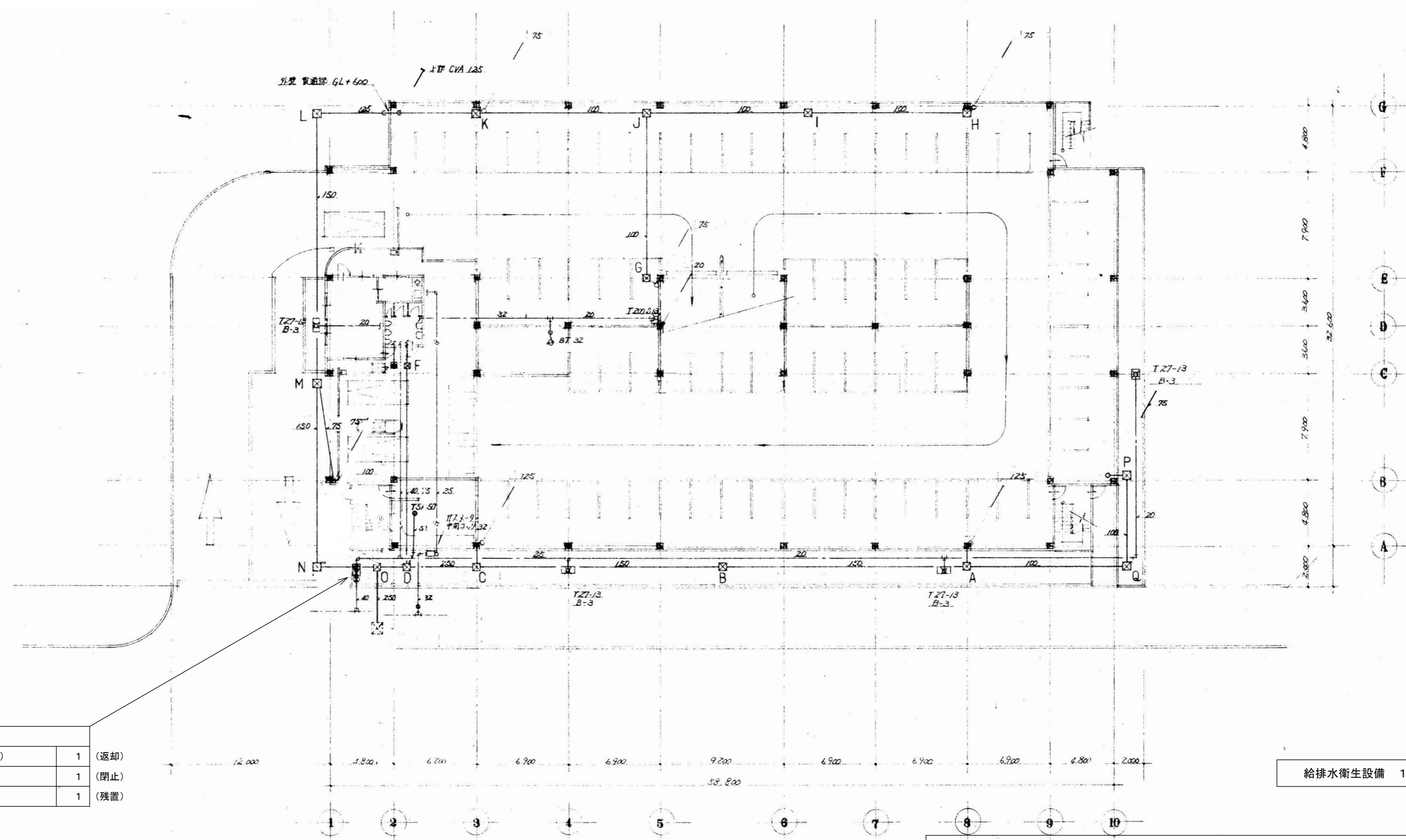
**株式会社 近代設計コンサルタント**  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀧 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号	SCALE	図面番号
照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事			
給排水衛生設備 1階平面詳細図			1/50 (A3:70%縮小)	M	02



記号	大きさ		深さ H		蓋
	W	L	H'	GL±	
A	300	300	490	-190	新鋼板 6%
B	450	450	670	-370	"
C	500	500	850	-550	"
D	600	600	900	-600	"
E	350	350	600	-500	マンホール 300*
F	300	300	400	-100	"
G	450	450	700	+1250	" (付) 450
H	300	300	200	+1380	" (<*) 300
I	450	450	755	+1260	" (<*) 450
J	500	500	870	+1130	" (<*) "
K	350	350	370	+570	" (<*) 300
L	350	350	300	-300	新鋼板 6%
M	450	450	700	-500	マンホール (附) 450
N	450	450	650	-640	" (<*) "
O	600	600	970	-690	新鋼板 6%
P	300	300	300	± 0	"
Q	300	300	370	-70	"

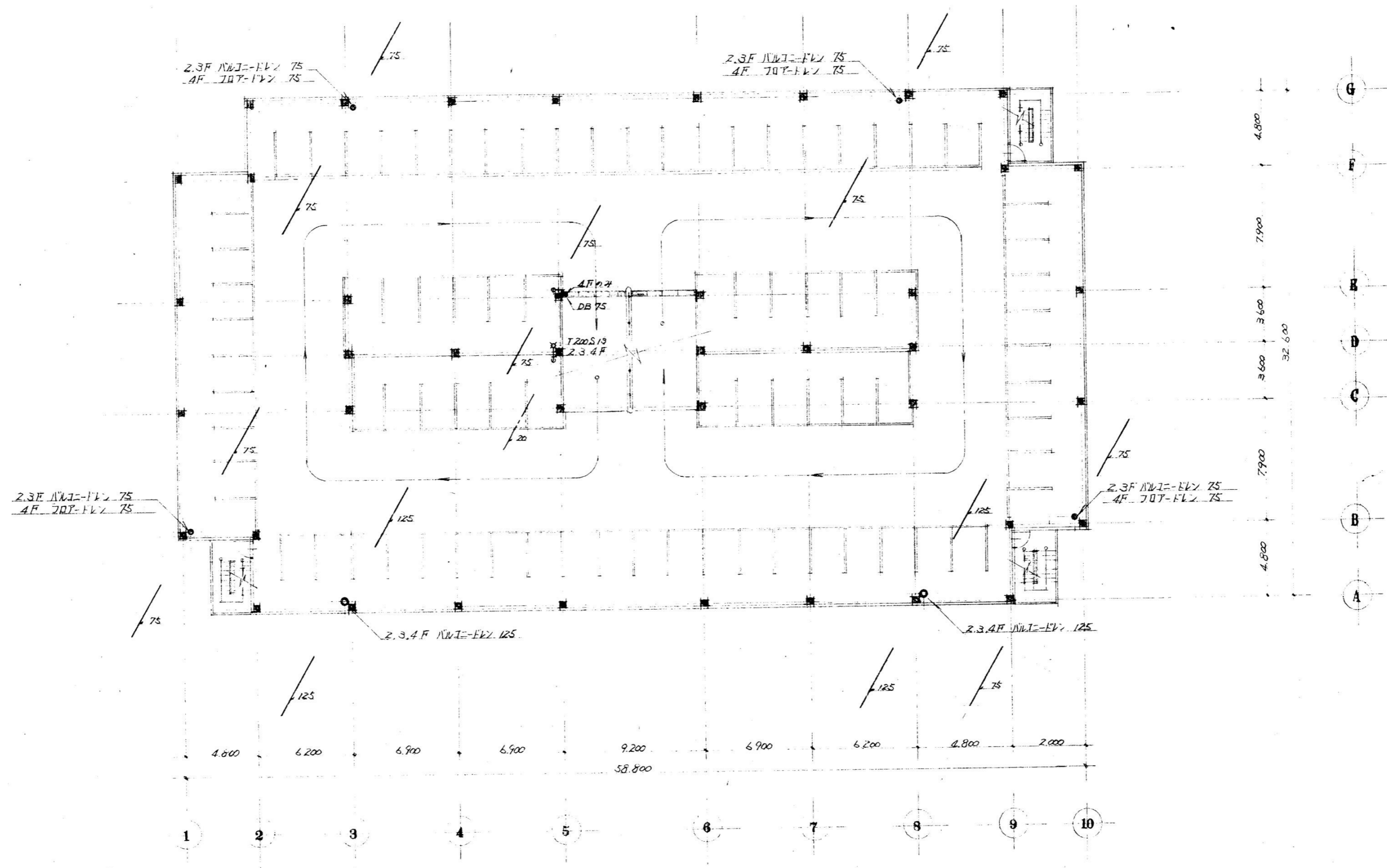
記号	大きさ		深さ H		蓋
	W	L	H'	GL±	
ア	350	350	570	-270	マンホール 300*
イ	350	350	480	-380	"



量水器40A (貸与品)	1	(返却)
伸縮止水栓40A	1	(閉止)
量水器BOX	1	(残置)


給排水衛生設備 1階平面図 S=1/250

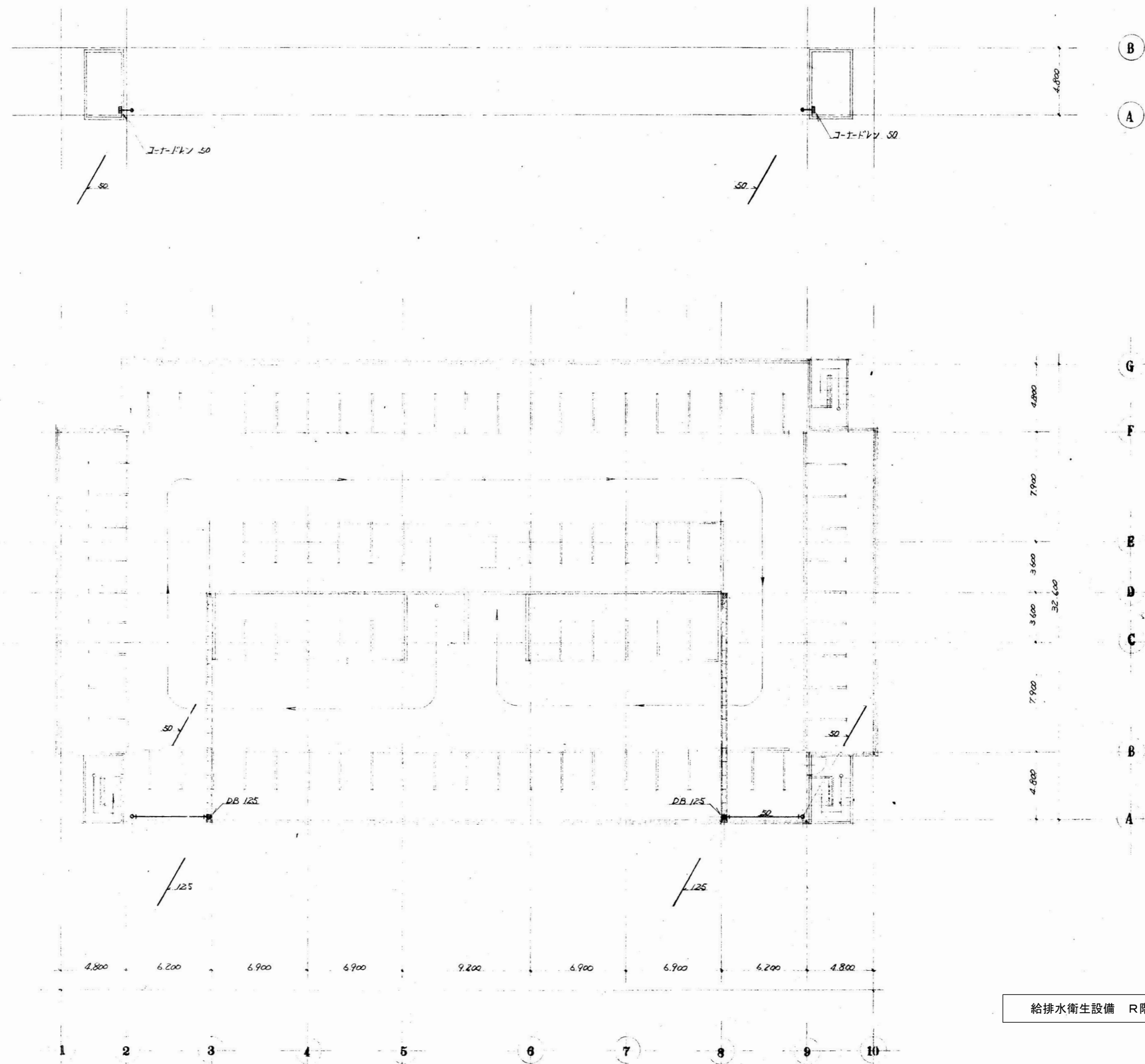
機械設備一式 (配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品) は、原則としてすべて撤去とする。  
 ただし、埋設配管 (土間配管および地中配管) は残置とする。



給排水衛生設備 2～4階平面図 S=1/250


機械設備一式（配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品）は、原則としてすべて撤去とする。  
 ただし、埋設配管（土間配管および地中配管）は残置とする。

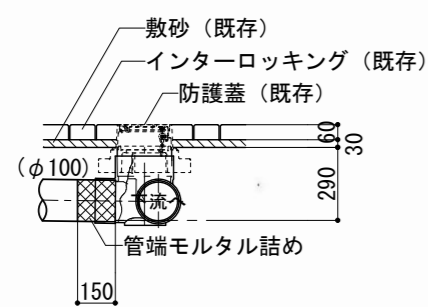
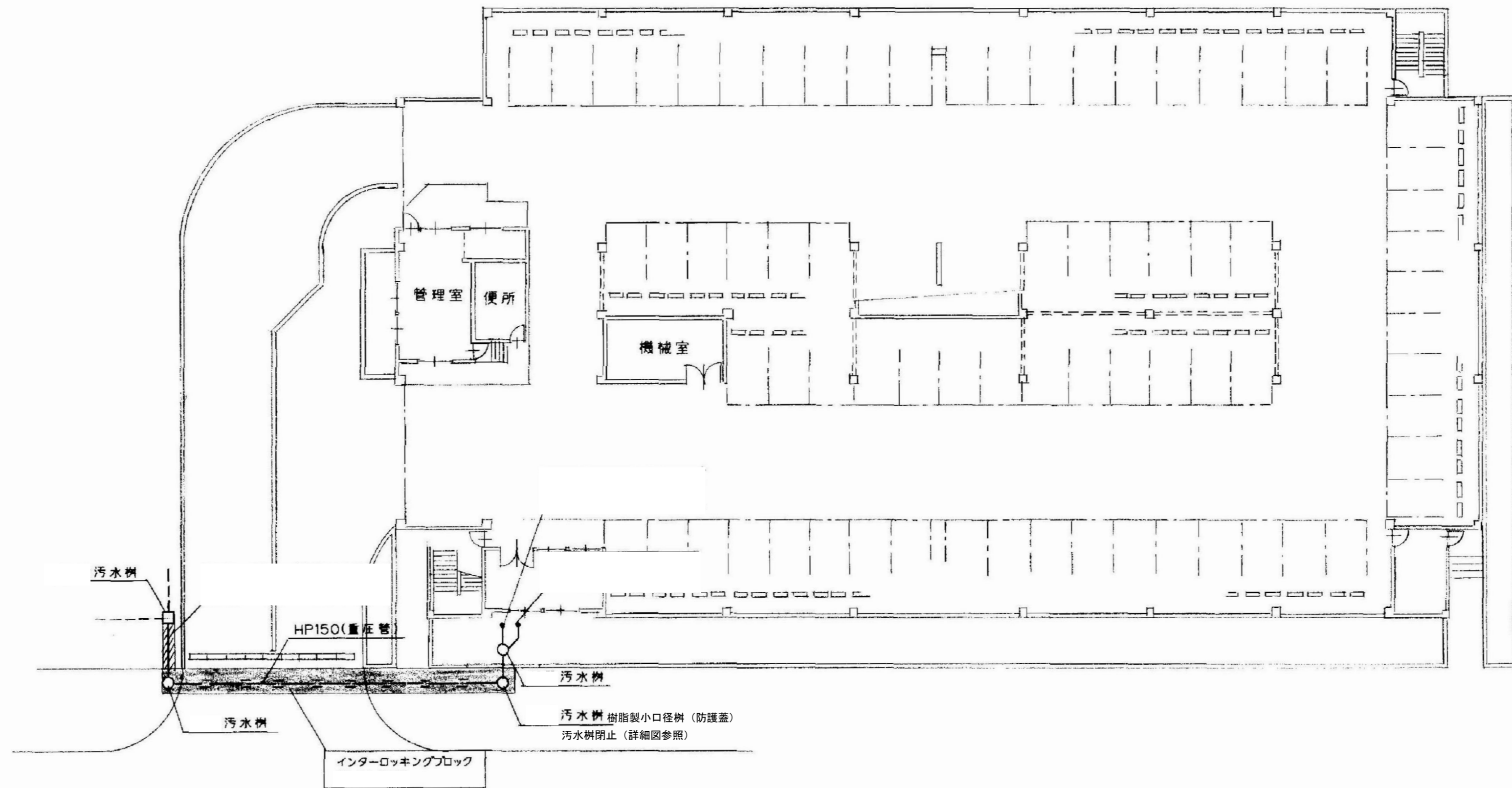
 <b>株式会社 近代設計コンサルタント</b> <small>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号          TEL (082) 243-5555(代) 小瀧 宏 治</small>	年月日	整理番号	工事名	図面番号 <b>M</b> 04
	照査	設計担当	図面名	
			円一町駐車場解体等工事 給排水衛生設備 2～4階平面図	SCALE 1/250 (A3: 70%縮小)



給排水衛生設備 R階平面図 S=1/250

機械設備一式（配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品）は、原則としてすべて撤去とする。  
 ただし、埋設配管（土間配管および地中配管）は残置とする。

 <b>株式会社 近代設計コンサルタント</b> <small>広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号          TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治</small>	年月日	整理番号	工事名	図面番号 <b>給排水衛生設備 R階平面図</b>	SCALE 1/250 (A3: 70%縮小)	図面番号 M 05
	照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事			



※作業時は、交通整理員 (0.5日) を見込む

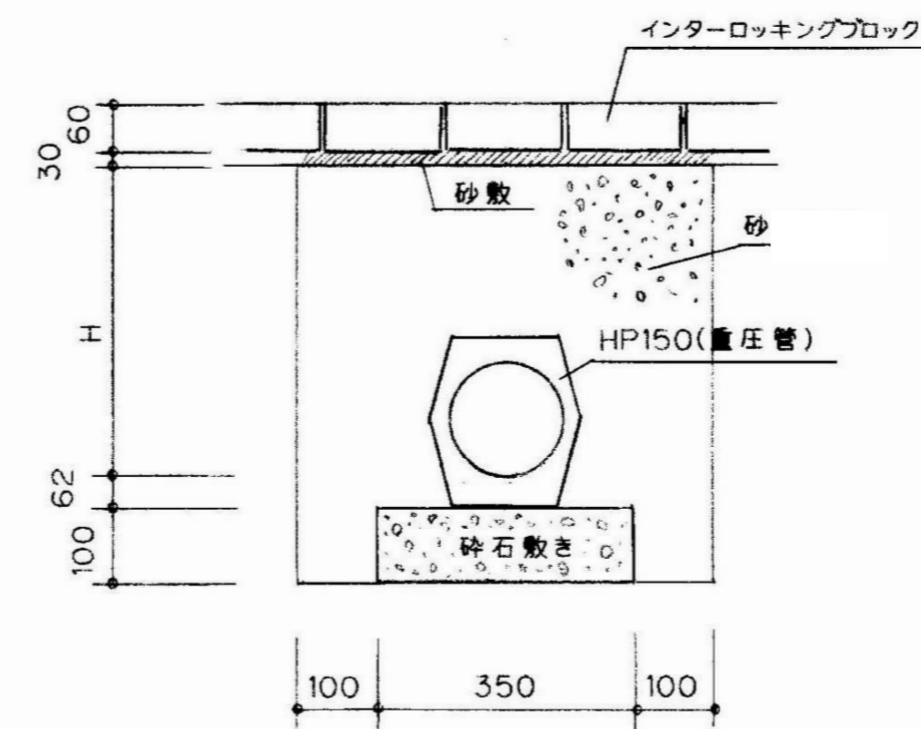
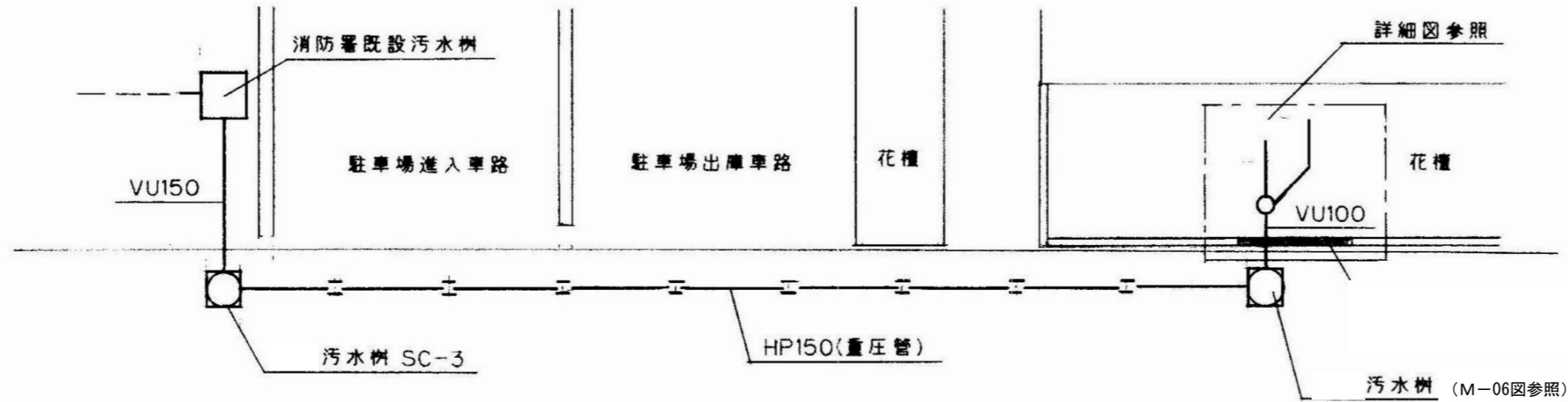
汚水樹閉止断面図 (参考図) S=1/30

下水道切替工事平面図 S=1/200

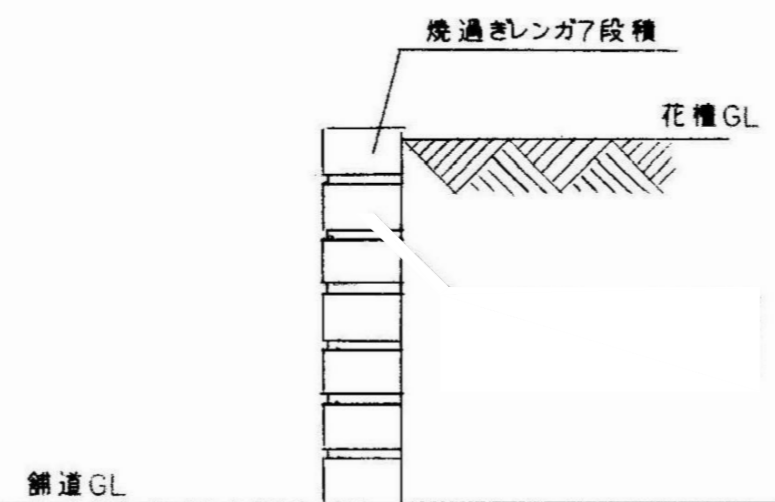
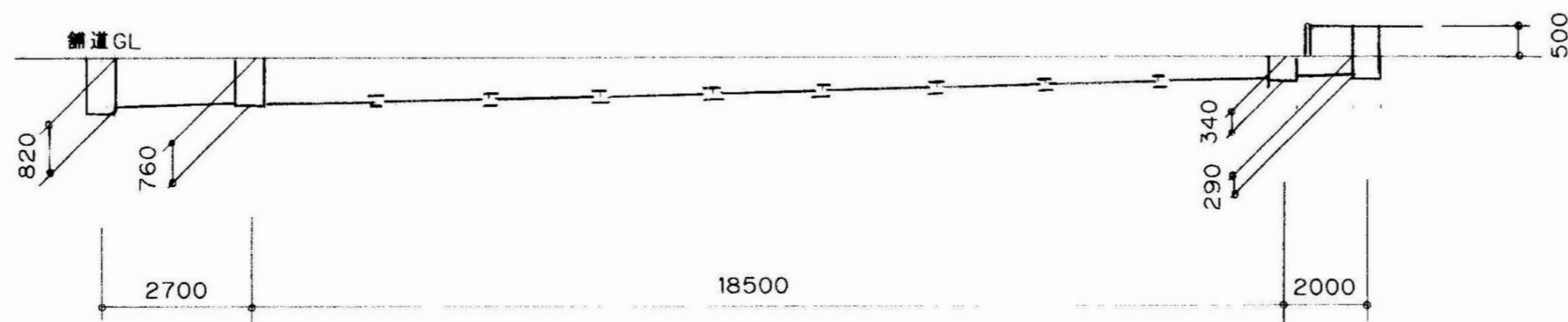
機械設備一式 (配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品) は、原則としてすべて撤去とする。  
ただし、埋設配管 (土間配管および地中配管) は残置とする。

株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

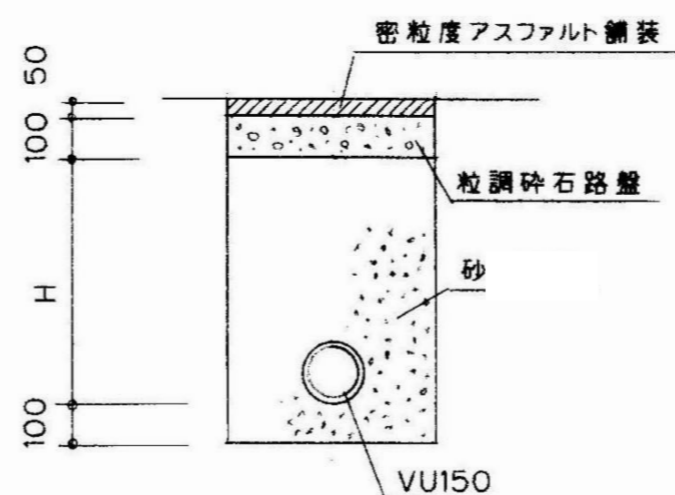
年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	M
給排水衛生設備 下水平面図 1			SCALE
			1/200 (A3: 70%縮小)
			06



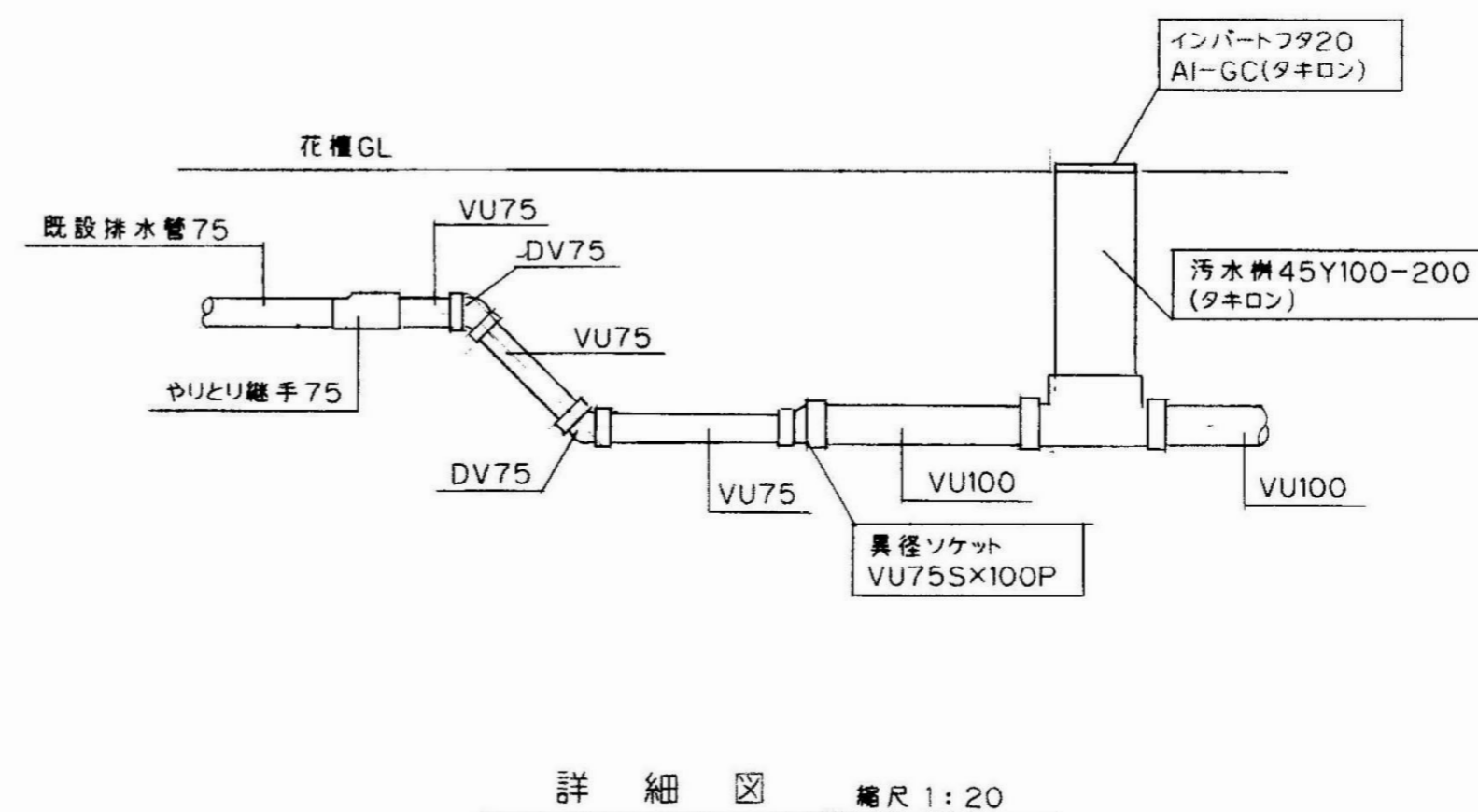
埋設詳細図



花槽詳細図

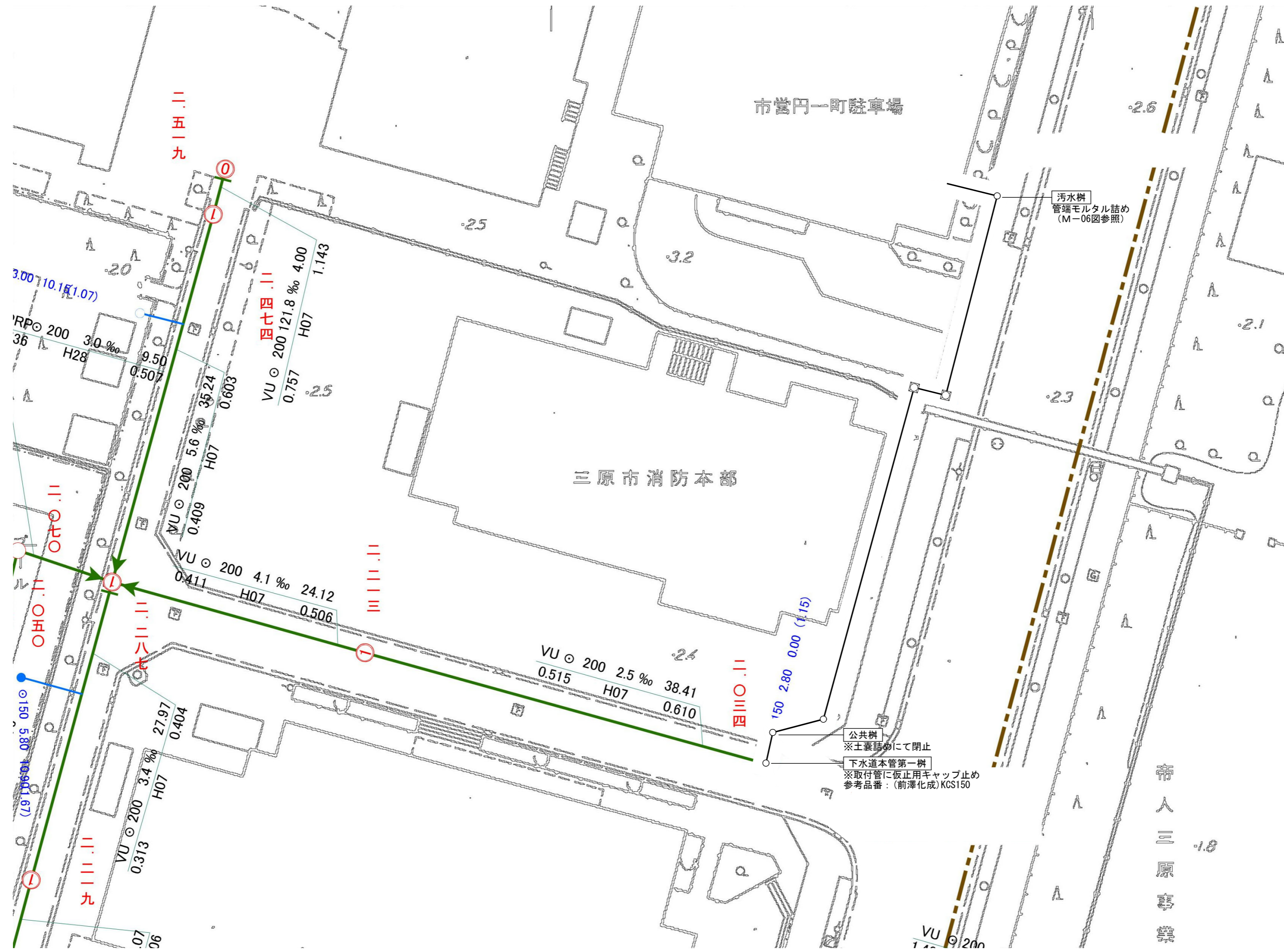


AS舗装断面図



詳細図 縮尺 1:20

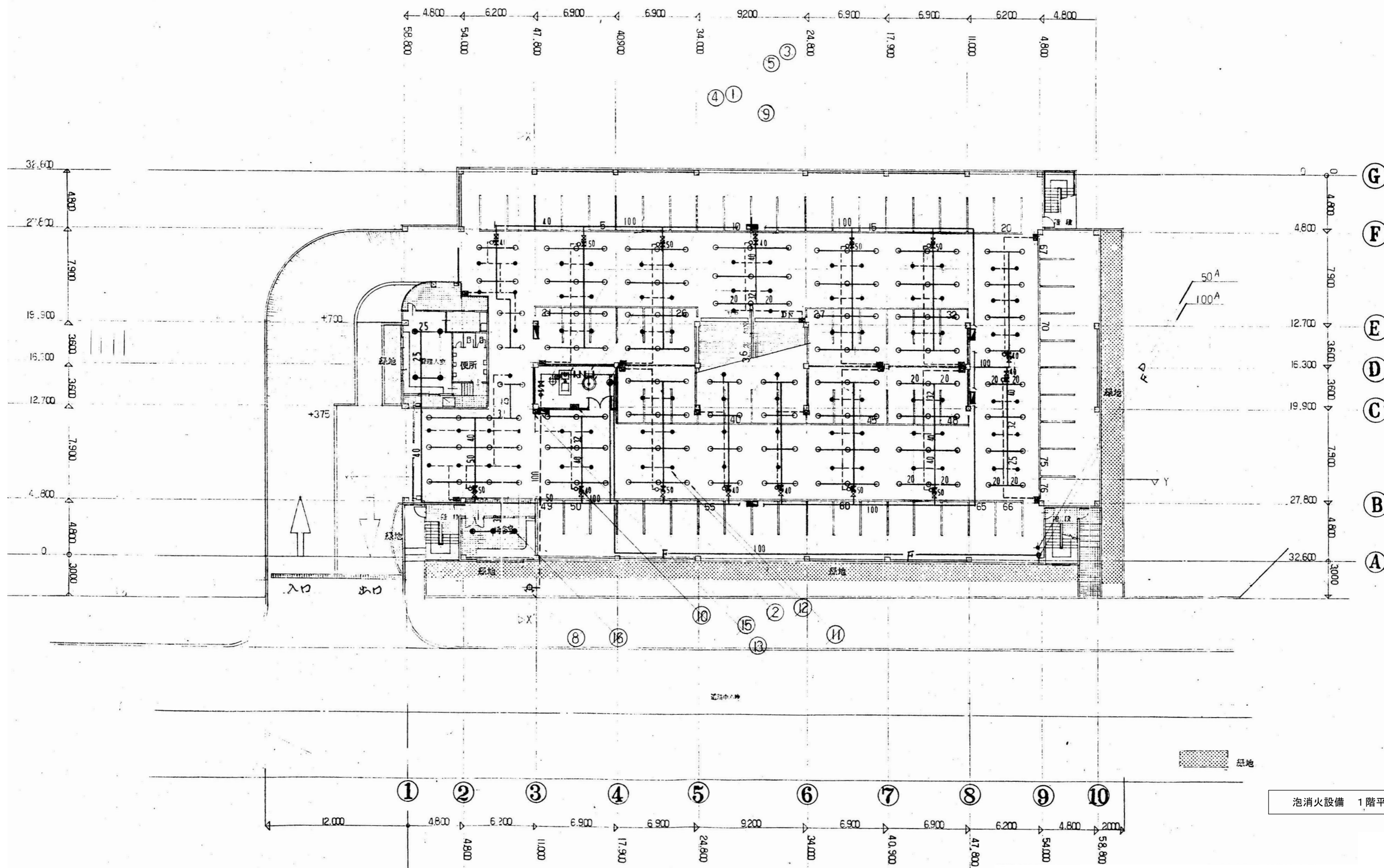
機械設備一式（配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品）は、原則としてすべて撤去とする。  
ただし、埋設配管（土間配管および地中配管）は残置とする。




<p>株式会社 近代設計コンサルタント          広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号          TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治</p>	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	
			給排水衛生設備 下水平面詳細図	SCALE
				1/20・100 (A3:70%縮小)
				08

機械設備一式（配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品）は、原則としてすべて撤去とする。

ただし、埋設配管（土間配管および地中配管）は残置とする。



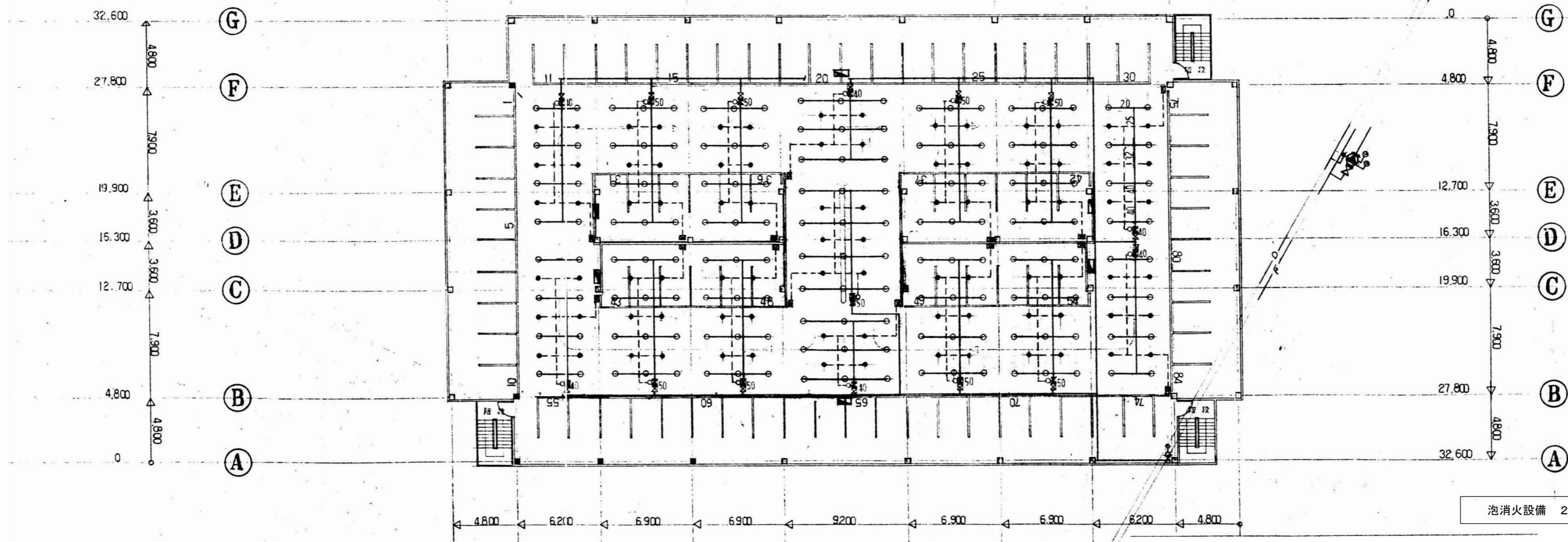
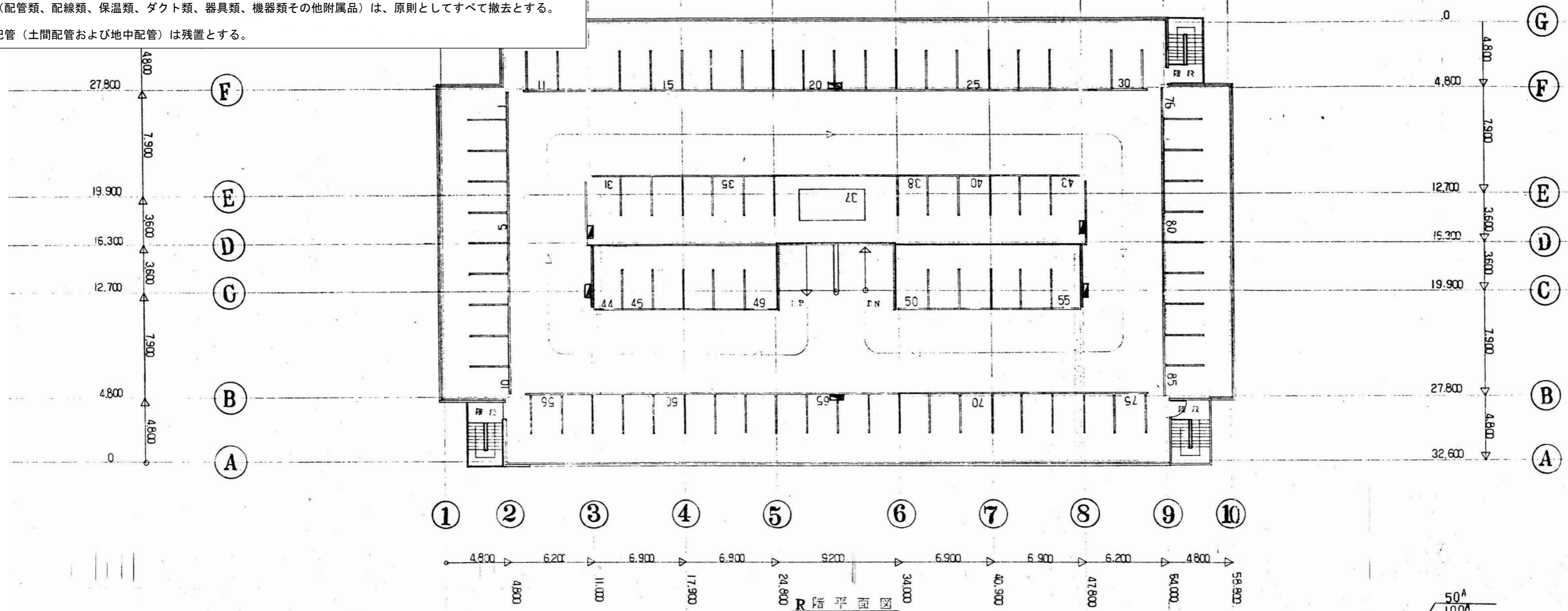
泡消火設備 1階平面図 S=1/250

 <b>株式会社 近代設計コンサルタント</b> 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照査	設計担当	円一町駐車場解体等工事 泡消火設備 1階平面図	

M  
09

機械設備一式（配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品）は、原則としてすべて撤去とする。

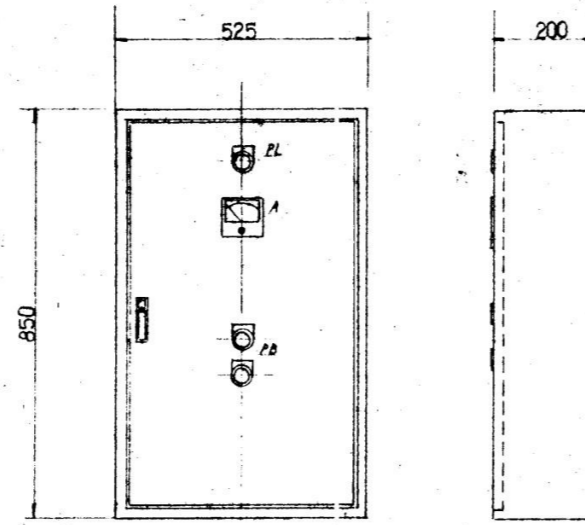
ただし、埋設配管（土間配管および地中配管）は残置とする。



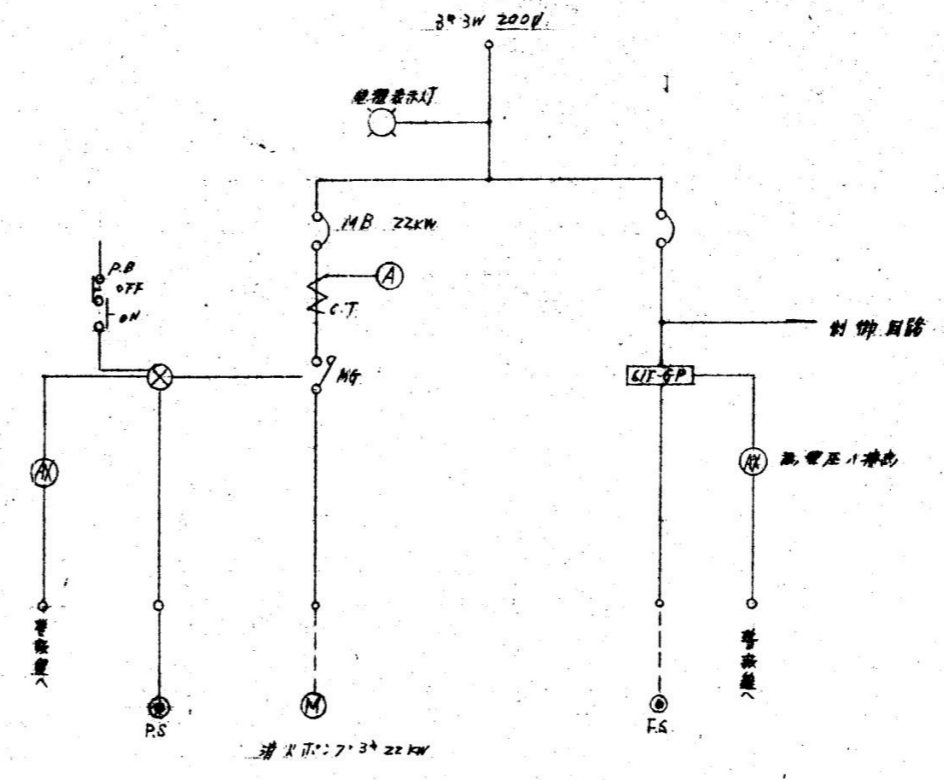
泡消火設備 2～R階平面図 S=1/250

株式会社 近代設計コンサルタント  
 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
 TEL (082) 243-5555(代) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事	M
		泡消火設備 2～R階平面図	10
SCALE			
1/250 (A3: 70%縮小)			



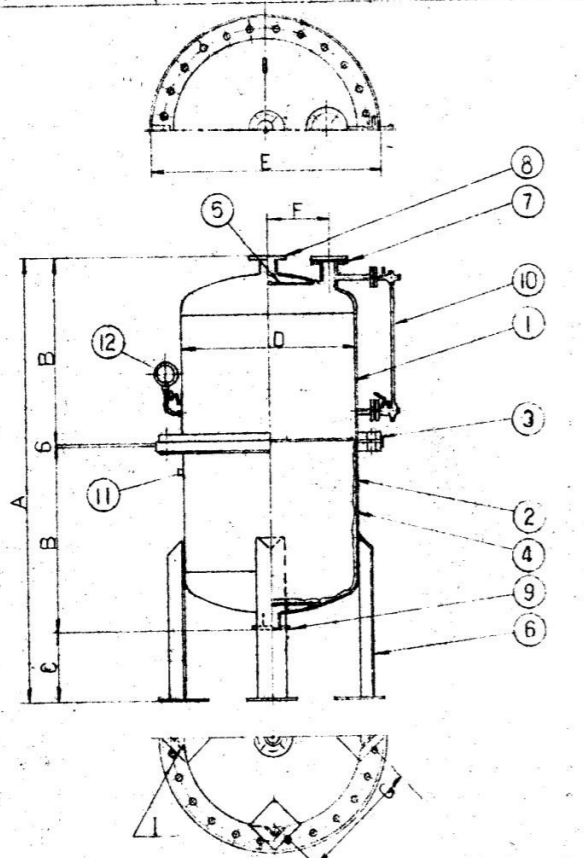
PL: 電源表示灯  
 A: 電流計  
 PB: 押切スイッチ (ON, OFF)  
 原形機 22kW  
 巻線 マンセル 75B6 6/1.5



ポンプ駆動盤

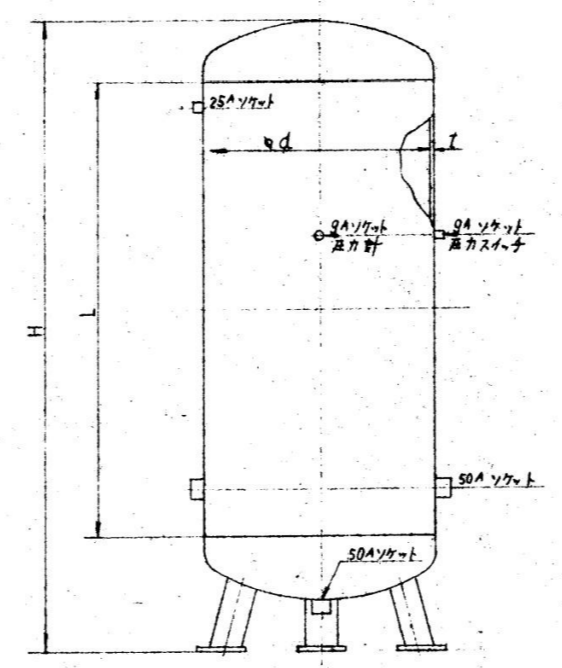
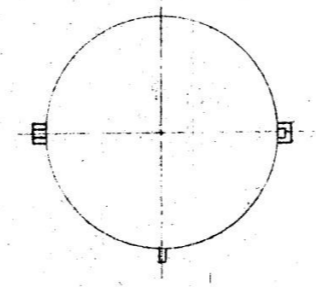
機械設備一式 (配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品) は、原則としてすべて撤去とする。  
 ただし、埋設配管 (土間配管および地中配管) は残置とする。

品番	部品名	材質	品番	部品名	材質
1	上部胴板	SS41	7	原形機吸口	SGP
2	下部胴板	SS41	8	原形機引口	SGP
3	巻線フランジ	SS41	9	巻線フランジ	SGP
4	巻線タイヤフランジ	NR	10	巻線フランジ	SUS 304
5	巻線機	SS41	11	巻線機	SGP
6	タンク支持台	SS41	12	巻線機	SGP



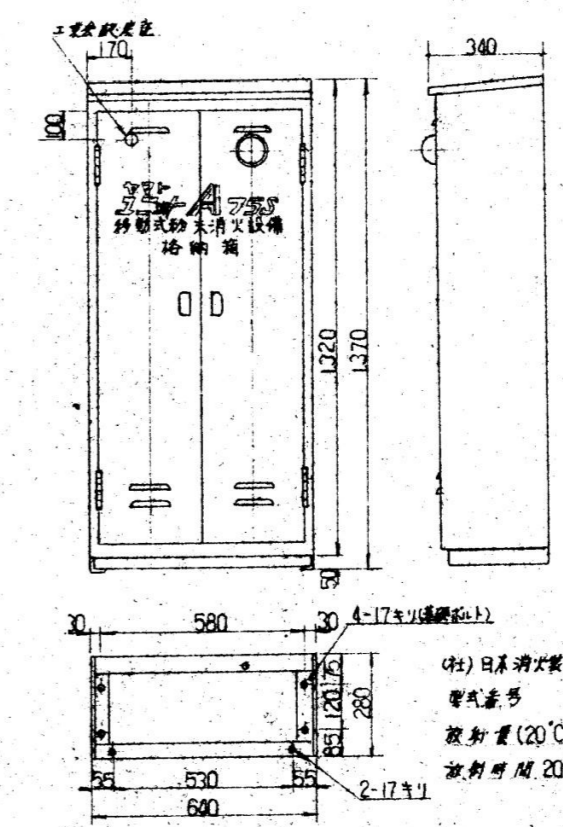
型式	A	B	C	D	E	F	G	I	原形機
YFP-400P	1770	742	280	712	905	250	500	4-20	400k

原形タンク



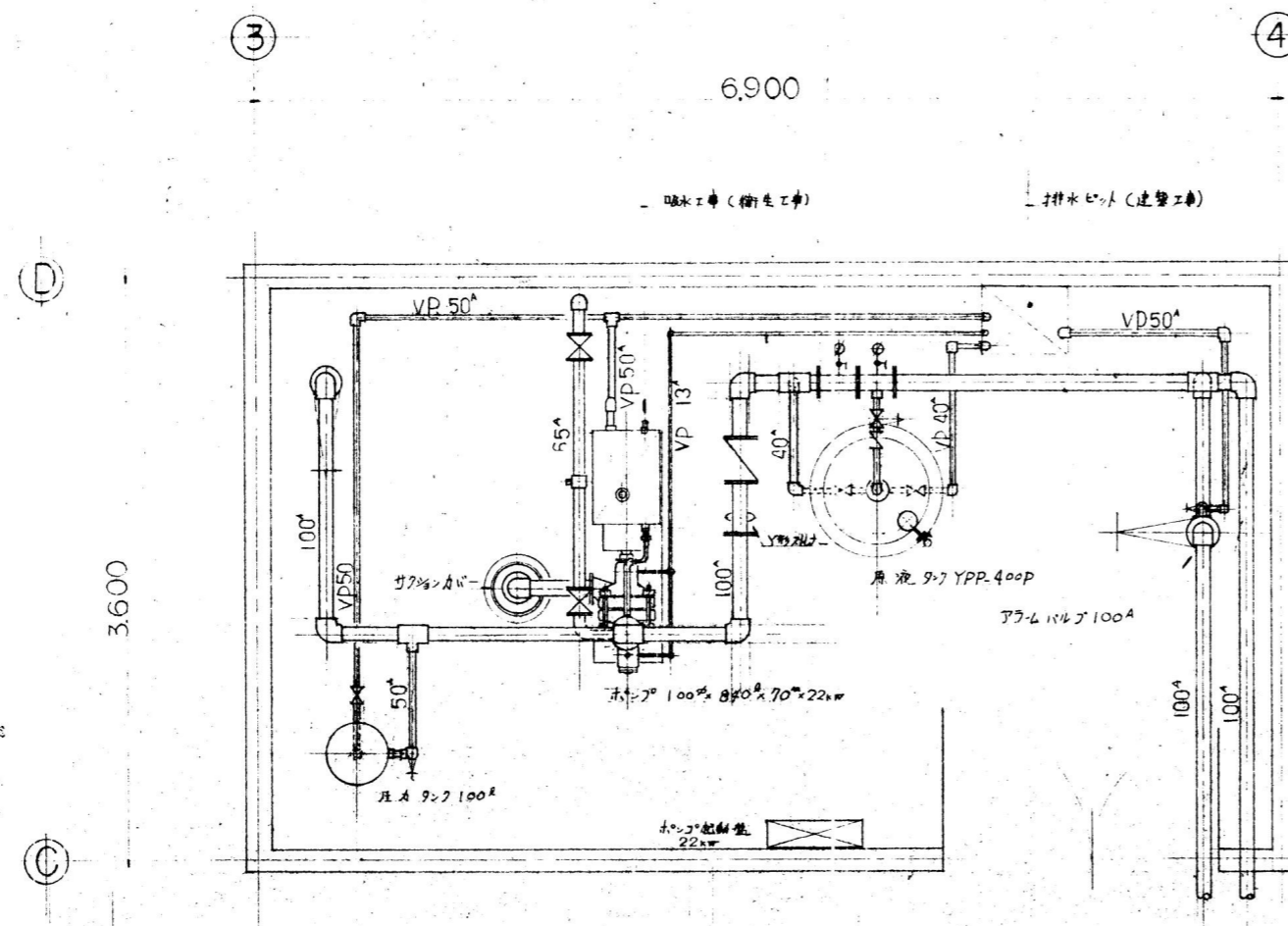
内径×鋼板寸法 (φ × L)	鋼板厚 (mm)	鏡厚 (mm)	内容積 (L)	全高 (mm)	製品質量 (kg)
450 × 900	6.0	6.0	0.16	1270	90

巻線タンク

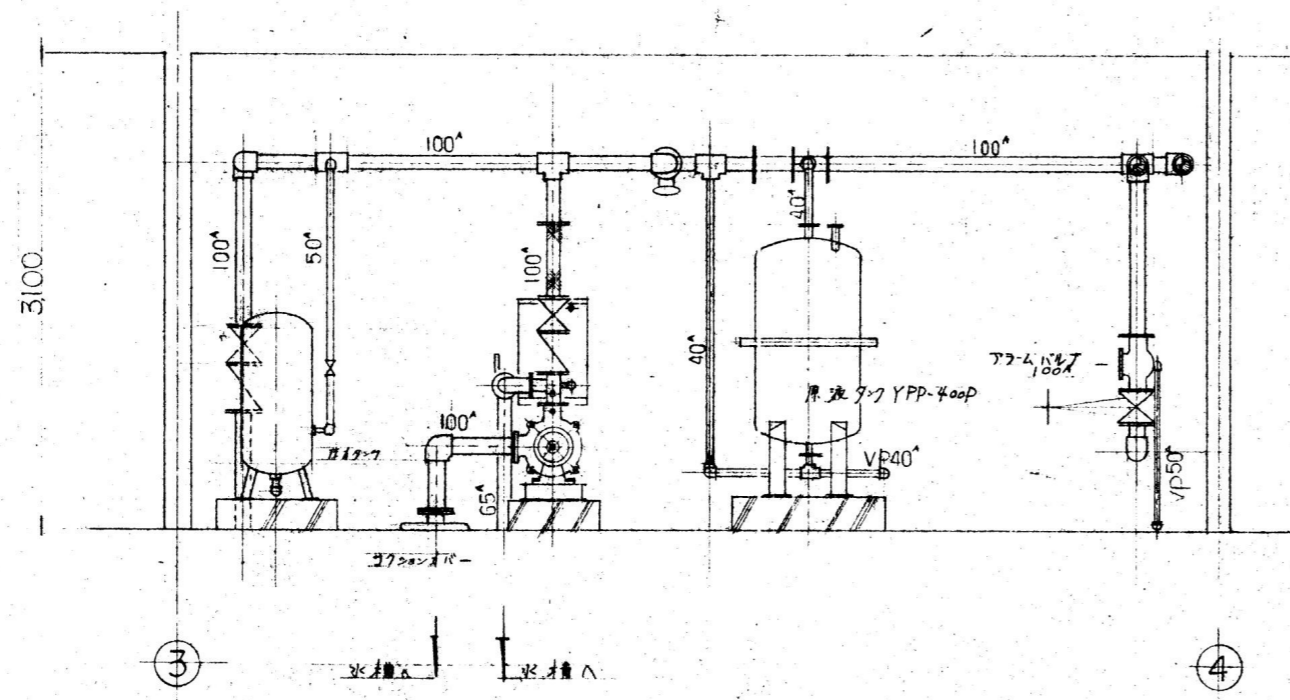


(社) 日本消防工業株式会社  
 型式番号 C-403-1号  
 投動量 (20°C) 27kg/min 以上  
 投動時間 20°C 60 sec 以上

移動式粉末消火設備




平面図



立面図

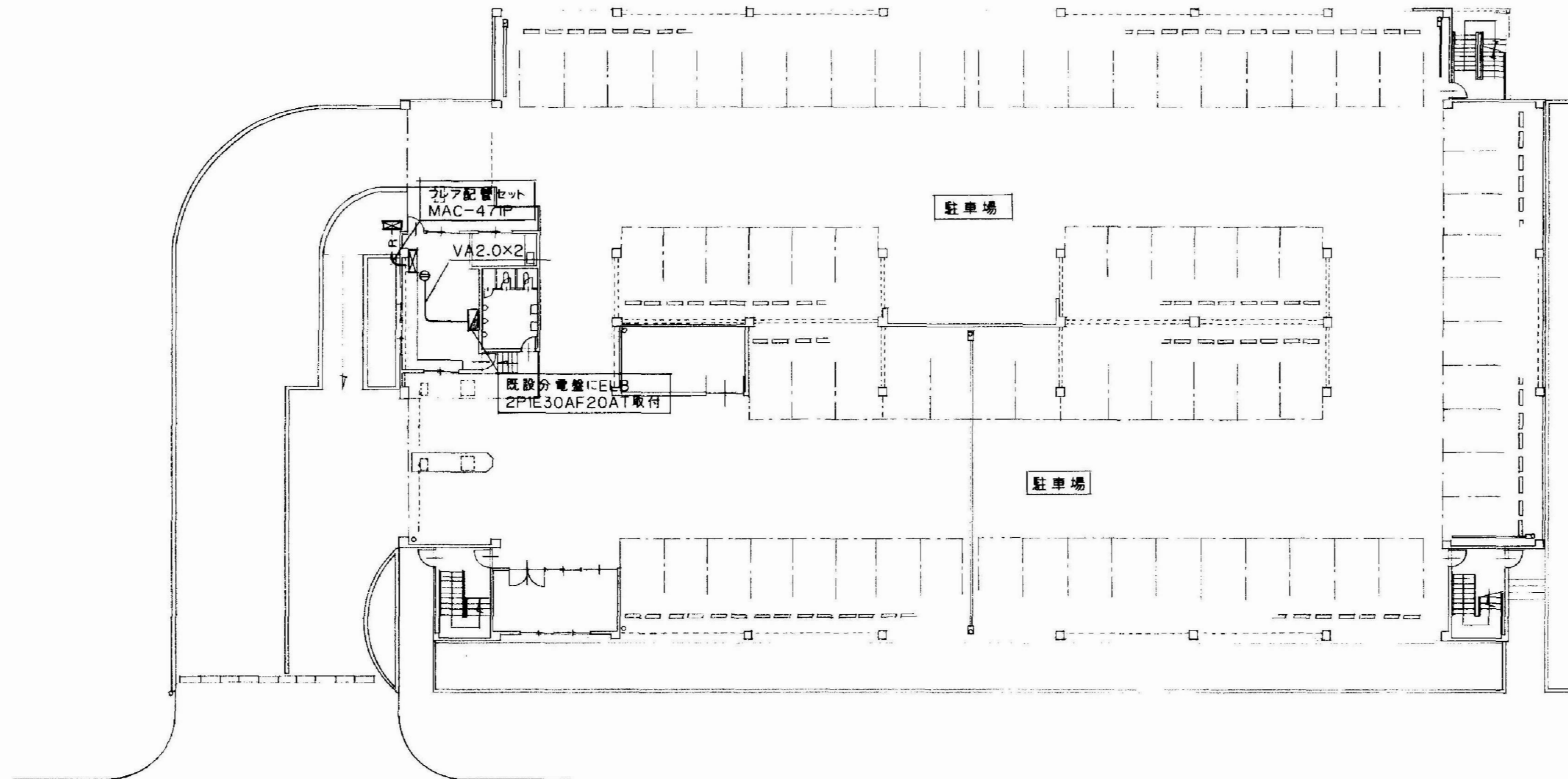
泡消火設備 機械室詳細図 S=1/50

機械設備一式（配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品）は、原則としてすべて撤去とする。  
ただし、埋設配管（土間配管および地中配管）は残置とする。

 <b>株式会社 近代設計コンサルタント</b> 広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号 TEL (082) 243-5555(代) 小瀧 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照 査	設 計 担 当	円一町駐車場解体等工事 泡消火設備 機械室詳細図	

機械設備一式（配管類、配線類、保温類、ダクト類、器具類、機器類その他附属品）は、原則としてすべて撤去とする。

ただし、埋設配管（土間配管および地中配管）は残置とする。



1 階 平 面 図 縮尺 1:200

ヒートポンプエアコン	
型式	インバーター壁掛型
暖房能力	3.6Kw
冷房能力	2.5Kw
電源	単相 100v
参考型番	MSZ-V255-W(三菱電気製)



株式会社 近代設計コンサルタント

広島市中区国泰寺一丁目8番30号 一級建築士 登録第277978号  
TEL (082) 243-5555(代) 小 瀧 宏 治

年月日

整理番号

工事名

円一町駐車場解体等工事

図面番号

照 査

設 計 担 当

図面名

空調和設備 1階平面図

SCALE

1/200 (A3: 70%縮小)

M

13

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

















建築					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設		1	式		
計					
撤去		1	式		
計					
外構撤去		1	式		
計					
構内舗装		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

電気設備工事 中科目別内訳

電気設備					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
動力設備	撤去	1	式		
計					
電灯コンセント設備	撤去	1	式		
計					
弱電設備	撤去	1	式		
計					
自動火災報知設備	撤去	1	式		
計					
構内通信線路	通信引込み	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

機械設備工事 中科目別内訳

機械設備					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
衛生器具設備	撤去	1	式		
計					
給水設備	撤去	1	式		
計					
排水設備	撤去	1	式		
計					
給湯設備	撤去	1	式		
計					
消火設備	撤去	1	式		
計					
ガス設備	撤去	1	式		
計					
空気調和設備	撤去	1	式		
計					
換気設備	撤去	1	式		





建築工事 細目別内訳

建築		撤去				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
S造建物上屋解体	屋根・外壁共 鉄骨カッター主体 重量級 クレーン併用	7,566	m2			
RC造建物躯体解体	振動を起こさない様に撤去	1,047	m3			
コンクリート土間礎解体	振動を起こさない様に撤去	3.8	m3			
地業解体	砕石	3.8	m3			
内部造作材解体	事務所	63.7	m2			
ボート類撤去(アスベスト含有)		17	m2			
床ビニル撤去(アスベスト含有)	アスベスト含有 集積共	5.1	m2			
壁ALC板撤去(アスベスト含有)	厚100 アスベスト含有吹付共撤去 飛散防止養生共	1,766	m2			
壁モルタル撤去(アスベスト含有)	タイル共	0.1	m3			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	182	m			
すきとり	積み込み共 H300程度	7.9	m3			
埋戻し(A種)	山砂の類	30.8	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
計						





建築工事 細目別内訳

建築		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート類 集積、積込み	機 械	1,078	m3			
内装材 積込み	機 械	299	m3			
発生材積込み	アスベスト含有材	177	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 土砂 DID区間有り 31.5km以下	7.9	m3			
とりこわし発生材 運搬	ガラス及び陶磁器くず類	3.4	m3			
とりこわし発生材 運搬	木材類	1.3	m3			
とりこわし発生材 運搬	がれき屑類	23.9	m3			
とりこわし発生材 運搬	ロックウール	257	m3			
とりこわし発生材 運搬	廃プラスチック類	0.4	m3			
とりこわし発生材 運搬	廃石膏ボード	0.4	m3			
とりこわし発生材 運搬	無筋コンクリート類	1,051	m3			
とりこわし発生材 運搬	砕石類	3.8	m3			
とりこわし発生材 運搬	生木	36.7	m3			
とりこわし発生材 運搬	アスベスト含有材	177	m3			
スクラップ 運搬		483	t			



建築		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
とりこわし発生材 処分	ガラス及び陶磁器くず類	3.4	m3			
とりこわし発生材 処分	木材類	1.3	m3			
とりこわし発生材 処分	がれき屑類	23.9	m3			
とりこわし発生材 処分	ロックウール	257	m3			
とりこわし発生材 処分	廃プラスチック類	0.4	m3			
とりこわし発生材 処分	廃石膏ボード	0.4	m3			
とりこわし発生材 処分	無筋コンクリート類	1,051	m3			
とりこわし発生材 処分	砕石類	3.8	m3			
とりこわし発生材 処分	生木	36.7	m3			
とりこわし発生材 処分	アスベスト含有材	177	m3			
スクラップ 処分	H2	▲523.33	t			
スクラップ 処分(kg)	アルミ	▲584	kg			
スクラップ 処分(kg)	ステンレス	▲189.25	kg			
計						



































建築		仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0001
単管一本足場	15～20m未満 -	72	m <sup>2</sup>			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 15m	3,464	m <sup>2</sup>			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	231	m			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	枠組棚足場 階高5.0m以上5.7m未満 -	23.3	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	枠組棚足場 階高5.7m以上7.4m未満 -	131	m <sup>2</sup>			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0002
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 -	63.7	m <sup>2</sup>			
計						



建築		仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0004
仮設材運搬 (単管一本足場)		72	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	3,464	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	231	m			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	5.0m以上5.7m未満	23.3	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	5.7m以上7.4m未満	131	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	63.7	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		154	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		693	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		3,536	m <sup>2</sup>			
計						



電気設備工事 別紙明細

電気設備		電灯コンセント設備		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0006
600V絶縁電線 撤去	1. 6mm × 1本 再使用しない	1,835	m			
600V絶縁電線 撤去	2. 0mm × 1本 再使用しない	1,880	m			
薄鋼電線管 撤去	(C19) 再使用しない	63	m			
薄鋼電線管 撤去	(C25) 再使用しない	33	m			
薄鋼電線管 撤去	(C31) 再使用しない	3	m			
プルボックス撤去	SS150*150*100	7	個			
ジョイントボックス撤去		16	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×1 再使用しない	10	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W ×2 再使用しない	2	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×1 再使用しない	2	個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×2 再使用しない	54	個			
照明器具撤去	FL15W×1	2	台			
照明器具撤去	IL60W×1 ブラケットライト	7	台			
照明器具撤去	HF100W×1 ブラケットライト	5	台			

電気設備		電灯コンセント設備			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去		1	式			別紙 00-0006
照明器具撤去	HF500W×1 投光器	2	台			
照明器具撤去	HF700W×1 投光器	4	台			
非常照明兼用型 器具撤去	FL40W×2	30	台			
非常照明兼用型 器具撤去	FL20W×1	10	台			
避難口誘導灯撤去	FL20W×1	14	台			
通路誘導灯撤去	FL20W×1	9	台			
埋込スイッチ撤去	1P15A×1	4	個			
埋込スイッチ撤去	1P15A×2+1PL15A×1	1	個			
セレクトスイッチ撤去	12回路	2	個			
埋込コンセント撤去	2P15A×2	7	個			
電灯盤撤去	L-1 中身のみ	1	面			
ポール柱撤去		2	本			
計						



電気設備		自動火災報知設備			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去		1	式			別紙 00-0008
ケーブル撤去	AE0.9-2C 管内	428	m			
ケーブル撤去	AE0.9-4C 管内	524	m			
ケーブル撤去	HP0.9-10P 管内	74	m			
ケーブル撤去	HP0.9-15P 管内	16	m			
薄鋼電線管撤去	(C25) 再使用しない	95	m			
受信機撤去	P型1級30回線	1	面			
発信機撤去	P型1級	8	個			
表示灯撤去		8	個			
ヘル撤去		10	個			
スポット型感知器撤去	差動式 2種	187	個			
煙感知器撤去	2種	4	個			
計						





機械設備工事 別紙明細

機械設備		給水設備		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0012
量水器取外し	40A	1	個			
アングル止水栓撤去	再使用しない	1	個			
横水栓撤去	再使用しない	5	個			
水栓柱撤去	再使用しない	4	個			
(配管類)						
硬質塩化ビニルライン ゲ鋼管 (SGP-VB) 撤去	便所 20A 再使用しない	7	m			
硬質塩化ビニルライン ゲ鋼管 (SGP-VB) 撤去	屋内一般 20A 再使用しない	2	m			
硬質塩化ビニルライン ゲ鋼管 (SGP-VB) 撤去	屋外露出 20A 再使用しない	15	m			
硬質塩化ビニルライン ゲ鋼管 (SGP-VB) 撤去	便所 25A 再使用しない	2	m			
(保温類)						
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスクロス 20A 再使用しない	9	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスクロス 25A 再使用しない	2	m			
給水管 保温撤去	グラスウール 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 20A 再使用しない	15	m			
計						

機械設備工事 別紙明細

機械設備		排水設備		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0013
汚水配管 モルタル詰め		1	か所			
ペントキャップ撤去	再使用しない	1	個			
排水金具撤去	75A 再使用しない	1	個			
排水金具撤去	125A 再使用しない	2	個			
ルートレン撤去	50A 再使用しない	2	個			
ルートレン撤去	75A 再使用しない	12	個			
ルートレン撤去	125A 再使用しない	6	個			
(配管類)						
硬質ポリ塩化ビニル 管 (VP) 撤去	便所 40A 再使用しない	1	m			
硬質ポリ塩化ビニル 管 (VP) 撤去	屋内一般 50A 再使用しない	1	m			
硬質ポリ塩化ビニル 管 (VP) 撤去	屋外露出 50A 再使用しない	9	m			
硬質ポリ塩化ビニル 管 (VP) 撤去	屋外露出 75A 再使用しない	60	m			
硬質ポリ塩化ビニル 管 (VP) 撤去	屋外露出 125A 再使用しない	43	m			
硬質ポリ塩化ビニル 管 (VP) 撤去	便所 50A 再使用しない	3	m			





機械設備		消火設備		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0015
圧力ﾀﾝｸ撤去	90L 再使用しない	1	台			
原液ﾀﾝｸ撤去	原液量400L 再使用しない	1	台			
消火ポンﾌﾞ撤去	100φ×840L×70m×22kW 再使用しない	1	台			
制御盤撤去	再使用しない	1	面			
移動式粉末消火設備撤去	再使用しない	30	台			
搬出費		1	式			別紙 00-0015/00-001
仕切弁撤去	50A 再使用しない	71	個			
仕切弁撤去	65A 再使用しない	2	個			
仕切弁撤去	100A 再使用しない	3	個			
逆止弁撤去	100A 再使用しない	2	個			
制御弁	100A 再使用しない	4	個			
一斉解放弁撤去	50A 再使用しない	35	個			
手動起動装置撤去	再使用しない	60	個			
Y型ストレーナー撤去	100A 再使用しない	1	個			

機械設備		消火設備		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0015
(配管類)						
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	屋外露出 15A 再使用しない	1,134	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	屋外露出 20A 再使用しない	920	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	屋外露出 25A 再使用しない	160	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	屋外露出 32A 再使用しない	166	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	屋外露出 40A 再使用しない	358	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	機械室 40A 再使用しない	6	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	屋外露出 50A 再使用しない	117	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	機械室 50A 再使用しない	3	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	機械室 65A 再使用しない	4	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	屋外露出 100A 再使用しない	488	m			
配管用炭素鋼鋼管 (STPG) 撤去	機械室 100A 再使用しない	18	m			
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 撤去	機械室 13A 再使用しない	5	m			
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 撤去	機械室 40A 再使用しない	2	m			











